

校訓を活かした学校づくりの在り方について  
( 報 告 書 )

平成21年8月  
校訓等を活かした学校づくり推進会議

## 目 次

1. 「校訓」を活かした学校づくりの意義	1
(1) 「校訓」とは	1
(2) 校訓が定められた経緯	2
(3) 関係者それぞれにとっての校訓の存在意義	2
(4) 「校訓を活かした学校づくり」の取組と期待される効果	3
2. 校訓を活かした学校づくりの実例	5
(1) 地域に根ざした伝統的な校訓を教育活動に活かした事例 ～埼玉県立深谷商業高等学校～	5
(2) 家庭と連携して「三暘しぐさ」を定め、地域の思いを学校づくりに 具体化した事例 ～山形県鶴岡市立朝暘第三小学校～	5
(3) 生徒が主体的な活動により積極的な生徒指導を展開した事例 ～大阪府高槻市立第七中学校～	6
(4) 生徒・保護者・教職員の希望を集結して定めた「生徒憲章」を 中心に学校づくりを行っている事例 ～鳥取県立倉吉西高等学校～	7
(5) 多種多様な背景の児童生徒を統合する取組の事例 ～兵庫県立芦屋国際中等教育学校～	8
3. 校訓を活かした学校づくりの進め方	9
(1) 取組意識の共有と関係者全体への浸透	9
(2) 校訓を活かした学校づくりの積極的展開	10
(3) 次世代への継承の問題	11
～ 校訓を活かした学校づくりの推進に向けて ～	12

## 「校訓を活かした学校づくりの在り方について」報告書

平成21年2月、塩谷立文部科学大臣は、携帯電話に代表される情報化の急速な進展等に伴い、人と人との絆の弱体化や、家庭や地域の教育力の低下など、日本に昔からあった良さが次第に失われつつあるという状況の下、社会生活を営んでいくための基本的倫理観や自制心・自立心を育てるなど、「心を育む」取組を重視していく立場から、『心を育む』ための5つの提案～日本の良さを見直そう！～を提案された。

同提案の中には、「2. 校訓を見つめ直し、実践する。～先生と子どもが一緒になって、各学校にある校訓を具体化する取組を継続的に実践し、地域でこれを応援しよう！」という項目が示されたところである。

文部科学省では、この提案の具体化のための取組の第一歩として、有識者から構成される「校訓等を活かした学校づくり推進会議」を設置し、「心を育む」ために校訓等を活かした学校づくりの事例を調査して、その具体化の在り方について検討を行うこととした。

同推進会議では、いくつかの学校から実践例についてのヒアリングを実施した上で、委員による審議を行った。本報告書はこれらのヒアリング及び審議を元に「校訓を活かした学校づくり」の在り方について取りまとめたものである。

### 1. 「校訓」を活かした学校づくりの意義

#### (1) 「校訓」とは

校訓は、学校で、教育上の理念・目標を成文化したものである。

各学校は、学校教育目標を定めてその学校経営の方針を学校内外に示している。校訓と学校教育目標との関係は各学校の歴史や背景によって様々である。中には学校教育目標が校訓と必ずしも密接な関係を持っていない場合もあるが、学校教育目標と校訓との関係性を明確にし、体系的に目標を整理することで、学校教育活動の核として、校訓を「教育目標の後ろ盾」としている場合もあり、学校づくりの在り方として、一つの重要な方向性を示すものとして期待される。

このような「教育目標の後ろ盾」となるものは、長い伝統を持つ学校に多く見られる「至誠」、「質実剛健」といったような、いわば一般的な校訓だけとは限らない。例えば新設校では「校訓」と銘打った標語を持たないが、それ以外の目標・スローガンといったものが、学校運営に重要な役割を果たしている場合が少なくない。

したがって、本取組の趣旨を踏まえて、「校訓を活かした学校づくり」を推進していく立場では、校訓をより広い意味で捉えることが適切であると考えられる。本報告書においては、一般的に「校訓」としてイメージされるものに限ることなく、その他の目標・スローガン等を含め、各学校の教育理念を実現するために重要な役割を果たしている標語を含めて「校訓」と捉えて検討することとした。

## (2) 校訓が定められた経緯

校訓のうちで最も典型的なのは学校創設時に創設者や校長等によって定められるものであり、長い歴史と伝統を持つ学校に多く見られる。校長自身の持つ信念を言葉にしている場合の他、その地域が輩出した偉人の言葉を借りる場合もある。また、誰が定めた校訓であるかはっきりしないが、長い歴史を経る間に学校が受け継いできた伝統が自然発生的に校訓となり、定着しているケースもある。

また、近年は、学校の児童生徒が教員と共に目標・スローガン等を定めるというケースが多く見られる。そのきっかけとなっているのは、「創立〇〇周年」といった節目であったり、学校にいじめ・暴力行為等の問題行動が発生して関係者が危機感を持った状況であったり様々である。

上記のような伝統的に受け継がれている校訓が存在する学校でも、生徒会等の自主的な運動から、生徒全体の目標・スローガン等をこれに調和させる形で定めている事例も見られる。これらのケースは、学校全体が共有できる理念を創造することに重きが置かれているものと考えられる。

一口に校訓といっても、定められる経緯としては様々な背景や考え方に根ざしているものである。

## (3) 関係者それぞれにとっての校訓の存在意義

校訓は児童生徒、教職員、地域に対してそれぞれ影響を与え、意識や行動に変化をもたらすことになるが、何よりも大きな意義は、学校づくりに関わる人々に価値観の共有をもたらすことにある。「こういう学校にしたい」という価値観を共有することで、具体的な目標に向かって一致団結して取組を進めることができ、個々の取組だけでは得られない成果をもたらすことにつながっている。

### ・児童生徒にとっての校訓

通常、学校の教育活動を通じて校訓は児童生徒が無意識のうちにその趣旨を会得しているものと考えられるが、児童生徒にその存在がより明確に意識されれば、それは児童生徒の学校への愛校心を更に強め、教員や友人との結び付きを強めることになる働きがある。つまり、校訓は学校の児童生徒がその学校への帰属意識を持ち、協力してものごとに取り組むための重要な要素となる。

そして、校訓の理念は児童生徒一人一人の人格形成にも大いに影響を与え、児童生徒が卒業後にそれぞれの人生を歩んでいくに当たっての道標になり、時にその後の進路に大きな影響を与えることもあるものと考えられる。

### ・教員にとっての校訓

教員にとって校訓とは、育成を目指す児童生徒の人間像を端的に表したものであり、

いかなる学校教育活動を実施する際にも、その基礎をなす理念として、常に念頭に置くべきものである。これは学校全体で共有する価値観として各教員が児童生徒を指導する際の指針となり、尊重されるべきものである。

・地域にとっての校訓

校訓の影響は学校だけにとどまるわけではない。

学校は、地域の児童生徒の教育を担う大変重要な存在である。学校と校訓の理念を共有して共に活動を行うなどにより、地域コミュニティが構築されていけば、地域住民やその地域に住む卒業生の母校愛や親近感が高まり、そしてそのコミュニティの拠点である学校への信頼が得られることが期待できる。特にその学校の卒業生が地域や学校の保護者として多く存在する場合には、地域と学校とを結ぶ中核的な存在となり得る。

かつては、社会生活を送る上で持つべき規範意識や他者への思いやりの気持ちなどを、学校の中で先輩から後輩へ、家庭・地域の中で親から子へというように、世代間へ継承され、学校を支えるものとして存在していた。しかし、現代においては必ずしもそのような継承が十分に機能しなくなっている。校訓を活かした学校づくりを進めることで、学校や地域において「世代をつないでいくこと」という機能を活性化することにつながるということが考えられる。

このように、校訓は地域住民にとっても重要な共通の理念として、学校と地域とを結ぶ紐帯となり、世代と世代をつなぐものになり得るものと考えられる。

(4) 「校訓を活かした学校づくり」の取組と期待される効果

校訓はその定められた経緯や内容によって、また各学校の実情に応じて様々な形で学校づくりに活かされているが、これらの取組は、おおむね、

○校訓が象徴する伝統を継承し、それに基づいて学校づくりを進める取組

○新たな校訓の創造や、伝統的な校訓以外に学校づくりの目標となる標語づくりを生徒が中心となって進め、それに基づいて学校づくりを進める取組

の2つに大別することができる。

例えば、校訓が象徴する伝統を継承し、それに基づいて学校づくりを進める取組の例としては、

○ 地域が輩出した偉人の遺した言葉を校訓とした学校において、卒業式等の様々な行事の中でこの校訓を取り上げ、これが多くの先輩に語り継がれて、その学校の伝統となっている。

○ 初代校長の訓辞を校訓としている学校において、これを挨拶運動や清掃運動といった取組に結び付け、さらにこれらの取組を地域にアピールして、地域と関わる運動会等の活動でも校訓実践の場としている。

といったものがある。

伝統的校訓を持つ学校の取組は、長い歴史と伝統の中で培われた学校と校訓に対して

児童生徒・教員・地域住民といった関係者がその学校と校訓に対して持っている愛着あるいは「思慕の念」といったものを活かした取組ということができよう。

このような学校では、既に児童生徒に校訓が相当程度浸透しているものと見られるが、必ずしも校訓を活かした取組が学校教育活動に十分取り入れられていない場合もある。このような校訓が持つ伝統は、その学校の児童生徒であることの自覚を促し、学校への愛校心や帰属意識を高めて学校教育活動を円滑化する。学習意欲や生徒会活動、クラブ活動の活発化それぞれに効果が期待できる。

また、歴史の長さ故に多くの卒業生を輩出しており、地域にも多くの卒業生が生活している場合が多く、学校関係者のみならず、地域住民にもある程度校訓が浸透していると考えられ、このことは学校が校訓を媒介として地域との関わりを持つための素地となり、学校づくりを進めるに当たって地域からの協力が期待できる。

このような学校においては、その伝統的校訓が持つ利点を最大限に活かした学校づくりが可能である。

他方、学校づくりの目標となる標語を生徒が中心となって進め、それに基づいて学校づくりを進める取組の実例としては、

- 生徒、保護者、教員の総意として生徒が守るべき学校生活の目標を自主的に定め、それを学校全体の教育目標としている。これに基づき、生徒が主体となった様々な活動を展開している。

という例がある。

このような、児童生徒、教員等の関係者が新たに学校全体の目標・理念を作り出すために学校全体が一致協力する取組により、学校全体は一つにまとまり、「新しい学校づくり」のための様々な取組を強力に推進できる。また、校訓を定める過程で全体が向かうべき方向や目標の浸透を図ることもできる。さらに、地域に対してこのような学校の取組について広報紙等を用いて発信し、理解を求めることで、当該校における学校づくりへの参画を促し、協力を求めるための環境整備を行うことができる。

これらの場合は、それまで存在していた校訓に加えて新たにスローガン等を作る例もあれば、校訓が存在しないところに新たに定める場合もある。いずれにしても、自分達の新たな理想を創り出そうという、関係者の熱意が学校づくり全体を引っ張っていく大きなエネルギーとなることが期待できる。

反面、数年が経過して校訓づくりに携わった人々が去っていくと、いかにその理念と活動を次世代に継承していくかが大きな課題となる。

このような新しい校訓の作成やそれに基づく活動は、教員のアドバイスを受けながら、生徒会等が主体となって行うことが多い。生徒にとってそのような経験は、これからの人生を歩む上での自信となり、自立心の育成やリーダーシップの養成、コミュニケーション能力の向上等、様々な効果を生み出すであろう。

このように、校訓を活かした取組は、伝統的な校訓の継承であれ、新たな校訓の創造であれ、学校づくりの推進効果として大いに参考になるものと思われる。

## 2. 校訓を活かした学校づくりの実例

### (1) 地域に根ざした伝統的な校訓を教育活動に活かした事例

～埼玉県立深谷商業高等学校～

○校訓…「質素剛健」、「至誠」、「士魂商才」

同校は大正10年に県内初の県立商業学校として創設された。校訓は大正11年に初代校長が校歌を作詞した際に「質素剛健一筋に至誠の道にいそしまん」と詠み、同年10月に渋沢栄一が来校して「士魂商才」、「至誠」と揮毫したことから、「質素剛健」、「至誠」、「士魂商才」の3つが校訓として現在まで受け継がれてきた。

同校では3つの校訓の下、全校を挙げて、機会あるごとに「在り方生き方教育」を推進している。

そして、渋沢栄一の教えを底流に、「質素剛健」、「至誠」、「士魂商才」を3本の柱として、意識して日常の教育活動と部活動に活かすようにしている。生徒は運動部・文化部ともに活発な活動を展開し、小学校との交流、商業関係資格取得、インターンシップ、国際交流等に取り組んでいる。

生徒・教員ともに渋沢栄一の郷土の商業高校であることが精神的な支えとなっており、地域からも渋沢栄一と関係の深い商業高校として関心を持って見られている。

卒業式等の式典の際には、式辞、祝辞の中に必ず校訓を盛り込み、校訓の浸透を図っている。地域に多くいる卒業生はとてども校訓を大事にしており、3つの校訓の中でも特に「士魂商才」は、「深商＝士魂商才」と地域から認識されるくらい定着している。

本事例は、商業高校という学校の存立目的に適った校訓を精神的バックボーンとして、キャリア教育的視点をもって商業関係資格取得、インターンシップに積極的に取り組み、学校の教育目標を体現している実例として大いに参考になる。

### (2) 家庭と連携して「三陽<sup>よう</sup>しぐさ」を定め、地域の思いを学校づくりに具体化した事例

～山形県鶴岡市立朝陽<sup>よう</sup>第三小学校～

○校訓等・・・「三陽<sup>よう</sup>しぐさ」

同校は創立102年目の伝統を持つ小学校であり、鶴岡市の中心部に位置し、地域住民の教育に対する関心も高く、協力体制も強固な状況にある。

まず、平成18年12月に、大人の期待を児童に伝え、地域社会の児童すべてにまなざしを同じくして児童の成長を見守り育てるため、各家庭において「家訓」を持つことを保護者に依頼し、各家庭の家訓を調査した。その結果、各家庭から届いた家訓は、挨拶や他者への気遣い、品性など、生き方の本質に関わるもので、同校の目指す子ども像とつながるものが多かった。

このことを土台にして、創立100周年の締めくくりとして、伝統の継承と新た

な文化、新たな校風の創造に取り組むため、当時メディアで話題になっていた「江戸しぐさ」をヒントに「三陽っ子」に身につけさせたい「三陽しぐさ」を児童や保護者、教員とともに考え、「見つけひろい（ごみやいろんな物をみつけては拾ってやること）」など、16項目の「三陽しぐさ」を選定し、ポスター作成や児童を対象とした「三陽しぐさ検定」を実施して意識付けを図った。

さらに、平成20年度の児童会目標を「『三陽しぐさ』で明るく元気な三小にしよう」とし、学校新聞に取り上げて啓発を図ったり、PTA広報紙で特集を組み、「三陽しぐさ」が生まれた経緯やその意義について広く理解を求めるとともに、各家庭に子どものしつけについて考えてもらったりして更なる広がりと深まりを図っている。この「三陽しぐさ」の取組は、山形県の教育改革の実践の指針にも紹介された。

このようにして同校では「三陽しぐさ」の学校から家庭へ、そして地域への広がり、深まりを図っていった。そして、学校・家庭・地域の温かいまなざしの中で「三陽っ子」を育成していくことを目指している。

本事例の「三陽しぐさ」は、家庭に対して家訓を持つことを依頼する過程で子どものしつけを考えてもらい、また、地域に対して学校づくりへの参画を促すという効果的な学校づくりの進め方として大いに参考になるものと思われる。

### (3) 生徒が主体的な活動により積極的な生徒指導を展開した事例

～大阪府高槻市立第七中学校～

#### ○スローガン…JASMIN運動

- J 授業を大切にしよう！
- A 挨拶をしよう！
- S 掃除をしよう！
- MI 身だしなみを整えよう！
- N NOチャイムに取り組もう！

同校では、生徒会活動を活性化し、生徒の自主性と自尊感情を高めることを目指している。また、学校目標を「ともに生き、すべてのいのち輝かそう！」とし、2つのルールとして、「人の話は目と耳と心で聴こう！」、「人の体と心を絶対に傷つけない！」としているように、守るべきことを、誰でも簡単に覚えられるように短いセンテンスにすることを意識している。

さらに、月1回の全校集会を開き、生徒が委員会活動の発表の場を保障することで、これらを点検活動から創造的活動に転換することを目指している。

このような中、平成18年に、生徒会執行部が良い学校はどのような学校なのか議論して、生徒自身が理想とするスローガンとして作成したのが上記の5つの約束事の頭文字を取って名付けた「JASMIN運動」であり、生徒会活動としてスタートしてこれを推進した。そのことにより、生徒の自主的な取組意識が高まっている。

さらに、この中のNOチャイムが成功したことは生徒会の大きな自信となり、当



時社会問題化してたいじめ問題等について、身近な問題として取り上げ、これがいじめ撲滅運動へと発展した。現在、名札に貼って意思表示するための「いじめ撲滅シール」やポスター作成、学年集会での意見交換などが行われている。

「JASMIN運動」はそのネーミングの良さも相まって地域にも広がっており、「ジャスミンPTA活動」としてPTAと生徒会執行部との交流会や挨拶運動への協力が行われ、さらに保護者の職場でのJASMIN運動も図られている。

生徒が中心となって進めてきた「JASMIN運動」であるが、最初にこれを作成した生徒が卒業し、継続していくことの難しさに直面しているが、これを伝統として定着させていくことが課題である。

本事例の「JASMIN運動」は一つのスローガンで校訓そのものではないが、生徒達が自ら生徒全体の目的を決めて生徒会活動に取り組むことにより、生徒の生活態度の向上がなされている。生徒の代替わりで継承の難しさに直面しつつも、運動の名称に正式なつづり（JASMINNE）のEを加えてバージョンアップを図ることを現在検討しているなど、創ったものの継承に取り組んでおり、大いに参考になる。

#### (4) 生徒・保護者・教職員の希望を集結して定めた「生徒憲章」を中心に学校づくりを行っている事例

～鳥取県立倉吉西高等学校～

##### ○生徒憲章

- 一、私は志を立て、目標に向かって全力を尽くします。
- 一、私は心身を鍛え、明るく健康な生活をおくります。
- 一、私は自由を尊び、言動に責任を持ちます。
- 一、私は友情を深め、ともに生きる心を大切にします。
- 一、私はこの学園を誇りとし、地域社会の信頼に応えます。
- 一、私は常に進取の精神を持ち、視野を世界に広げます。

同校は大正3年に創設された伝統校であり、創立70周年を迎えた昭和59年に特色ある学校づくりの機運が教職員、生徒それぞれに盛り上がっていた。

従来から学校の方針を示すものとして教育方針や100項目以上にわたる生徒心得があったが、生徒に対する制約色が強かったことから、特色ある学校づくりを生徒の手で進めたいという生徒会からの強い要望が上がり、生徒総会で生徒心得見直し議案が満場一致で可決し、この要求を教職員が真正面から受け止め、校則の廃止を決定し（生徒が遵守すべき事項は生徒会で自主的に定めて遵守）、生徒・保護者・教職員の希望を集結して「生徒憲章」の制定へと発展した。

入学式では、校長が生徒憲章の意義を説明し、新入生は生徒憲章に署名を行う。署名により、生徒は学校への帰属意識を高めている。

この「生徒憲章」の制定により、生徒は自信を持って自主的・自発的に行動するようになり、生徒と教職員の信頼関係ができ学校としての一体感が生まれていった。

また、授業に集中する生徒が増え、学力が向上したり、部活動においても勢いがでるといった効果も現れた。

近年は、10年後の自分を見据えた人間力の育成を目指し、生徒憲章を具現化するための「倉西夢きらりアクションプラン」を行っている。

例えば「チャレンジグループ活動」では、学年とクラスの枠を取り払い、20のチャレンジグループを設定して上級生が下級生を指導する体制を作り、県内の講師を招いて講演を聴いたり、県内の施設見学を通して社会の仕組みや問題点について理解を深める。また、生徒会活動としてカンボジア井戸掘り支援活動を行っており、これが地域社会を巻き込んだ活動に発展している。

本事例は、生徒の想いを教職員側が受け止めて、生徒、保護者、教職員の希望を集結して自主的に作成した生徒憲章を学校づくりに反映させた例であり、これによって学校の一体感が生まれ、学力が向上し、部活動が活発化した特色ある取組として大いに参考になる。

#### (5) 多種多様な背景の児童生徒を統合する取組の事例

～兵庫県立芦屋国際中等教育学校～

○校訓… Respect (尊敬)

Integration (融和)

Contribution (貢献)

同校は平成15年に開校し、平成21年3月に初めて卒業生を出した新しい学校である。6年間の中高一貫教育で、教育目標として多文化社会に生きる人間形成を行うこと、個に応じた指導の充実により、基礎・基本の定着と生きる力を培うこと、コミュニケーション能力、国際感覚を備え、世界に貢献できる人間を育成することを掲げている。

入学対象者としては外国人児童、海外帰国児童、海外での生活や留学等を目指して特に入学を希望する児童としており、平成21年5月現在で27か国の生徒が在籍しており、異なる言語環境や文化的背景の下に育った生徒が能力や適性に応じて弾力的に学ぶ中高一貫校づくりを進めている。

校訓は、同校の開設に向けた準備委員会で案を出しながら、同校の設立趣旨から外国人児童にもわかる校訓で、国際的に通用するものを考え、国境を越えたところで児童生徒が共生していく上で何が大事かという観点から、最終的にこの3つの言葉を校長が決めたものである。

校訓が反映された教育活動としては、総合的な学習の時間に「芦屋インターナショナルタイム (A I タイム)」がある。ここで生徒は自分が興味のある言語・文化をグループを作って学習する。互いの言語・文化を学び合うことで、生徒は互いに対する尊敬、融和の気持ちを学び合う。

その他、清掃活動等の地域貢献活動、国際交流事業など様々な取組をもって、校訓の理念の実現に努めている。

本事例は、多くの国籍を持つ生徒が互いに尊重し、相互理解していくための理念として校訓を定め、活動を行っているものであり、今後の教育の国際化の進展や小・中学校教員が一体となって児童生徒を指導する小中一貫校などの多様な学校の在り方を踏まえると、大いに参考になる。

### 3. 校訓を活かした学校づくりの進め方

#### (1) 取組意識の共有と関係者全体への浸透

##### ・ 取組意識の共有

校訓を活かした学校づくりを進めるに当たっては、まず、校訓の意義や役割を理解する必要がある。その上で、それをどのようにして学校づくりに結び付けていくか、具体的には、どのような目標・理念をその基礎としてどのような学校づくりを展開していくのか、教員、児童生徒、保護者、地域住民等の関係者で取組意識の共有を図ることが第一歩となる。例えば、既に定められた校訓がある学校においては校訓の目指す教育理念や教育目標について関係者から一定程度の理解があるものと考えられるが、そのそれぞれの理解の仕方や実践を進めるに当たっての方向性などに自ずと違いがあることは容易に予想されるからである。むしろ、関係者が校訓を活かした学校づくりの在り方を論議していく過程で、それぞれの立場や考え方の違い、問題認識の違いを互いに理解しつつ、どのような取組をすればより良い学校づくりを進めることができるかについて議論することによって、お互いに一致協力できる共通の目標に取り組むという態勢を整えることができるという面がある。新たに、校訓を定める場合についても同様であろう。

なお、関係者の中でも、生徒会など生徒自身がその中心的役割を果たそうとすることがあるが、教員側としては生徒の熱意を受け止めてその自主性を尊重しつつも、生徒の置かれた状況や生徒の議論の状況を注意深く見守り、生徒がより良き方向を目指して進んでいくことができるように、適宜適切な助言を行うことも必要なことであると考えられる。

##### ・ 関係者全体への浸透

校訓を活かした学校づくりの目標や取組方針が定められた次の段階では、これらに関係者全体に浸透させていくことが必要となる。目標や取組方針を定める段階で関係者に周知を図ることには一定の限界があるし、また、取組の当初の段階から多くの支持を見込むことができないような状況がある場合などには、まずは校訓を活かした学校づくりの態勢をつくることを優先し、取組の過程でより良い学校づくりへ参画を募ったほうが現実的である場合もあるものと考えられる。いずれにしても、目標や取組方針を定めた段階での関係者よりも、より多くの関係者に浸透を図り、参画者の輪を拡大することによって取組の深みを増していくということが重要であろう。

教員間では、校訓を活かした学校づくりの狙いや方向性について職員会議等の場を通じて議論を継続するとともに、児童生徒の理解度や取組の実態、家庭・地域への周知、家庭・地域の取組への参画状況について情報共有を進め、児童生徒への教育活動や家庭

・地域の取組への参画促進など教員全員が一丸となって取り組んでいくという意識の浸透を図ることが重要である。

児童生徒に対しては、あらゆる機会を捉え、校訓を活かした学校づくりの目標や取組の意義を十分に理解させることが望ましい。児童生徒の理解力や関心の向きを踏まえつつ、授業の中で校訓の理念を分かりやすく丁寧に教えていくことや、入学式・卒業式の式辞に校訓の内容を盛り込むなど授業、学校行事の機会を捉えた地道な努力を継続することも考えられる。校訓の言葉の意味がなんとなく頭で分かっているにもかかわらず、なぜそのような校訓が定められているのか、どのような人となることが目標とされているのか実際には考えたことがなかったという場合もあるだろうし、校訓を体現するという意識が心の中に浸透していないという場合もあるかもしれない。校訓を活かした学校づくりの取組の中で、個々の児童生徒の意識への浸透を図ることが本質的に重要であると考えられる。

保護者、地域住民に対しては、学校が発行している広報紙、ホームページ等による情報提供を行い、校訓を活かした学校づくりの目標や意義に対する理解を深めてもらい、校訓を活かした学校づくりを進めるに当たっての協力体制の構築に役立てることや、場合によってより積極的に学校づくりへ参画してもらうなど、保護者、地域住民に校訓を活かした学校づくりの輪に加わってもらうという視点が重要である。とりわけ、伝統のある校訓については、相当程度、地域住民の意識に浸透されているような場合もあり、これを梃子にして地域住民から学校づくりへの協力を得ていくことが効果的である。

## (2) 校訓を活かした学校づくりの積極的展開

校訓を活かした学校づくりがいったん軌道に乗ると、関係者全体が一つの目指すべき方向に向かっていくようになると見込まれるが、それを限られた領域にとどめておくことは余りに惜しいことである。「文武両道」という言葉が示すように、人としての在り方として、学習面で優れているということのみでなく、体力面や人格面での成長や充実が欠くべからざるものであることはいままでもない。校訓そのものが目指す人として在るべき人間像や行動規範は、知識、判断力、体力、人格等あらゆる資質の充実を前提とするものである以上、多岐にわたる取組が積極的に展開されていくことが必要となる。

例えば、積極的に学力向上に取り組んだ結果、学校づくり全体へ良い影響を与え、部活動が盛んとなる事例がある。一見すると、直接的には関係のない事柄であるようにも見えなくもないが、学校づくりの効果は教員、児童生徒、保護者、地域住民の意識の持ち方如何によって大きく影響を受けるものであることを考えると、一つの事柄での達成感が自分達がどこまで向上するかということに関しての心理的障壁を打ち壊すことによって、やればできるという意識の下で更なる意欲に満ちて他の事柄に取り組むことができる効果があることは想像に難くない。直接的に関係があるように見えなくとも、実は取組が相互により効果を与え、結び付いた結果であることも推測できるのである。

このように一つの領域において学校づくりの取組が成果を挙げている場合には、より良い学校づくりに向けた取組をより積極的に幅広く展開していくことが重要であると考えられるのである。とりわけ、生徒自身が参加して新たな校訓を創り上げた場合におい

ては、生徒には自分たちで一つのことを成し遂げた自信と自分たちの学校を自分たちで創っていかうという意欲に満ち満ちているものと考えられる。このような沸き上がった生徒の情熱を、生徒の自主的な活動、例えば、グループ学習活動、いじめ撲滅運動、挨拶運動、ボランティア活動、チャリティー活動などに向けていくことや学力向上、部活動の充実、また、専門高校などでは、就職に必要な資格取得といった諸活動に結び付けていくという視点が重要であると考えるのである。

なお、ボランティア活動等の校外での活動は、地域住民を巻き込んだ形で行われることも多い。児童生徒の地域住民との交流は、児童生徒の視野を広げ、学校づくりの自信と意欲をさらに高めることとなるとともに、地域住民からの校訓を活かした学校づくりの意義の理解や参画意識の促進につながることを期待できる。

### (3) 次世代への継承の問題

校訓を活かした学校づくりは、当初の関係者の熱意が原動力となって強力に推進されることがあって、短期間の間に一気にそれが成功して、学校全体が活性化し、学習意欲や部活動の活発化など様々な効果が現れることがある。このことは、前述の事例をみても明らかである。

しかし、関係者のうちの児童生徒はやがて卒業して入れ替わる。また、教職員も異動するため、当初熱意を持って校訓を定め、活動を始めた関係者がいなくなれば、その熱気は数年で冷めてしまうことになりがちである。校訓を活かした学校づくりに成功した学校においても、次世代にその校訓の理念と活動を引き継ぐことの難しさが指摘されており、校訓を活かした学校づくりのための大きな課題となっている

当初の関係者の熱意を引き継いで学校づくりを継続していくためには、まず校訓の自体的理念的な部分について、

- ① 校訓の目指す人間像を生徒に深く理解させ、校訓が作られた経緯や背景について振り返る活動を取り入れるなど、着実にこれを次世代に引き継いでいくこと
- ② 次世代の児童生徒に、良き伝統の中にも、新たな取組を創り出していく喜びを感じさせる工夫を加えること

などが必要であると考えられる。

校訓のうち権威の源泉ともいふべき価値や理想像は受け継いでいくことが望ましいが、時代の要請や学校が直面する状況如何に応じて、改善を加えたり、柔軟に見直しを行っていくことも必要となる場合があることを銘記すべきである。

なお、校訓を活かした学校づくりのための取組の状況や適切さを学校評価の対象として、その効果等を検証することにより、よりよい取組が継続的になされるようにすることも重要である。

～ 校訓を活かした学校づくりの推進に向けて ～

校訓を活かした学校づくりについては、これまで必ずしも学校関係者の間でその実情や効果について活発な議論が行われてきたわけではなかった。しかし、実際には多くの学校で、校訓の伝統を守り、また新たに校訓を作り出すことで、これを学校全体を活性化し、児童生徒一人一人を育てている。また、地域がその取組に参画し、学校・家庭・地域が連携・協力して児童生徒の成長をその温かい目で見つめている事例も多くある。

こうしたことから、校訓を見つめ直し、実践する取組は子どもの心を育む上で有効であり、それは学校のみならず地域全体にも好影響を与え、地域づくりにもつながっていくことがわかる。

学校は共通の目的を持つことによって団結し、活性化する。そして、それによって子どもたちは学校の一員としての自覚を持ち、一人の人間としての様々な能力を身につけていくことになる。その時の経験は、それからの人生を歩んでいく上での大きな力となり、十年後、二十年後の自分にも生きてくるであろう。

校訓を活かした学校づくりからもたらされるそのような効果を踏まえ、各学校でそのような取組を積極的に推進していくことが望まれる。



# 「校訓等を活かした学校づくり」を 実践する小・中・高等学校の取組事例

※ 都道府県・政令指定都市教育委員会のご協力により、「校訓等を活かした学校づくり」の取組事例として、以下の①～⑥の例示に該当する取組を行っている学校を取りまとめ、一覧表にしております。

## <分類例>

- ① 校訓及びその理念と学校教育目標等を明確に関連付け、学校経営に活かされているような事例
- ② 校訓の見直しを図ったり、生徒による校訓（生徒会目標）を定めたり、ユニークな校訓を定めたりするなど、特色ある取組が見られるような事例
- ③ 校訓等及びその理念を踏まえた（意識した）学校行事や生徒指導が行われているような事例
- ④ 「校訓等を活かした学校づくり」にP T Aや地域の協力・参加を求め、家庭・地域と一体となった取組が行われているような事例
- ⑤ 校訓等及びその理念の達成状況について、学校評価と関連付け、指標に盛り込むなどの取組が見られるような事例
- ⑥ その他、「校訓等を活かした学校づくり」の検討に資すると考えられる事例



都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
北海道	旭川市立東町小学校	校訓 「やさしく かしく たくましく」 学校教育目標 「豊かな人間性と創造性を備え、たくましく未来を切り拓く子」	③	本校は、平成20年度に自己評価及び学校関係者評価結果を活用した学校教育目標の改訂を行い、改訂前の学校教育目標であった「やさしく かしく たくましく」を校訓として位置付け、校訓の教育理念を踏まえた学習指導や学校行事を展開している。	「やさしく」 児童会が中心となり、思いやりのある言葉を積極的に使う「ハートフル・ワード」の取組や、百寿大学等との交流活動を実施するなど、豊かな心の育成に努めている。  「かしく」 校内研究において、PISA型読解力の育成を目指す研究に取り組むとともに、保護者の協力を得て読み聞かせを行うなど、学校と家庭が一体となり確かな学力の育成に努めている。  「たくましく」 全校児童で朝マラソンに継続して取り組むとともに、栄養教諭による食に関する指導を計画的に実施するなど、たくましい心身の育成に努めている。
北海道	釧路市立青陵中学校	校訓 「進取 感謝 奉仕(自他敬愛のひとたれ)」 学校教育目標 「未来にたくましく生きる人をめざして」 ・明朗で気力にあふれた心豊かな人 ・健康でたくましい体を鍛える人 ・意欲的に学び、自ら実践する人	③	本校は、生徒会が主体となったいじめ撲滅運動に取り組み、学校教育目標を受けたいじめ撲滅運動にかかわる生徒会の目標(スローガン)を設定し、釧路市教育委員会主催の「くしろの子ども大集合」や釧路教育局主催の「ストップ・ザ・いじめ子ども会議」等で実践発表を行うなど、高い評価を得ている。	学校の教育目標を実現するため、主体的で発展性のある生徒会活動を推進し、生徒会を中心とした「いじめ撲滅委員会」を発足させ「ISSY運動＝I(いじめを)S(しない)S(させない)Y(許さない)運動」に取り組んでいる。  「ISSY運動」のシンボルとして、オレンジリボンバッチを作成するとともにいじめ撲滅集会を校区内の小学校や地域住民、保護者と一体となって開催し、オリジナル劇などを通して、いじめについて考え防止する集会活動を展開している。
北海道	黒松内町立黒松内中学校	学校教育目標 「高い目標をもち ブナの里に学ぶ たくましく心豊かな生徒を育む」 ・自ら学び、考え行動する生徒 ・やさしさと敬愛の心をもった生徒 ・ねばり強く、たくましい生徒	③	本校は、ブナ北限の里として、学校教育目標に「ブナの里に学ぶ」と掲げ、地域の自然環境を生かした活動を展開している。	総合的な学習の時間において、国の天然記念物に指定されているブナ林をテーマとし、ブナの植樹やブナ林の温度変化の様子など、体験的・探究的な学習活動を展開し、自ら学ぼうとする意欲や課題に粘る強く取り組む姿勢、他者を思いやる心など、学校の教育目標の具現化に努めている。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
北海道	豊富町立兜沼小中学校	校訓 「拓く」	④	本校は、校訓「拓く」のもと、未来を拓く子どもの育成をめざし、「総合的な学習の時間」において、小規模校の利点を生かして地域の教育資源を積極的に活用した体験活動の推進に努めている。	文化を創造する喜びを味わい、自己の感性を表現することができるよう、地域人材との連携を図った全校陶芸の取組 地域の自然や歴史について学び深めたことを他者に表現することができるよう、保護者や地域住民との連携を図ったテーマ学習発表会の取組 自分たちが地域に対して果たす役割について考えることができるよう、保育所やデイサービス等の施設訪問を位置付けたボランティア学習の取組
北海道	北海道登別明日中等教育学校	校章の愛称 「ライジングA」	②③	本校は、校章に愛称を当て、校名「明日」(あけび)のイニシャル「A」にちなんだ3つの理念「ADVANCE[生徒のAはアドバンス(前進・進歩)]」、「AFFECTION[保護者のAはアフェクション(永続的な愛情)]」、「ACCOUNTABILITY[学校のAはアカウントビリティ(説明責任)]」を掲げ、北海道唯一の中等教育学校として、特色ある教育活動を展開している。	6年間を基礎期・充実期・発展期の3期に分けた教育課程の編成による計画的かつ継続的な教育指導の展開[「A」の3本のライン] イマージョンプログラムの導入、中国語・ハングル等の科目の開設、ALTの常駐、コールシステムの活用、海外見学旅行・語学体験研修等の実施など、国際理解教育や外国語教育を重視した教育活動の実践[生徒のAはアドバンス(前進・進歩)] 学校・家庭・地域社会が連携した6年間の一貫教育[校章下部の6本のライン、保護者のAはアフェクション(永続的な愛情)] 中高の教員による全道的な規模での研修会の開催や日常的な授業公開等[学校のAはアカウントビリティ(説明責任)]
北海道	北海道美唄聖華高等学校	校訓 「思いやりある言葉と笑顔」	③	本校は、校訓やその理念等を踏まえ、看護実習等を通じた患者や施設利用者とのコミュニケーション体験学習や、献血活動・募金活動、地域との交流活動等のボランティア活動を実施するなど、愛情をもって公共に奉仕できる社会人を育成する教育を推進している。	「春と秋の献血」 春と秋の年2回、日本赤十字社の献血バスが来校し、多くの生徒と教職員が献血活動に取り組んでいる。 「2学年体験学習」 3年次臨床実習の準備として、病院や施設において、患者や施設利用者とのコミュニケーション体験学習に取り組んでいる。 「歳末たすけあい運動」 生徒会等が中心となり、校内での募金活動に取り組んでいる。 「特別支援学校との交流」 ボランティア部が中心となり、近くの養護学校の運動会のお手伝いや養護学校高等部の生徒と合同の花植えに取り組んでいる。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
北海道	北海道留萌千望高等学校	校訓 「英知 友愛」  学校教育目標 「未来に翔く、心豊かなスペシャリスト」 ・自ら学び、確かな技術を身に付けた人 ・大いなる指標を持ち、想像力に富む人 ・生命の尊さを自覚し、健康で活力に満ちた人	①④	本校は、校訓の理念を学校教育目標の柱である「未来に翔く、心豊かなスペシャリスト」として位置付け、専門高校として地域に貢献する、知識と技能を育む教育活動を推進している。 また、商品開発やものづくり教育を通じ、地域の人材や事業所の協力を得ながら、地域の産業や資源への理解を深め、地域と共に生きる人を育む取組が評価されている。	「ものづくり教育」、「商品開発とビジネス活動」の取組(留萌の特産物を使った商品開発) ・セブンイレブン・ジャパンとの共同開発商品「にしんそぼろ御飯」の発売(H21.3.3～留萌・北空知・中空知の店舗～3週間、H21.6.23～全道全店舗～7.16) ・「もっちり米パスタ」、「練そぼろ」、「真っ赤なビーツの福神漬」、「パセリME N(うどん)」、「留萌ニシン飯」等の商品開発 ・「もっちり米パスタ」を使った料理レシピ作成及び贈答用「もっちり米パスタ」セットの販売 ・「ふるさと食品全国フェア」、「北海道フードフェア」への出展  「地域に根ざした教育」の取組 ・JR留萌駅に「留萌案内板」をデザインし設置(H21.4.25) ・各市町村の町内会からの依頼による「御神輿」の製作 ・町内会やPTAとの連携による木工教室の開催
青森県	弘前市立城東小学校	天下の賢	③⑤	昭和47年9月の創立15周年記念式典において、弘前に生まれ日本を代表する明治の言論人となった陸羯南の詩から校訓として定められ、以来多くの先輩に語り継がれ、豊かな伝統と校風を築きあげている。	・校舎前庭「夢のグリーンランド」に校訓を刻んだ石碑を配置し、校地を訪れる多くの方々に周知している。 ・各種行事において校訓を伝え、特に卒業式の式辞や卒業生の「旅立ちの言葉」には必ず組み入れ校訓を継承している。 ・児童会だよりの題名としている。
青森県	八戸市立白山台中学校	自律 協同	①③	平成19年度開校とともに校訓を定め、その理念を教育目標等に位置付け、学校経営につなげている。	・学校経営方針を受け、校内研究は規範意識の育成に取り組んでいる。(「自律」との関連) ・学校行事等、生徒が主体的に活動する場面は「全員が全力で！」を合言葉にして、「協同」の精神を育てている。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
青森県	青森県立三本木農業高等学校	自主協同、自律責任、 質実剛健、言行一致	①⑤	<p>校訓である「自主協同、自律責任、質実剛健、言行一致」のもと、「知・徳・体の調和のとれた社会人の育成」を学校教育目標に掲げ、①「授業の充実、基礎・基本の定着と学力の向上」、②「基本的生活習慣の確立」、③「農業教育をとおした将来のスペシャリストの育成」、④「個に応じた進路指導の充実」を、学校評価を行うにあたっての重点目標に設定している。</p>	<p>重点目標①に係る取組となっている授業規律の厳守、寄宿舍での自学自習の習慣確立に向けた指導、</p> <p>重点目標②に係る取組となっている生活指導(登校指導、遅刻防止の呼びかけ、欠席事由の確認、教育相談担当者との連携等による長期欠席の防止、寄宿舍生活指導など)、</p> <p>重点目標③に係る取組となっているプロジェクト学習活動(3年間にわたる研究活動)や寄宿舍における朝夕の農場当番実習での指導、</p> <p>重点目標④に係る取組となっているインターンシップ(1年生は全員対象で総合的学習の時間「e-time」を利用した職場実習となっており、自ら就業体験を希望する企業等に申し込み、体験後の礼状の発送も自ら行うが、2・3年生は希望者のみ対象で、県外も含め進路達成につなげる就業体験を行う)や資格取得に向けた指導など、3年間の教育活動の様々な側面で4つの校訓が反映されている。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
岩手県	岩手県立不來方高等学校	自由・創造・飛翔	①	<p>本校は、創立22年目を迎える普通科に学系制を取り入れた総合選択制高校である。校訓を踏まえた学校経営により、5つの学系の特徴を活かした教育活動を展開して生徒の個性や能力を伸長させ、校訓を具現化して学校生活を充実させるとともに、進学や部活動等において大きな実績を上げている。</p>	<p>自由 普通科の中に人文学系・理数学系・芸術学系・外国語学系・体育学系があり、それぞれ個性豊かな生徒が入学しており、生徒一人一人の能力や感受性を大切に、自主性や内発性を重んじる明るく自由な雰囲気づくりを重視する指導を行っている。また、外国語学系の生徒は、ボランティアやフェアトレード等学校外部の活動に自由な発想で取り組んでいる。</p> <p>創造 芸術学系(音楽コース・美術工芸コース)においては、生徒一人一人の創造性を伸長させることを目標に個別指導に力を入れて進路実現に努め、東京芸術大学等各種大学に現役進学を果たしている。また、全日本合唱コンクールにおいて文部大臣奨励賞を3度、金賞を9回受賞した音楽部を始め、書道・美術・工芸・吹奏楽・文芸・写真・演劇等創作を重視する各部が活発に活動し、県の各種コンクールで上位入賞を果たしつつ地域の行事等にも積極的に参加している。ほかに、委員会活動による生徒会誌コンクールの3年連続岩手県最優秀賞などもあり、創造するというところに価値と喜びを見いだすような指導がなされている。</p> <p>飛翔 学力と部活動のより高いレベルの実現「飛翔」をめざして生徒・保護者・職員一丸となって取り組んでいる。近年国公立大への進学実績の向上を果たす一方、昨年の部活動においてもハンドボール部男子全国大会3位・女子ベスト8、サッカー部・バレーボール部の全国大会出場その他めざましい活躍を見せている。また、中国語等の外国語スピーチの各種コンテストでも全国の上位を獲得している。毎年文化祭「翔鶴祭」においては「飛翔」をイメージした大オブジェを中庭に掲げ、全校で意識の昂揚を図っている。</p>
宮城県	亘理町立吉田小学校	至誠・禮儀、共同、進取	①	<p>校訓を学校経営の中心に据えており、その理念が、めざす児童像、今年度の重点等に明確に示されている。</p>	<p>「至誠」という校訓を、「徳」「知」「体」「意」という四つの視点でとらえて、めざす児童像に反映させている。その児童像を児童にも分かりやすい四つの「合い言葉」として表現し、意識付けを図っている。具体化に際しては、上記の四つの視点に「関」という視点を加えた五つの視点でとらえ、重点及び努力点として教師間で共通理解して、取り組んでいる。また、各重点及び努力点の主たる担当者を明示している。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
宮城県	大崎市立古川中学校	常に正しきを求めて 向上的態度を持とう	①③⑥	郷土の偉人吉野作造博士の教え(古川餘影の一節)を校訓として設定している。目指す生徒像や目指す教師像は時代の要請とともに変化することはあっても、この校訓は学校経営の中核として、永年、不動のものとなっている。	校訓を基に、目指す生徒像、目指す教師像、スローガンを設定して全教育活動を推進している。教育活動推進の要として校訓を十分に機能させている。ふるさと学習の一環として、吉野作造博士について探究することが、伝統になっている。
宮城県	宮城県田尻さくら高等学校	校訓 (1)自主、(2)進取、 (3)誠実  教育目標 自主自立の精神を涵養し、学校内外のあらゆる生活場面を通じて豊かな個性の伸長につとめ、心理を探求し、自発的学習意欲を高め、社会で有用な人材の発掘に努める。	④	平成20年度4月に開校した昼夜二部の定時制・単位制高校である。校訓をうけた教育方針「保護者及び地域社会との密接な連携・協力のもと、学習指導・生徒指導・進路指導に万全を期し、信頼される学校づくりに努める。」の実践を行っている。	1. 地域交流ギャラリーの設置と活用 2. 地域交流ギャラリー通信による広報活動(旧田尻町内全戸へ配布) 3. 科目履修生受け入れ(地域の大人と共に学ぶ環境づくり)

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
秋田県	秋田県北秋田市立鷹巣西小学校	<p>学校教育目標 「高きをめざし すこやかに」</p> <p>めざす児童像 ドキドキドンちゃん(挑戦の心)、どおも君(感謝の心)、ならぬ姫&amp;ならぬ武士(正義の心)</p> <p>学校経営の軸 メージーン・レッド(学びの基礎力)、ワゴコロンブルー(和心)、マネブー・イエロー(まねぶ)</p>	①②	<p>1年生でも具体的な姿をイメージし、目標に向かって努力することができるように定められたキャラクター付きの「めざす児童像」は、全校児童にしっかりと受け止められている。また、学校経営の軸に沿った校内分掌の改変、「めざせ、〇〇〇」のように具体的な名前をつけた実践と年間計画は、教職員にとっても校長のビジョンが明確に伝わるものになって成果を上げている。</p>	<p>学校教育目標やめざす児童像(ビジョン)は、校長の思いが凝縮されたものである。それが、小学校では1年生にも特別支援の対象児にも、もちろん保護者、地域にも十分伝わってこそ学校経営が成り立つ。そこで、その設定に当たったのよりどころにしたのが、「ユニバーサルデザイン」という考え方である。それは「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障害の有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインすることをいうが、その考えを生かした方法が、学校教育目標を校歌から引用することと、めざす児童像を「キャラクター化し、イラストにする」ことである。</p> <p>学校教育目標は、以前「豊かな心と自ら学ぶ意欲を持ち、一人一人たくましく生きる児童の育成」という教育専門用語の多い文言だったものを、だれにでもわかりやすく親しみやすいものにするため、創立の理念、願いが凝縮されている校歌の中の一文からいただき「高きをめざしすこやかに」に変更した。めざす児童像及び学校経営の軸は、「校訓等」に記述したとおりである。</p> <p>月別全校共通実践目標(実践プラン)は、本校の「学びの基礎力」の実態に応じて「めざせ!〇〇名人」として設定し、子どもたちにもわかりやすいネーミングにしている。昨年度から、先人やその道の一線で活躍している人を知ることを取り入れたネーミングにした。基本的に行動評価とし、学年に応じた内容を設定している。児童全員の基礎力の把握と交流をねらいに、一定期間に校長が検定を行っているものもある。</p> <p>(例)</p> <p>①「めざせ!伊能忠敬(調べ方名人)</p> <p>②「めざせ!本田宗一郎(手先名人)</p> <p>③「めざせ!成田為三(本市出身)(歌唱名人)</p> <p>教職員への発信もユニバーサルデザインの考え方で、次の3つの重点を提示した。3つあわせて「しゃ・しゅ・しよの教育」である。</p> <p>日々教育に当たる最前線の教職員が常に経営重点を意識するための方策の一つとして、覚えやすい文言を提示した。</p> <p>①「釈(しゃく)育」:自分なりに解釈し判断する力の向上</p> <p>②「宿(しゅく)育」:学びの基礎力(日常)と長期宿泊活動(非日常)のスパイラル化</p> <p>③「食(しょく)育」:実践的食育(栽培から調理まで)の充実</p> <p>提示される目標のすべてが、わかりやすいからこそめざす方向性が明確で子どもたちにも教職員にも浸透しやすく、実践の成果も向上している。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
秋田県	横手市立鳳中学校	「生生(せいせい)」「生き生きと活動し、新たな自分を求めてやまない姿)」	③	校訓「生生」を総合的な学習の時間の名称にすることで、本校の生徒に校訓が浸透するだけでなく、活動の対象となる地域の方々からも校訓に対する理解を深めていただいている。また、「生生」と名付けた学習活動には長い伝統があり、本市内での知名度が高い。	本校では、昭和56年から学校裁量の時間を活用し、教育課程の中に「生生」の時間を位置付けてきた。開始当初のねらいは、学習活動の名称に校訓を取り入れることで、生徒自身が校訓を身近なものとし、それを意識した行動や生活を心がけることを期待したものであった。内容的には、学年単位の集団づくりと生徒が個人のテーマで主体的に学習に取り組む自由研究活動に分かれていた。後者は今日の「総合的な学習の時間」の趣旨に沿う学習活動であり、現在はその時間の名称を「生生」としている。本校の「総合的な学習の時間」の学習は、自分の周囲から課題を発見して、地域や様々な人々等とかかわりながら課題解決を図り、それを提言として地域や社会に発信していこうとするものである。また、その学習を通して、「かかわり合うこと」をキーワードに、生徒自身がよりよい自分、新たな自分を発見することも期待している。したがって、「生生」の時間は、探究的な学習活動で「確かな学力」の向上を目指すことを通して「生き生きと活動し、新たな自分を求めてやまない姿」の実現を図っていくことになり、「総合的な学習の時間」の学習活動は、校訓そのものを生徒自身の中に確立させていく学習になる。このように、校訓と学習活動を直接結び付けることで、校訓が単なる象徴的な存在に終わらず、生徒の学校生活の支えとなり、生徒の中に長い間生き続けるものとなることを目指し、今後も取組を継続していく。
秋田県	秋田県立金足農業高等学校	教育方針(校是) 「自主 勤労 感謝」 生活信条(金農三生活信条) 「時間厳守 挨拶励行 整理整頓」	①③⑤	金足農業高校は、平成18年度より学校改革に着手し、組織マネジメントに基づいた学校運営に取り組み、生徒の育成等に一定の成果を得ている。特に、校訓(校是)を背景にした金農三生活信条の「時間厳守、挨拶励行、整理整頓」をベースに生徒指導を実践し、それが生徒の人間形成や進路目標の達成に大きな成果が出てきている。このことは地域社会や保護者(外部評価)からも評価を得ており、学校改革が学校の活性化や教育力向上につながっている。	平成18年度より学校改革(学校経営計画の策定)に着手し、組織マネジメントに基づいた学校運営を学校あげて取り組んでいる。学校では校是や三生活信条を学校の経営理念や教育方針に明確に関連づけて生徒を指導している。平成21年度は学校経営計画策定から4年目になるが、特に、金農三生活信条の「時間厳守、挨拶励行、整理整頓」をベースにした生徒指導の実践が実を結んでおり、生徒の挨拶や整容などの生活面の改善がみられるようになり、それが生徒の人間形成及び進路目標の達成に一定の成果を得ている。このことは地域社会や保護者(外部評価)も評価を得ており、学校改革が学校の活性化や教育力向上にもつながっている。また、金足農業高校は秋田県の農業高等学校の中核として、魅力ある農業高校をめざし、学校改革の一環として、学校の自らの使命の追求を通じて実現をめざす学校の将来像(ビジョン)なども明確にしておき、改革の推進の観点から指導する教職員の意識の改革も進めながら信頼される学校づくりや学校活性化に取り組んでいる。



都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
山形県	鶴岡市立朝陽第三小学校	家庭から募集した家訓をもとに、温かい言葉や思いやりなど、子どもの理想的な立ち居振る舞いを盛り込んだ「三陽(さんよう)しぐさ」を制定し、校訓等として取り組んでいる。	④	家庭との連携を深め、子どもの成長を見守る目を同じにする考えから、学校の「目指す子ども像」と家庭の「家訓」を出し合い、大切にしたいことを共通認識した。家庭との連携はもちろんであるが、家庭という有効な資源をフルに活用して、これまで以上に子どもと向き合う時間の拡充を図るための方策になっているため。	子どもの成長を見守る目を大切にするため、それぞれの家で「家訓」を持ってほしいと呼びかけ、各家庭の家訓を調査した。各家庭から届いた家訓は、挨拶、気遣い、品性などに関わるものであった。このことを土台に創立100周年のしめくくりとして、「三小の子どもに身につけさせたいマナー」として「三陽しぐさ」を子どもたちや保護者と学校職員でともに考えた。総数150ほどの「三陽しぐさ」が寄せられたが、その中から16項目に絞り込み、平成20年度から児童会を中心に取り組み、さらに地域にも広げようとしている。
山形県	酒田市立第四中学校	学校教育目標 「進もう 学ぼう 励もう」 おおらかに たくましく うるわしく  中学校の「いじめ根絶」をテーマにした小・中連携を試みたことから、生徒指導面での小・中学校の連携の具体策を見つけることができた。	②	一中学校、生徒会単独の実践でなく、中学校の取組を、中学校区の小・中連携の組織や行事を活用して小学校に紹介し、小学生のいじめに対する意識啓発を図った。中学校区(酒田川南地区)生徒指導担当者会を中心にしながら、様々な会で情報交換を行い、小・中学校の連携を深めたため。	○「いじめ根絶」に向けた生徒会による活動・生徒総会での「いじめ根絶」に関する意識付け ・学級独自の「いじめ撲滅宣言」の採択・掲示、具体的活動の実践 ・「思いやり」をキーワードにした学年活動 ・「いじめ」に関する前項アンケートの実施・結果の公表 ・「うれしかった言葉」等の募集 ・生徒会の趣旨に賛同する生徒が付けて「自分の意志」を表す、「オレンジリボンキャンペーン」の実施 ・児童会・生徒会リーダーの交流会での情報交換 ○新入生保護者説明会(次年度の中学校入学)での実践報告 ○川南生徒指導担当者会での情報交換

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
山形県	山形県立山形東高等学校	校是	①	<p>三つの校是が学校経営のための教育活動推進の柱となり、その実現に向けて教育目標や教育方針が示されている。さらに三つの校是に対する具体的な指針と数値目標(具体的目標)が示されており、生徒もその実現に向けて努力している。</p>	<p>文武両道            学業は勿論のこと、部活動や学校行事等への積極的な活動を奨励している。文武両道の実現に向けて、自律的な時間の有効活用ができるような指導を行っている。            質実剛健            社会に生きる人間としての資質を身に付けるため、生徒会が中心となって、挨拶の励行などよき校風の樹立に向けて自主的に取り組んでいる。            自学自習            難関大学への進学を希望している生徒が多数を占めていることから、授業第一主義を貫きながらも、意欲的に「自学自習」が進められるよう、シラバスを作成して生徒に提示している。</p>
福島県	福島県白河市立白河中央中学校	<p>「健」 心とからだをみがき、奉仕する生徒</p> <p>「覚」 学び方を工夫し、たしかな学力を身につける生徒</p> <p>「愛」 人との関わりを大切にし、思いやりのある生徒</p>	①	<p>白河中央中学校は(1)生徒が来なくなる学校(2)保護者から信頼される学校(3)教師もやりがいのある学校の3つの目指す学校像や目指す学級像を掲げ、生徒や保護者、教職員が一体となり、学校運営を行っている。これらを受けて教育目標も知・徳・体のバランスのとれた、たくましい生徒の育成を目指し「健」・「覚」・「愛」という健康(体)・知性(知)・友情(徳)の3つを掲げている。ここで、特徴としてあげられるのは「健」を最初に掲げ、人間としての生きる力。健康の保持増進が人間として最も大切であることを謳っていることである。さらに、教育目標を具体的にするための意義付けや目標構造を明確にして学校教育活動に取り組んでいる。さらに、教育目標を達成するための具体的な手立てをグランドデザイン化した学校経営・運営ビジョンとして表現し、学校評価と関連づけ組織的かつ計画的に取り組む姿が見られる。</p>	<p>(1)教育目標を具体的な目標行動として表現し、実現するための手立てをグランドデザイン化し、計画→実践→評価→改善のマネージメントサイクルを通して達成を目指している。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
福島県	福島県福島市立飯野中学校	立志の碑「友よ目指すは何か 志を立て希望を胸にまっしぐらに進まん ああ若き日の誇りよ」の精神を教育理念とし、「志を持ち、社会に通用し貢献する人間の育成」を目標に教育活動を展開している。	①②	「立志の碑」とそれに基づく「立志」の精神を基本理念とし、「志を持ち、社会に通用し貢献する人間になる」ために、生徒と教職員が心を一つにして取り組んでいる。	○「立志の碑」は、1年生が一番最初に覚えなければならないもので、入学式の中で全員が声を合わせて暗唱することになっている。また、このことが、ごく当たり前に生徒にも保護者にも受け入れられている。
福島県	福島県双葉郡浪江町立浪江中学校	生徒一人ひとりが、世界一安心して、世界一楽しく学べる学舎の創造	②③	上記2の経営方針のもと、「いじめという目は持たないで、おりめ、まじめ、けじめ、そして、ゆめという目を持った生徒になろう。」を合い言葉に、生徒も、教職員も、保護者も「世界一の中学校」を目指し、活動している内容が優れている。	生徒会執行部が以下の内容の「いじめ『しない、させない、許さない』」宣言活動を企画運営している。
茨城県	神栖市立須田小学校	校訓「やさしく(徳育)、かしこく(知育)、たくましく(体育)」	①④⑤	校訓を学校教育目標及び指導の重点に位置付け、その実現に向けて努力事項や具体的な施策を設定し、学校教育活動全体を通して、組織的に実践している。	校訓を生かした学校教育目標「やさしく・かしこく・たくましい須田の子の育成」の実現に向け、校訓をキーワードとした3つの重点指導事項を位置付けた学校教育活動全体計画を作成している。また、重点指導事項の実践化を図るため、それぞれ対策委員会を設置するとともに組織目標を設定し、学校、家庭、関係機関と連携・協力した創意工夫ある学校運営に努め成果をあげている。
茨城県	笠間市立稲田中学校	健康 創造 根気 奉仕	①③	本校は、教育目標「学びの心と豊かな心を持ち 最後までやり遂げる生徒の育成」を実現するために、校訓を基本とした四つの柱「豊かな心情を持ち健康で明るい生徒(健康)」「自ら判断し創造力に富む生徒(創造)」「強い意志を持ち実践力のある生徒(根気)」「思いやりの心を持ち進んで奉仕し協力できる生徒(奉仕)」を立て、生徒、教師、保護者が一丸となって取り組み、成果を上げている。	校訓の理念を踏まえた活動例として、生徒会のボランティア委員会を中心に取り組む「1・3運動」が挙げられる。「1日にゴミを1個拾えば3日で3個になる」ことから名付けられ、平成3年度から始まった環境美化運動である。毎週水曜日を「1・3運動の日」とし、生徒は通学途中のゴミを拾ってくるなどゴミ拾いを行う。11月は強化月間として毎朝ゴミ拾いを行っている。生徒会では、毎年1万個以上のゴミを拾おうと目標を立てて取り組んでいる。「1・3運動」は地域の人たちから感謝され、地域にも広がる活動として根付いている。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
茨城県	茨城県立佐和高等学校	君の心に聴け The truth is always in your mind.	①③⑤	初代川又正義校長が、昭和60年4月の本校開校に向け、「その時代の道しるべになり、飾り物でない校訓をつくりたい」と考え、教職員たちと相談し、いつでも、どこでも、誰でもが口をついて出る言葉として、校訓「君の心に聴け」を定め、目指す学校像の基盤とした教育活動を展開している。	校訓「君の心に聴け」を学校経営計画表や学校評価の「目指す学校像」の根幹として位置付けている。 また、茨城県の「みんないっしょにマナーアップ推進事業」と連携した「さわやかマナーアップ運動」として、佐和駅前でのあいさつ運動や学校周辺での交通安全キャンペーンを年4回実施している。 本校独自の取組としても、校訓を基盤とした「心の教育」に資する学校行事「全校ボランティア」、毎月の昇降口での生徒と教職員によるあいさつ運動及び身だしなみに気を付けようという意識づくりに資するための生徒指導に取り組んでいる。 さらに、活動を確実にするために教師側も「いじめに関するアンケート」を行う等支援し、保護者を交えた「道徳の時間」を実施するなど、保護者との連携も図っている。
栃木県	真岡市立物部中学校	○校訓 まこと ・至誠 ・勤労 ・分度 ・推穰  ○学校の教育目標 「よく考え たくましく生き 思いやりのある人」	①	物部中学校は、昨年市町村合併により二宮町立から真岡市立へと変更になった学校である。地域にゆかりの深い二宮尊徳の教えから、至誠、勤労、分度、推穰を校訓とし、それらを学校教育目標、目指す生徒像、努力点及び具体策に明確に位置付け、学校経営に生かしている。	・全校集会、卒業式辞や生徒会誌の校長あいさつ等で、二宮尊徳にまつわる話、校訓に関する話をするなど、生徒や保護者に校訓の意義と重要性を説明し意識化を図っている。 ・推穰(人のために自分の力をつくすこと)に関する活動として、生徒会活動で各種募金活動、アルミ缶回収、地域の清掃活動を実践している。 ・生徒が目指す生徒像に向けて努力するための支援の一環として、教育目標、校訓、きまり、生徒会活動、学習・健康・体力・読書等の記録、日記などを一冊にまとめた「物中メモリー」を活用している。 ・図書室には、二宮尊徳に関する資料コーナーを設置し、二宮尊徳の人となりとその教えを紹介している。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
栃木県	栃木県立栃木工業高等学校	○校訓 和顔愛語 (意義:いつもやわらいだ顔で相手方の心をくみとり相手方の心持ちを察してその人に接する。)	③	栃木県立栃木工業高等学校は、昭和37年度に開校した。昭和38年2月4日に制定した校訓「和顔愛語」のもと、三つの生徒指標「1. 技術を学び 2. 心身を鍛え 3. 友愛を深める」を掲げ、福祉教育活動に力を入れている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校訓「和顔愛語」の具現化を目指し、体験的な活動を展開している。</li> <li>・福祉教育活動は、①校内福祉啓発活動 ②交流教育活動 ③福祉機器製作活動 ④国際交流活動の4つの柱を掲げ、実践している。</li> <li>・創立30周年記念の年に「心に記念碑を建てよう！」をスローガンに開始したタイボランティア活動は、「栃工高国際ボランティアネットワーク」として発展・継続している。</li> <li>・授業の中で保育園での体験活動を取り入れたり、身に付けた技術を生かして製作した福祉機器を福祉施設に贈ったりすることで、人と人の対話やふれあいを大切にされた教育活動を展開している</li> </ul>
群馬県	館林市立第八小学校	心と花を育てよう！ (たいせつなルール たからになる心 らんまんな花々)	③	①美しい玄関(めざせかかとそろえ100%)②心に響く道徳教育(心のきれいなたたらっ子)③花づくり運動(花いっぱい緑いっぱいの第八小)をアピールポイントとして、校訓を活かした特色ある学校行事や生徒指導を実践している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「かかとそろえは」は「心そろえ」を合い言葉に、マナーの輪を広げていくマナーアップキャンペーンを実施してきた。</li> <li>②さまざまな場面で「ぐんまの子どものためのルールブック50」を活用し、家庭とも連携し「我が家のルールづくり」に取り組んできた。</li> <li>③給食の残りをリサイクルした肥料で土づくりをし、花を植え、毎日の水やりや草取りなどの世話にいそしみ、市の花壇コンクールでも優秀な成績をあげている。</li> </ul>
群馬県	館林市立第二中学校	「明るい笑顔のあふれる、勢いのある第二中学校」をつくろう ～行事で全力を出し、思いやりの心で奉仕活動に取り組む～	②	ユニークな校訓のもと①学校行事の工夫②生徒会行事への取組③委員会活動とボランティア活動の充実をアピールポイントとして、特色ある教育活動に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>①毎年6月にジュニアオリンピックを開催した。全学級、職員で練習に参加し学級の団結力を高めた。</li> <li>②生徒会主催の学級対抗行事を学期に一回(一学期は長縄飛び、二学期は綱引き、三学期は玉入れと全競技で学年の枠を設けないで対戦)ずつ実施した。また、学級の一員としての自覚を高めるために、昼休みの時間を生徒主体の活動を取り入れた。</li> <li>③青少年赤十字の精神「気づき、考え、実行する」を取り入れた生徒主体の委員会活動、ボランティア活動に取り組んできた。</li> </ul>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
群馬県	太田市立南中学校	図南の心 南中風景 5つの柱 1、あいさつ風景を高め ます。(礼儀)～あいさつ を通して信頼を高めま す。 2、学校風景を美しくし ます。(環境)～清掃に 力を入れて学校を美しく します。 3、学級風景をよくしま す。(学力向上)～授業 に集中します。 4、集会風景をよくしま す。(規律)～目と耳と心 で話を聞きます。 5、部活風景をよくしま す。(向上心)～自分の 可能性に挑戦します。	①③	太田市立南中学校は開校以来「良識と 思いやりのある学校」を目指し、誰もが 安全で楽しい学校生活を送れる学校 経営を進めてきている。その方策とし て、伸ばしあえる学校づくりのために先 輩たちが育んできた知恵を「図南の心」 として示し、生徒活動に生かしている。	図南の心を大切にしながら、生徒たちは「わたしは南中の生徒です。」「わたしの 母校は、南中です。」と胸を張って言える取り組みをしている。特に生徒会 は基本方針「チェンジ・チャレンジ」を作り自主的活動を実践している。また、 体育祭(文化祭)は生徒主体で行われている。
埼玉県	川島町立八ツ保小学校	「八つのあすなろ」	①	校長のリーダーシップのもと、校訓に 「八つのあすなろ」の実践目標を掲げ、 学校教育目標の具現化について全職 員で取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校訓に「八つのあすなろ」と学校教育目標及び目指す生徒像を明確に関連            づけた学校経営を行う。</li> <li>・毎月の全校朝会でプレゼンテーションを活用して全職員及び全自動に説明            し、校訓等の具現化を図る。</li> </ul>
埼玉県	川島町立川島中学校	「夢 感動 絆」	③	校長のリーダーシップのもと、生徒の 理解しやすい校訓を設定し、全ての学 校行事や教育活動においてその具現 化に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事において生徒が「夢 感動 絆」を実感するように充実させること            で、教育活動の1つの柱とした学校経営を推進している。</li> <li>・全校や学年単位での講話、学校だよりなどを通して「夢 感動 絆」について            生徒や保護者に対し、その内容や意義について周知している。</li> </ul>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
埼玉県	熊谷市立江南中学校	「志高く」花と笑顔に包まれ、歌声と挨拶の響く学校	①	校訓を学校教育目標と関連させ、教育目標の具現化に明確に位置付けるとともに、すべての教育活動において、その理念を全職員や全生徒が意識して取り組んでいる。さらに、全職員や全生徒はもとより家庭や地域においても、校訓「志高く」を合い言葉にして、家庭教育等にも生かすなど、誰でもどこでも言葉に出すことで、意識を高めている。	校訓「志高く」の理念のもと、学校教育目標「心豊かな生徒 自ら学ぶ生徒 たくましい生徒」とし、その具現化として、「志に生きる(規律ある態度)志をはぐくむ(学力)志を立てる(体力)」を明確に位置付けている。学級経営の充実、わかる授業づくり、体育授業の充実などをはじめとするさまざまな教育活動の土台として、学校・家庭・地域を支えている校訓である。
埼玉県	埼玉県立深谷商業高等学校	「至誠」まごころのことであり、常に誠実な心をもって、人や物事にあたれということ。 「士魂商才」正しく立派な心と優れた経営手段をもてということ。 「質実剛健」華美に走ることなく、強く逞しい精神をもって、人生をおくれということ。	①③⑥	「士魂商才」や「質実剛健」の校訓の下、全校を挙げ、「在り方生き方教育」を推進し、専門教科等における資格取得や部活動において、下記のように顕著な成果が出ているため。 【運動部】陸上部－インターハイ：800mで優勝、9種目20人が出場、関東大会：12種目延べ23人出場。テニス部－関東大会出場。他 【文化部】簿記部 全商簿記コンクール全国大会24年連続出場(過去最高：準優勝) コンピュータ部 全商情報処理競技大会全国大会20年連続出場(過去最高：優勝) 全商ワープロ競技大会全国大会出場 ビジネス部 全商珠算競技大会全国大会の珠算部門・電卓部門ともに出場 全経電卓競技大会(全国大会)団体3位(平成18・19年度)	「至誠」等の校訓を本校に揮毫した洪沢栄一翁の教えを教育活動と部活動に活かしている。生徒は、この教えを日々の活動の精神的柱とし、こつこつと毎日実直に「学んで時に習い」を実践し、練習に励んでいる。 例えば、簿記部・コンピュータ部・ビジネス部において、高度な資格取得を目指して活動している。これまでに日商簿記1級・情報処理の国家資格・全経電卓10段などの合格者を排出している。全国大会にも毎年出場しており、昨年度は県予選を勝ち抜いて簿記・情報処理・ワープロ・珠算・電卓の5部門すべてで全商主催の全国大会に出場した。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
千葉県	佐倉市立根郷小学校	校訓 「進取の心」 学校教育目標 「実践力のある個性豊かなたくましい児童の育成」	①②④⑤	平成18年度より継続的に、堀田正睦をはじめとした佐倉ゆかりの先覚者の業績や生き方、佐倉の歴史・自然・文化を学ぶ「佐倉学」を研究の柱として推進している。児童・教師・家庭・地域が組織的に連携して実践し、学ぶことの大切さを知り、新しいものに積極的に挑戦しようとする校訓「進取の心」の育成と児童の実践力の向上という面で特に成果をあげている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校訓につながる道徳的価値を各学年の重点指導項目に設定した総合単元的道徳学習。</li> <li>・佐倉の先覚者を題材に副読資料を作成し、生き方を学ぶ授業を実践。</li> <li>・学んだ生き方を自分に生かし、実践力につなぐ児童による「根郷子ども宣言」の作成。</li> <li>・研究部だよりやホームページによる家庭、地域への情報発信。</li> <li>・保護者や地域への授業の公開と毎年の公開研究会を開催による市内各校への情報提供。</li> <li>・ボランティア活動や自然保護活動、エコ活動など家庭、地域と連携した実践活動。</li> <li>・学校評価、保護者へのアンケートでの「進取の心」の育成状況の評価。</li> </ul>
千葉県	市川市立妙典小学校	「あったかはあと」が育つ学校 学校教育目標 「心豊かに考えぬく子」	①③	本校は、今年度開校11年目を迎えた比較的新しい学校であるが、開校以来「あったかはあと」を学校のキャッチフレーズとして教育実践を積み重ねてきている。校歌も「あったかはあとがパスポート」という題名であり、様々な場面でこのキャッチフレーズを生かした学校運営を行うことにより、学校好きの児童を育てるとともに、地域・保護者からの信頼を高めている学校として紹介したい。	日々の学習や「あったかはあとピクニック」などの行事を通して「人とかがわって学ぶ」「自然とかがわって学ぶ」「体験を通して学ぶ」ことを意識し、あったかはあとな児童の育成をめざしている。開校以来、総合的な学習の時間の研究に取り組み、各学年の活動内容も「あったかはあと」を意識したものとなっている。また、通知表、新1年生入学説明会の標題にも「あったかはあと」を用い、保護者に学校の方針や経営理念をわかりやすく伝えるようにしている。



都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
千葉県	匝瑳市立野栄中学校	校訓 「志高く(Make Spirit Better)」 学校教育目標 「豊かな心を持ち、自ら正しく判断し、行動できるたくましい生徒の育成」	①	本校は、かつて生徒指導困難校として、教育活動が著しく阻害された状況の中で、正常な教育活動を目指し、学習面及び生活面の基礎・基本の行動様式を明確にし、食育指導を合わせて取り組んできた。その経緯の中で、平成16年度より「志高く」を校訓として掲げ、平成19年度より校訓を理念とし、学校教育目標と関連づけ伝統と校風を築く努力をしている。	志高く(Make Spirit Better)の頭文字M・S・Bを用いて、それぞれMind(心を鍛え)・Study(勉強に励み)・Build(たくましい心身をつくる)とし、具体的な取組として、1学年は入学2週間後に宿泊研修で中学校生活のルールを学び、2学年は2泊3日の宿泊研修で東京都内の班別行動で、協力・助け合いを体験学習する。また、道徳指導においては相互授業参観及び活用資料の収集と相互提供を道徳教育推進教諭を核に推進している。短学活・給食・領域分野の授業等において全学級チームティーンングを実施し、学習や生活の基礎・基本の定着を図っている。更に、部活動への全員参加や管理栄養士による定期的な給食指導をおこない食育の充実を図っている。
千葉県	千葉県立幕張総合高等学校	校訓 「独立自尊 協調親和」 教育方針 「個性豊かに 心寛く 夢のある人間」	①③	本校は、総合選択制の高等学校として平成8年に開校した。その前身は、昭和55年に全国初の集合形態をとる学校として、幕張新都心の文教地区に設立された旧幕張東・西・北の3つの高等学校である。以来、平成15年には進学重視型の単位制に移行し、翌16年には、県立若葉看護高等学校と統合した。現在、普通科と看護科を併置する、生徒数2,000名の県下一の大規模公立校である。開校以来、常に県のパイロットスクールとして先進的な取組をしている。	校訓「独立自尊 協調親和」に基づき、生徒一人一人の夢の実現、個性の伸長をはかっている。 ○進学重視型単位制(普通科) 単位制の利点を活かした他校に類を見ない大規模な総合選択制により、生徒一人一人の独自の時間割による学習が可能。また、少人数・習熟度別指導できめ細やかな指導を展開。フランス語・中国語・映像メディアなどの専門科目もあり、一般にも開放。 ○5年一貫教育看護師養成(看護科) 県内唯一の看護科であり、最短コースで看護師国家試験受験資格取得が可能。 ○盛んな部活動 部活動加入率80%、多くの部活動が関東大会、全国大会等で活躍。 ○地域との連携 学区の小・中学校・青少年育成委員会・自治会等と連携し、授業公開など、学校を地域に開き、地域の視点を学校運営に活用。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
千葉県	千葉県立市原八幡高等学校	燃えるsomething (県教育委員会 県一校 1キラッ運動による キャッチフレーズ)	①④	千葉県では、全ての高等学校がその学校ならではの「キラッ！」と輝く取組を実施し、それを県民に広く発信することにより一層のイメージアップを図る『一校1キラッ!』～魅力ある高等学校づくりキャンペーン～を展開しているところであるが、その先行的な取組として、学校のキャッチフレーズを生かした学校経営で、地域の信頼を急速に高めている学校として紹介したい。	当該高校では、平成19年度より、「燃えるSOMETHING」を対外的なキャッチフレーズとして広報活動を続けており、生徒の自己肯定感を高め、将来の自己実現のために打ち込める何かを発見し、それを育む学校づくりを学校経営の理念とし、下記のような取組を行っている。 入学時：特色ある入学者選抜において、秀でた教科や特色ある活動を高く評価している。 在校時：得意教科を伸ばし、不得意教科を克服するために習熟度別学習を主体とした「縦に深い単位制」を実施している。また、理科部生徒による校舎の屋上緑化や屋上ビオトープの整備など、部活動の振興にも力を入れている。 卒業時：ていねいな個別指導によって進学にも就職にも強い進路実現を図っている。
東京都	青梅市立新町小学校	「あじみこし」 (あ…あいさつ、じ…時間を守る、み…身なり、見だしなみ、こ…言葉遣い、心遣い、し…姿勢)	③	当該校では、教育目標「自ら進んで行動する 思いやりのある子、学習する子、たくましい子」の具現化を図るため、「あじみこし」の取組を推進している。平成19・20年度青梅市教育委員会研究指定校として「学習成果を高める 授業規律・生活規律の確立」を研究主題とし、取組の成果について発表を行った。全校的な取組の結果、大きな成果を上げているため、本事業の取組事例として紹介したい。	当該校は、児童が900名以上在籍する大規模校である。そのため、児童の安全・安心を保障し、学習意欲を向上させるために授業規律・生活規律の定着を図ることを重視している。そこで、教職員・児童が学習や生活の中で規律を意識し、共通行動をとることができるように、家庭との連携を図りながら「あじみこし」の取組を進めている。また、学習規律の確立を意識した授業づくりを行い、併せて、日々の授業で指導の工夫を行うことで、児童の学習意欲の向上につなげ、学習成果が高まるように実践を積み重ねている。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
東京都	中野区立第十中学校	愛する十中のため、そして自分たちのために 《十中十箇条》 Ⅰ挨拶・礼をしっかりとしよう Ⅱ時間を守ろう Ⅲ人の話を落ち着いて聞こう Ⅳ提出物を遅れずに出そう Ⅴ人を傷つけないようにしよう Ⅵ自分の役割をしっかりとやろう Ⅶ授業を大切にしよう Ⅷ行事を盛り上げよう Ⅸ自分の言動に責任を持とう Ⅹ自分たちの力で創造しよう	②③⑤	学校教育目標達成のために、生活指導部が中心に『十中十箇条』を作成し、学校全体としての取り組みとして地域への発信しているため、紹介する。	学校教育目標達成のために「十中で学び未来への一歩を踏み出そう！」を合い言葉に生活指導部が中心となり『十中十箇条』を平成18年度に作成した。それを基に生徒指導を進めてきたが、現在では学校全体としての取り組みとして、『十中十箇条』を前面にだして進めている。学校要覧にも明示し地域等への発信も行っている。生徒会目標を「十中ルネサンス」として、3年間3つの指標を掲げ行動してきた。本年度生徒会の目標は「十中 GO AHEAD」である。
東京都	東京都立小石川中等教育学校	「立志・開拓・創作」を校是とし、校歌に歌われた「科学の道に分け入りて」を建学の精神としている。	①	建学の精神から、「理科を主とする」というのではなく、むしろ“小石川教養主義”を拠として“頭脳を科学的に錬磨すること”を目指した教育を展開するとともに、スーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)等の指定も受け先進的な取組による成果も報告されている。	SSH(スーパーサイエンスハイスクール)に指定 都立小石川高等学校は、平成18年度から「『理科好き、数学好きを育てる自然科学教育』の実現に向けたカリキュラム及び教材の開発」というテーマでSSH(スーパーサイエンスハイスクール)の指定を受け、様々な取組は指定と同時に開校した中等教育学校と一緒に進めている。 様々なリテラシーの育成を目指す 世の中では文系・理系という言い方がされるが、科学的思考や論理的なものの方や考え方は理系だけのものではなくあらゆることに求められる。この考えから本校ではカリキュラムを理系・文系には分けず、多様な課題解決に必要とされる様々なリテラシーの育成を目指している。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
神奈川県	小田原市立 鴨宮中学校	眞・善・美 『眞』とは「正義」、『善』とは「人のため」、『美』とは「思いやり」の心を意味する。校長室に掲示されている「眞・善・美」の墨書は、昭和29年に本校生徒が修学旅行時にノーベル物理学賞受賞者の湯川秀樹博士宅に伺い、後日、博士から贈られたものである。	①③	校訓が、学校のグランドデザインの中心に設定されている。校訓の眞・善・美は毛筆による墨書であり、校長室に掲示されている。これは、昭和29年に本校生徒が修学旅行時にノーベル物理学賞を受けられた湯川秀樹博士宅を伺い、依頼したものである。生徒が校訓を定める活動に取り組み、後に、この校訓は石碑に刻まれ、学校の正面玄関脇に設置された。	眞・善・美の心を育む学校づくりを目指し、学区の幼・小・中の連携を生かした子どもの健康・体力づくりの推進を実践している。特に生徒が健康・安全で活力ある生活を営むために必要な資質や能力を育て、調和のとれた心身の発達を目指す取り組みを行い、『眞・善・美』の心を素直に表現し、行動できる生徒の育成を図っている。
神奈川県	小田原市立 白鷗中学校	さとく 美しく たくましく	①②	校訓が、学校のグランドデザインの中心に設定されている。また、校訓の「さとく 美しく たくましく」は「自ら学び、自ら考える人」「豊かな心を持ち、行動できる人」「心身ともに健康で、気力・体力にみちた人」の育成を目指していて、「生徒の人間として調和のとれた育成」を目指している学習指導要領の方針と合致している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校訓を見直し、新たな視点で校訓の意味、校訓の目指すところを再検討した。</li> <li>・校訓に迫るために、生徒の行動目標「あせふけ」(挨拶、服装、清掃、けじめ)を設定し、全校で取り組んでいる。</li> <li>・校訓を地域でも理解してもらうため、PTA総会や地域の集会(育成会など)でも積極的に話をしている。</li> </ul>
神奈川県	大井町立湘 光中学校	・公明正大 ・読書三到	①	・特に読書三到の校訓の基に、朝の「学年タイム」を位置づけて朝読書を実施し、よい本を熟読するよう心掛けている。	・朝読書に関しては、4～5年前より実施されていたが、全校的な取組ではなく、自主活動としてスタートした。現在は、学年タイムの中の10分間を活用して、毎日のスタート前に全校的に取り組んでいる。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
新潟県	新潟県五泉市立愛宕中学校	「愛の心(人間愛、自然愛、郷土愛)を持った生徒」	③④⑤⑥	「愛の心(人間愛、自然愛、郷土愛)を持った生徒」を育てることを基本理念とした豊かな心を育む教育活動を行っている。 村松藩三万石の城下町として栄えた歴史と教育の町(旧村松町)として先輩を手本にした「文武両道」の精神で学習、部活動に励んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雪割草の咲く里山づくり活動＝村松雪割草の会</li> <li>・新潟大学農学部附属フィールド科学教育センターと連携して行う「食農教育」「環境教育」「栽培実習」「動物の世話」</li> <li>・地域アドバイザーと連携した食育教育の推進</li> </ul>
新潟県	新潟県立高田高等学校	<p>校是 「第一義」(人の宝とすべきものは、物ではなく、物を超えた心であり、思いやりの心であるという意)</p> <p>校訓 「質実剛健」「堅忍不拔」「自主自律」</p>	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や生徒指導の中で、生徒に「校是」「校訓」を意識させる教育活動に取り組んでいる。</li> <li>・学校運営方針に、「校是」「校訓」を重んじることがうたわれている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「校是」「校訓」の意義を理解し、実践していく学校行事(オリエンテーション合宿、文化祭、全校登山など)</li> <li>・「校是」「校訓」の理念にもとづく人間形成を主眼とするキャリア教育の取組み</li> <li>・創立135年の伝統(「校是」と卒業生の支援による進路指導の取組みなど</li> </ul>
新潟県	上越市立大手町小学校	脩道(人としての道を修める)	④⑥	<p>玄関に掲げられた額「脩道」は、大手町小学校の前進、藩校である脩道館講堂の正面に掲げられていたものである。</p> <p>かつて脩道館に学ぶ人たちは額を仰ぎ、心を磨いたと伝えられている。現在も大手町小学校では、「脩道」の精神を大切に「人としての生き方を身に付ける」べく、地域の自然や歴史、文化を教材として、家庭・地域と一体となった教育活動に先進的に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自ら学び、自ら考える」子どもの育成を目指し、生活科・総合的な学習を中核にした教育課程を編成(過去に文科省研究開発学校の指定3回)</li> <li>・他者を「思いやる心」をはぐむ領域「ふれあい」を教育課程の基盤にした、「自立」と「共生」を重視した教育課程の編成・実施(研究開発学校:指定期間18～22年度)</li> <li>・スポーツフェスティバル(運動会)、なかよし遠足(全校縦割り班活動)、子どもまつり(文化祭)など、子どもが主体的に計画・運営する学校行事の実施</li> <li>・学校と共に子どもの育ちを支えようとする「父親応援団」「学び・ささえ隊」「ゆめ空間」など、家庭・地域と一体となった教育活動の推進</li> </ul>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
富山県	高岡市立成美小学校	体育館に掲げた合い言葉 「継続は力なり」 学校教育目標 「心豊かなたくましい成美の子」 ・かしこい子 ・つよい子 ・うつくしい子	④	<p>地域住民、地域諸機関の絶大な支援の下、学校花壇づくりや花のまちづくりを推進し、豊かな心を育成するためのうつくしい環境づくりに努めている。</p> <p>成美小学校という校名は、「君子は人の美を成す」(論語)からきている。その「美を成す」の校名を実践する活動を推進し、児童会を中心として「花と緑の活動」を継続している。「地域とともに」を柱として「環境にやさしい花づくり」に取り組む、その原動力は「継続は力なり」であり、児童はもとより、住民の熱い思いが地域に受け継がれていることも大きい。今年度、緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰を受賞するなど、優れた成果をあげている。</p> <p>【全国表彰の主なもの】            ・昭61:第23回全国花いっぱいコンクール優良賞            ・平8:全国環境教育賞奨励賞、花壇コンクール文部大臣奨励賞            ・平10:全国花のまちづくりコンクール団体優良賞            ・平12:全国花のまちづくりコンクール農林水産大臣賞            ・平20:第18回全国花のまちづくりコンクール            「成美花と緑のパノラマ」として国土交通大臣賞            ・平21:緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰</p>	<p>自然環境に働きかけ、「継続は力なり」を合い言葉に、学校の花壇が近隣の保育園や地域の花壇へと広がる大パノラマ構想に取り組んでいる。児童と保護者、地域住民と、地域を愛する花と緑の推進協議会会員とが協力して、長年美しい教育環境づくりに取り組んできた成果が表彰歴等に表れている。</p> <p>児童会では、栽培委員会が中心となって全校児童によって花を植え、世話をする活動計画を立て、自然を愛する心やいのちを大切にしようとする態度を育んでいる。</p> <p>花づくりは人づくりの心意気で活動を展開している。花壇づくりを特別活動や総合的な学習の時間等に位置づけ、児童の主体性を引き出している。また、独居老人宅に、育てた菊と共に手紙を届けるジュニア福祉活動を継続し、花を愛し、人を愛する心を育んでいる。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
富山県	富山県立砺波高等学校	<p>校訓「道義為之根」「質実剛健」「自彊不息」「進取而敢為」</p> <p>教育目標</p> <p>ア 地域の伝統・文化を理解し、継承できる資質を育てる。</p> <p>イ 将来、職業人として生きるために必要な、基礎・基本的な知識や技能を身に付けた人材を育てる。</p> <p>ウ 社会人として生きるために必要な、コミュニケーション能力や常識、規範意識を身につけた人材を育てる。</p> <p>エ 地域から信頼され、期待される人材を育てる。</p> <p>オ 自然や社会の変化を捉え、他者に共感し、思いやれる感性を持った人材を育てる。</p>	①③	<p>進学校としての地域の期待を担い、生徒の人格陶冶と進路目標の実現を旨とする教育活動を実践している。</p>	<p>一人一人の生徒が、学習活動による学力、知性の錬磨と、特別活動や部活動等を通しての人間性、精神力及び体力の向上を目指して、充実した学校生活を送るよう指導し、支援している。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
石川県	内灘町立西荒屋小学校	至誠	③④	平成19、20年度文部科学省委嘱 道徳教育実践研究校である。 至誠、きわめて誠実なこと、まごころ。この校訓のもと、生命尊重教育を実践している。	「まごころ」＝「命を大切にすることを育てる」ととらえ、①命を大切にすることを授業、②心を育てる体験活動、③地域・家庭の連携の3本柱で、教育活動を展開している。 具体的には、 ①体験活動と関連づけた道徳の授業づくり、道徳コーナーの設置、学級での飼育活動 ②地域ボランティア活動、飼育、栽培活動、出前人形劇の実施(保育所) ③教育講演会、地域の先生の活用(畑、凧、人形づくり)、児童発表会記念文集発行などが実践されている。



都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
石川県	羽咋市立 邑知中学校	○校訓「らしくあれ」 ※校区にある古刹永光寺に「柳は緑、華は紅なり」と記した襖書(山岡鉄舟書)があり、禅の金剛教の「目前に法なし、柳緑華紅ノ教ヘニ従フミ」に由来する。生徒は生徒らしく、教師は教師らしくを意味する。 ○生徒会スローガン「めざせ！地域の一番校」	①②	校訓「らしくあれ」に基づき、「学校、家庭、地域が協働する中、学びあい、助けあい、鍛えあいにより夢を持ち、未来を拓く邑知中生の育成」を学校教育目標とし、「邑知システム(学力向上策)」「邑知システムを支える環境づくり」の2本柱で教育活動に取り組んでいる。中学生らしくあるべき姿(めざす生徒像)を全教師と全生徒が共有し、学校教育活動全体で取り組みを進め、学力面、生徒指導面、生徒活動面で素晴らしい成果を上げている。	<p>1 めざす生徒像(ゴールイメージ)の設定と共有</p> <p>①3つの生徒像の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びあいにより、『確かな学力』を身につけた生徒」</li> <li>・「助けあいにより、『豊かな心』を身につけた生徒」</li> <li>・「鍛えあいにより『健やかな体』を身につけた生徒」</li> </ul> <p>②全校学習オリエンテーションの定期的な実施による、生徒像の生徒との共有化</p> <p>2 邑知システム(学力向上策)</p> <p>①活用力の育成に向けた実践研究</p> <p>②R-PDCAサイクルによる検証・改善システムの導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Reserch: 誤答分析・各種アンケートによる実態把握</li> <li>・Plan : 各教科におけるゴールイメージの明確化・学習オリエンテーションの実施</li> <li>・Do : 活用力の育成に向けた授業実践・個に応じた指導法の工夫</li> <li>・Check : 授業と評価の一体化による授業改善・教科相談の実施・テストノートの実施</li> <li>・Action : 新たな手だての構築</li> </ul> <p>3 邑知システムを支える環境づくり</p> <p>①「めざせ！地域の一番校」をスローガンにした自主性を重んじた生徒会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人年5回のボランティア活動参加</li> <li>・毎朝あいさつ運動の実施</li> <li>・全校で取り組む「いしかわ学校版環境ISO」の取組(エコスクール)</li> </ul> <p>②小中連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校区内小学校への出前授業の実施</li> <li>・授業・行事等での児童生徒の交流</li> <li>・作品の交流</li> </ul> <p>③学びの環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空き教室の有効利用</li> <li>・生徒デザインの学校花壇</li> </ul> <p>4 信頼される教師を目指して</p> <p>①校長、教頭による毎日1回の授業参観</p> <p>②家庭・地域の期待に応え信頼される教職員を目指し、学校評価を実施</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
石川県	石川県立田鶴浜高等学校	<p>校訓 明(あか)るく、浄(きよ)く、直(なお)く</p> <p>教育目標 地域の医療・福祉に貢献できる有為な人材の育成</p>	①④⑤	<p>校訓と教育目標のもと、健康の心・福祉の心・看護の心を育て、地域の医療・福祉に貢献できるスペシャリストの育成を目標に取り組んでいる。平成20年度は、看護師と介護福祉士の国家試験合格率が共に100%を達成するなど成果もみられた。また、地域の奉仕活動や小・中学校への出前授業などにも取り組んでいる。</p>	<p>① 「地域の医療・福祉に貢献できる有為な人材の育成」を教育目標に掲げ、知識・技術とともに「明るく、浄く、直く」の看護・福祉の心を育てている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 個別指導の充実(看護師・介護福祉士国家試験全員合格達成)</li> <li>* ボランティア活動の推奨(平成20年度161名が5,031時間実施)</li> <li>* 病院・施設実習を通した「心」の育成(実習生徒の96%がマナー良好と評価される)</li> <li>* 看護師・介護福祉士として就職(進学生を除く卒業・修了生全員が施設・病院に就職)</li> </ul> <p>④ 地域の医療・福祉を支える人材の重要性啓発のため小中学校への福祉・看護の出前授業、地域イベントでの衛生看護科生徒による健康チェックの実施、施設・病院関係者との交流、県内公立病院での「看護・福祉への道」説明会の実施に取り組んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 小・中学校への出前講座実施(小学校26回、中学校9回)</li> <li>* 地域イベントでの健康チェックの実施(地区マラソン大会、JAまつり等21回)</li> <li>* 施設・病院関係者との交流会(講演会・学習会等16回)</li> <li>* 「看護・福祉への道」説明会(県内公立病院を会場に延べ21回実施)</li> </ul> <p>⑤ ①④の取り組みについて、平成21年度も学校経営計画書及び自己評価計画書に数値目標とともに盛り込み活動の検証を行っている。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
福井県	勝山市立村岡小学校	校訓 誠実 自琢  教育目標 よく遊び、よく学ぶ、心 やさしい児童の育成	①③⑤	伝統校でありながら、時代の変化に対応し、地域の実態にも配慮した学校経営を行っていて、2年前に児童にもわかりやすい教育目標に改めた。合宿通学の社会体験、自然教室の自然体験等校訓等を具現化する体験活動の設定に意を注いでいる。	・校訓等をもとに、目指す児童像や経営方針を設定 ・4つの行動目標と5つの合言葉で具体的実践に取り組んでいる。平成19～20年度は道徳教育(命を大切にす教育)の実践研究校として、文部科学省の指定を受け、校訓等を生かし、体験活動、教科学習等と連動した総合単元構想を中心に取り組みを進めてきた。
福井県	永平寺町上志比中学校	期待する生徒像:礼の心を発揮して「挑戦そして前進」	①③⑥	生徒数111名の小規模校である。「礼の心」の実践を25年の長きにわたって教育活動の礎としている。学校の状況は、非常に落ち着いており地域の教育熱も高い。校長のリーダーシップのもと、生徒には『通いがいいのある学校』、教職員には『働きがいのある学校』と高い理想を掲げて教育を行い、誇りある学校づくりに努めている。また、保護者や地域の方には『信頼でき協力しがいのある学校』となるように全力を挙げて取り組んでいる学校である。	月毎に全教師が、学校生活全般にわたる生徒指導のチーフを交代で務める。根底に流れるのは「礼の心」である。月初めの丹精(全校集会)で、チーフの思いをこめた指針を語る。生徒は、登下校時に校門で礼をしながら自分の心と向き合い、1日の目当てを持ち振り返りをする。また、静かで落ち着いた学校づくりの推進のためにノーチャイムを実践している。清掃は無言清掃を行い、終わりの方で「気づきの清掃」と呼ぶ主体的に働く時間を設けている。給食でも、前後に感謝の言葉を唱えるだけでなく、食べている間は無言を通し、静かな雰囲気の中で感謝して給食をいただくなど、あらゆる場面で、「礼の心」を育てる特色ある教育活動を展開している。
福井県	福井県立武生東高等学校	スクールモットー HINOISM (Healthy, Intelligent and Noble like Mt. HINO) 日野山のごとく心身すこやかに、知性高く、人格高潔であれ	①③	1987年の開校以来、HINOISM(ヒノイズム)をスクールモットーに掲げ、教育活動に取り組んできている。	・5月に、遠足の一環としてスクールモットーに掲げる地元の日野山登山を実施。 ・開校時から、学校独自のHINOダイアリー(日々の生活記録帳)を作成し、生徒自身の生活管理や担任とのコミュニケーションなどに活用している。 ・開校時、大学・アメリカンスクール訪問やクラスを解いた希望別体験コースなどを取り入れた修学旅行を実施。現在は国際理解・国際感覚養成を目的に韓国への研修を実施している。 ・国際理解セミナー、国際理解講演会を実施。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
福井県	福井県立福井農林高等学校	校訓 「大地(たいち)に生きる」 「自然に親しみ、大地を踏みしめ、誠実に生きる」	③④	校訓「大地(たいち)に生きる」に基づき、農業教育全般を通じて、PTAや地域の協力・参加を求め、家庭・地域と一体となった取組を行っている。	<p>1 地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習圃場の一部(ふれあい農園)を、親子等で農業体験を希望する家族に貸し出し、農作業を通じて生徒と地域住民とのふれあいを図っている。</li> <li>・学校圃場で生産された農産物等を中心に校内販売施設(ふれあいマーケット)で販売し、農業への理解と食に対する啓発活動を行っている。</li> <li>・実習圃場にハーブを中心とした見本園(ふれあいハーブ園)を作成し、農業理解と市民の憩いの場に提供している。</li> <li>・「目指せスペシャリスト」の指定を受けた3年間で、学校のある新保地区に伝わる「新保ナス」を約40年ぶりに復活させ、地区の壮年会と連携して栽培に取組んでいる。また、近くの小学校で、生徒が指導者となり児童に栽培方法を指導し、収穫物の調理も行っている。この事業を通じて「うららのドレッシング」を開発し、学校給食に提供している。</li> <li>・農業文化祭では、PTAが主催する「そば打ち」を実施し、食を通じた農業の理解を図っている。展示コーナーには「ふれあい農園展」「特別支援学校の展示」を設けて、外部の参加を図っている。</li> <li>・インターンシップは、卒業生の農業自営者の会である「耕志会」と連携して実施している。</li> </ul> <p>2 国際交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インドネシア共和国西部ジャワ州タンジュンサリ農業高校と姉妹校提携を行い、農業を通じた交流を図っている。</li> <li>・(社)福井県国際農業者交流協会が実施するインドネシア共和国からの農業研修生を1週間受入れ、農業研修を実施するとともに生徒との交流を図っている。</li> </ul>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
山梨県	中央市立田富南小学校	継続は かなり（積み重ね つみ重ねてもまた つみかさね）	①③④	<p>「継続はかなり」という校訓を学校経営の中核に据え、年度の重点目標の筆頭に「何事も投げ出さず、辛抱強く考え、自ら学び創造する意欲をもつ『みなみっこ』づくり」を掲げて、子どもだけでなく保護者も含めた様々な独創的な活動を取り入れ、特色ある学校づくりを進めている。校区は伝統的な農業地域に新興住宅街を抱え、外国籍児童が15%をしめるなど、様々な立場の方々の混住する地域にある。その中で保護者や地域に開いた学校経営を進め、地域文化のコミュニティー的な存在となっている。</p>	<p>①子どもたちに本物と出合わせ、その人の苦労や努力から生き方を学び、その成果として築き上げた素晴らしい芸術文化に触れる中で、生きる力や人間性を高め、豊かな情操を育てるための取組</p> <p>②学校教育目標に関わって個人目標の設定(最低学期1回は目標の振り返りを図る。学級・学年の実態により1ヶ月に1回振り返るのも良い。達成できたらさらに目標のレベルアップを図る。)</p> <p>③縦割り活動の継続と重視(オリエンテーリング大会(創立以来20年)、1年生を迎える会、6年生を送る会、運動会、縦割り給食、縦割り体力づくり、縦割り清掃)</p> <p>④さわやかタイムの取組(朝の20分間ドリル学習、読書の日、体力づくりの日、歌の広場みなみ)</p> <p>⑤地域人材・外部人材の活用(昔の遊び(祖父母)、菊づくり、はんこの制作、米づくりと餅つき)</p> <p>⑥多様な校外学習計画(5・6年による臨海自然教室(7月下旬 静岡県相良・焼津方面 3泊4日))</p> <p>⑦サマースクールの取組(教師の得意分野を生かした講座の開催、休みの宿題お助けマン、カルタ大会、お菓子なカードづくり、おいしい理科、音が苦じゃない鑑賞教室、親子でクッキングと草木染め、ティーペアーを作ろう)</p> <p>⑧放課後スクール(留守家庭の子どもを対象とし、内容は宿題、読書等で約1時間)</p> <p>⑨国際理解集会、外国料理を学ぶ会(集会を通していろいろな国(本校在籍の外国籍の子の出身国を中心に)の言葉を学ぶ。本校各教育施設入り口への外国語の表示(挨拶・施設の名前等))</p> <p>⑩食育の充実(毎日の給食の放送を通して、その日の食材の紹介と栄養素についての話、食文化や伝統食の話など、食生活をより豊かなものにしていく取組)</p> <p>⑪交通安全・不審者対策(定期的な交通指導員による自転車教室、登校班指導、登校班の充実、パトロールの継続指導、校区マップ・個人マップの作成)</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
山梨県	身延町立中富中学校	校是「協働創造」	③④⑤	<p>中富中学校は創立38周年を迎えるが、創立以来『わかる授業 いきいきとした生活の創造』を主テーマとして、連続と自主公開研究発表会を継続し、多くの方々の参観をいただき指導を仰いでいる。又、校是「協働創造」のもと学校周辺の豊かな自然環境を生かし環境教育の充実を図るとともに、生徒・保護者・教師が「親子協働作業」を実施している。また、学習シラバスを活用した教科の指導や少人数指導を実施し、生徒指導の一環として「合唱活動」にも力を注いでいる。</p>	<p>前年度、5月24日(土)に「親子協働作業」を実施。保護者80名、生徒96名が敷地内の除草作業に汗を流した。9月6日(土)、7日(日)と「しろやま祭」を開催。その中の実行委員会による「ふれあい活動」の中で、「あなたの知らない中富中の歴史」という講座を開き、講師「望月喜彦氏」より「教育目標」などのお話を聞いた。10月28日(火)「しろやま音楽祭」を身延町総合文化会館大ホールで実施。PTA合唱を多数の保護者の参加を得て披露した。11月5日(水)には、「第37回自主公開研究発表会」を実施。一般参加者、保護者を含め110名を超える方々が参観した。その折り、合唱「ハレルヤ」「航海」を披露した。</p>
山梨県	山梨市立山梨南中学校	日新「日に新たに」 学校教育目標「日々に新たな心で真理を求め、自ら考え、正しく判断し、進んで行動する生徒の育成」	①③	<p>学校経営をはじめ、学年・学級経営等において、日常的に校訓を意識した教育活動が行われている。</p>	<p>校訓は学校教育の最も基本となる理念であるため、本校の校訓『日新:「日に」新たに』は、すべての教育活動において意識することが大切である。その意味において、入学式の式辞の中で、校訓を紹介し、これからの中学校生活を送る上で、日々向上する気持ちをもち続けることの大切さを話したり、学校だよりの中でも校訓に触れたりして、日々の生活で新たな自分を発見できるように頑張ることを説いた。また、各学年経営、学級経営においても、校訓を意識した経営を心がけている。その成果であると考えますが、生徒会活動においても今年度の生徒会活動目標の至る所に、「日々新たな気持ちで頑張ろう」という生徒の気持ちが盛り込まれた内容になっている。このように、1年間を通して学校経営、学年経営、学級経営等において、校訓を意識した指導を心がけていきたい。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
山梨県	山梨県立吉田高等学校	<p>・校訓 = 「純剛」「百折不撓」 この校訓のもと、校風「質の高い文武両道」の実践をとおして、未来に向かって力強く前進する、知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成を目指す。</p> <p>・本年度の重点化教育目標 次の4つを兼ね備えた、人間として調和のとれた高校生の育成を図る。 (1)知識・技能、学ぶ意欲や思考力、判断力、表現力などの確かな学力 (2)自らを律し、他人と協調し他人を思いやる心や、感動する心などの豊かな人間性 (3)たくましく生きるための健康と体力 (4)郷土や日本、世界の自然や人間を慈しみ、社会発展に貢献する気持ちや態度</p>	①③⑤	<p>①について 校訓「純剛」「百折不撓」のもと、知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成のため、「質の高い文武両道」の実践をしていること。</p> <p>③について 重点化教育目標の1つである、「郷土や日本、世界の自然や人間を慈しみ、社会発展に貢献する気持ちや態度を育成する」取り組みとして、学校設定教科「富士山学」を開講し学習していること。</p> <p>⑤について 重点化教育目標達成に向けた行動計画の1つである、「新校舎の利用に際し、環境保全・美化に努めるとともに、地球温暖化防止等の対策」に、具体的に数値目標を掲げ、全校体制で取り組んでいること。</p>	<p>①について:本年度から45分7校時制を導入し、その利点を生かして、学習と部活動の活動時間を明確にし、家庭学習時間の確保と、部活動の時間の確保を行い、生徒一人ひとりが「文」と「武」の両立を体現できる環境作りに取り組んでいる。また、校訓「百折不撓」の体現として、富士登山強歩大会(富士山五合目までの往復)を毎年秋に実施している。</p> <p>③について:学校設定科目として、3年生の選択授業の中で「富士山学」に取り組んできたが、本年度からさらにこれを発展させ、総合的な学習の一貫として2年生全員が学習できるようにした。地域の、また、日本のシンボルである富士山を、人文領域・自然領域・社会領域など様々な角度から学ぶことをとおして、本校生徒の目指す姿、「多面的に富士山について学び、主体的に課題を見つけ、様々な方法で理解できる」こと、及び「富士山の自然と文化を慈しみ、それを次代に伝え、残そうとする」ことの実現をはかる。</p> <p>⑤について:地球温暖化防止対策の一環として、学校での「電気」・「ガス」・「灯油」・「水道」等、CO2を排出する全ての項目で、使用量前年度比6%削減を目標として取り組み、平成20年度は、前年度比10%削減を達成できた。また、平成20年度から、可燃ゴミの計量を行い、CO2排出量として把握し、減量化に努めることにしている。さらに、本県で取り組んでいる、「いきいきスクール一校一目標運動」として、本校では、行動目標を「環境に優しい3Rを進めよう! ~ Reduce・Reuse・Recycle」とし、取り組むこととしている。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
長野県	長野県長野市立川中島小学校	学校目標 日新 → 「日々新たに生きる子どもと教師」	①	明治2年6月5日、日本における近代学校の先駆として地域の人々の力によって川中島の地に【日新館】が創設された。中国の古典『大学』の「湯之盤銘日、苟日新、日日新、又日新」(日々に旧染の汚れを洗い、自ら新たに作る)に由来する「日新」の心を、今日も新しい課題として自らに問い、教育の不易なものとして本校の学校教育の精神の基盤に据えている。「日新」の心を踏まえ、地域を大事にし、常に新しい時代の創設者としての児童の育成に努めている。	○「根を養えば樹は育つ 元を立てて道生ず」を学校像として、各教室には学校教育目標として「川小の心『日新』」掲示している。その具体的な児童像として「くやさしくかしく たくましく」も共に掲示し、児童や職員の心にとまり、常に見返せるようにしている。 ○本校の教育課程を「日新教育」と称し、全学年の生活科の学習や総合的な学習の時間に「ふるさと学習(日新)」を位置づけている。地域素材を取り上げ、ふるさとの人・もの・ことに学び、地域の方々との関係作りを大事にして、ふるさと川中島に愛着を持つ児童の育成に教育の重点をおいている。
長野県	長野市立柳町中学校	・校訓「唯一心」(ただいっしん)	①⑥	・昭和5年以来の校訓であり、「柳町中学校の心」とも考えられている。 ・「ものと一心」「時と一心」「自分と一心」、教師にとっては「生徒・保護者・地域の人と一心」「同僚と一心」となることをめざす。 ・長野市教育大綱の理念「敬愛の心」(「畏敬」の「敬」と「惜愛」の「愛」を結びつけたもの)につながる。「生命を尊び、友の内面の人間性に畏れを抱く生徒」は「畏敬」につながり、「ものと一心＝ものを惜しむ心」「時と一心＝時を惜しむ心」「自分と一心＝生命を惜しむ心」は「惜愛」につながっている。	・「挨拶」「掃除」「歌声」を3本柱として、「唯一心」になって全校生徒と教師が同行で取り組んでいる。挨拶で心を、掃除で形を、歌声で和をつくることを考えている。 ・「進んで心のもった清々しい挨拶ができること」「無言で掃除がゆきとどいた学校をつくること」「美しい響き合う学校をつくること」を目指す中で、柳町中学生であることに誇りを抱いて、豊かな人間性を身につけていく生徒を育てようとしている。 ・生徒会委員会等の生徒自身の活動を通して、自己評価や点検活動等を活用しながら、「唯一心」になって取り組む良さを自覚させ、自己の高まりを実感させる。 ・保護者・地域や他校の方々にアピールし、良さを評価していただき、自信と喜びをもたせ、自身に誇りを抱かせる。特に、地域とかかわる校庭大運動会、スプリングコンサート、十四歳立春式、PTAバザー、カルチャースクール等を大切に、「唯一心」実践の場とする。



都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
長野県	長野県諏訪清陵高等学校	自反而縮雖千萬人吾往矣。(孟子「公孫丑」より) (みずからかえりみてな おくんば、せんまんにん といえどもわれゆか む。)	①③	明治28年の学校創設以来、質実剛健と自主独立を校風の基調としているが、この校風を端的に表現する言葉として「自反而縮雖千萬人吾往矣。」が教職員や生徒の間で長く語り継がれて来ている。この精神は、生徒個々の思考と行動の骨格を形成し、校是として学習や自治活動の様々な場面で表現されている。	○「自反会」の活動 PTA、同窓会の支援によって「自反会」を組織し、サイエンスフォーラム(SSH関連事業)、土曜講座(講演会・補講)、「自反室」(学習室)の運営、教員研修の奨励などの諸事業を実施している。 ○学友会(生徒会)の活動 多彩な学友会行事(文化祭、クラスマッチなど一般的な行事の他、96回を数え高齢のOBも参加する諏訪湖周マラソン、端艇大会、出身中学校別の自治組織である「地方会」など)を生徒自ら企画、運営する。
岐阜県	高山市立北小学校	(学校の教育目標) 心 ゆたかに たくましく生き る子 ー創造・自主・共 生 ー	①	学校の教育目標の具現に向け、「創造性＝よく考える頭」「自主性＝進んで働く手足」「共生性＝人もものも大切に する心」の3本の柱立てに基づき、校内 主題研をはじめ学校経営全体で目ざ す児童の姿と具現の場を具体化して取 り組み、日常の児童の姿にその成果が 見られる。	・「よく考える頭」では自己学習力の育成を目指している。重点実践事項を「集中と反応・活発な意見交流」としている。具体的には教科の学び方の習得、基礎・基本の定着、学習相談日の充実に取り組んでいる。 ・「進んで働く手足」では、自己生活力の育成を目指している。重点実践事項を「精一杯の掃除」としている。具体的には、核となる行事と学級経営の一体化、係活動等の充実、清掃指導4つの目標の定着等に取り組んでいる。 ・「人もものも大切に する心」では豊かな心の育成を目指している。重点実践事項を「明るいあいさつ」としている。具体的には道徳の指導の充実、豊かな体験活動の展開、国際理解教育の充実、郷土を愛する活動の充実に取り組んでいる。 ・校内研究では「子どもが夢中になって学ぶ授業」を主題とし、特に教科指導の中で学校の教育目標に基づいて「課題意識をもって学習する子(創造性)」「よりよく課題解決する子(自主性)」「仲間と追究を深める子(共生性)」を共通の視点として追究している。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
岐阜県	岐阜市立岐阜西中学校	<p>(学校の教育目標) 志をもって生き抜く生徒 (学校のスローガン) 形より入り心に至る校風づくり</p> <p>「形」をつくる～「常」を生かす～「心」をつくる</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶や礼節が人の心を和ませる</li> <li>・整った環境は気持ちよく学習できる</li> <li>・心和む温かさで文化を創る(温言活動)</li> </ul>	①②③④	<p>本校は平成17年度以前、生徒指導困難校として、校内での器物破損や服装違反、授業妨害等、さらに校外では反社会的な問題行動が頻発する状況であった。平成18年度から現校長を迎えて、上述の校訓等を掲げ、まず教職員がこの校訓や再生プランのもと一致団結して取り組み、平成19年度からはこの校訓や再生プランと一体化した生徒会活動やPTA活動が展開されるようになり、教師と生徒、保護者がまさに一丸となった「校風づくり」に取り組んでいった。さらに、平成20年度はこの校訓や再生プランを地域や校区の小学校にも発信し、地域ぐるみの「校風づくり」へと発展させていった。平成21年度はこの流れをさらに発展させるとともに、「不登校、不適応生徒の親の会」を立ち上げ、親への支援や学校との連携の在り方等について考える場を設定し、家庭の教育力向上へも積極的に働きかけようと考えている。</p> <p>このように、学校長のリーダーシップのもと、明確な学校経営の方針に基づき、教師と生徒、保護者及び地域が一体となって取り組んだ学校再生やよりよい「校風づくり」のプロセスは生徒指導等で悩んでいる多くの中学校の参考になるものであると考える。</p>	<p>平成20年度の取り組みの概要から</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒会が中心に進める「校風づくり」</li> <li>・生徒の手による「形から心」運動</li> <li>・生徒の手によるいじめ問題解決</li> <li>・生徒の手による「常」の取り組み</li> <li>・生徒の手によるボランティア活動</li> <li>○子どものために一緒に取り組むPTA活動</li> <li>「親としての責任を認識し、家庭並びに学校と地域の連携を深めるためのPTA活動」</li> <li>～子どものために一緒にやりましょう～</li> <li>・あいさつ隊活動</li> <li>・見守り隊活動(授業・給食・掃除等の時間帯)</li> <li>・温言活動(温かい言葉がけ運動)</li> <li>○教師の指導の重点</li> <li>・個の存在を高める「承認」の工夫</li> <li>・伸びと向上を実感する教科指導</li> <li>・所属感、有用感を味わわせる集団づくり等</li> </ul>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
岐阜県	笠松町立笠松中学校	(学校の教育目標)「愛と知恵と勇気」～自己を切り拓く～ (学校のスローガン)志をもち困難なことにも知恵を出し勇気をもって立ち向かう笠松中 (キーワード)・規律・感動・夢のある学校	①②③	<p>本校は平成18年度頃から校内での器物損壊や服装違反等、学校としての環境悪化が問題となり、平成19年度から上述の校訓等を掲げ、まず教職員がこの校訓の具現と学校としての環境整備に一致団結して取り組んできた。徐々に改善されてはきたが、平成20年度当初、「自分たちの学校は自分たちの力で改善したい。」そして、「規律と感動と夢のある学校を自分たちの力で創りたい」との生徒会執行部の強い願いのもと、まず生徒会執行部が学校の諸問題の解決に向けて率先して立ち上がり、その上で全校生徒に対し解決のためのボランティアを募り、さらに、よりよい学校の在り方を考える話し合いの場を積極的に設定し学校改善の生徒会宣言を行うなどの取り組みを通して、様々な問題を解決し乗り越えていった。そんな中、年度当初問題行動を起こしがちであった要援助生徒たちが、校内で最も汚れていた屋外トイレを自ら進んで清掃し卒業していくといった素晴らしい姿も生まれてきた。まさに全校生徒の自治の力で、この校訓にある「規律と感動」を生み出し、すべての生徒に「夢」を与えていく教育が展開されていったと考える。この生徒会を中心にした取り組みのプロセスは、生徒の自治を大切にしながら生徒一人一人の生き方にまで迫る実践として、他の中学校に参考になるものであると考え</p>	<p>平成20年度の取り組みの概要 指導の重点「やり直し」「やり切り」「仲間とのかかわり」の指導の徹底 ○夢のある活動の推進:質の高い文化(本物)に触れる機会(授業・合唱コンクール・部活動等) ○自分たちができる貢献活動(地域や国際社会に貢献できる活動) ・発展途上国の子ども達への支援やワクチンの寄贈、カンボジアの地雷除去を目的としたボランティア活動(書き損じハガキ収集・募金活動・ペットボトルキャップ回収活動・地域の発展に貢献できる提言等) ○自分たちの学校は自分たちで守る、「人のために役立つ」活動を生み出す生徒会 ・器物損壊、落書き等から学校を守ろう、さらに美しさを自分たちのふるさとまで広めよう ①生徒会執行部自らが修繕、撲滅活動を ②全校みんなでの修繕ボランティア、撲滅運動へ ③校内の美化から地域の美化へ(街を花で飾ろう運動)</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
岐阜県	岐阜県立関高等学校	進取 至誠 練磨	③	「進取 至誠 練磨」の校訓のもと、知・徳・体の調和のとれた、21世紀に活躍できる人材の育成を目指している。学業と生徒会活動や部活動などとの両立を目指した活動により、リーダーに相応しい学力の定着が進み、心豊かな人間性が育まれつつある。生徒の自主性を尊重しながら、時代を先取りする精神が育っている。	関高では昨年度まで携帯電話の校内への持ち込みは禁止だったが、卒業生の「意見書」や生徒会の要望により、「携帯電話の校内への持ち込みに関する検討委員会」が開かれることになった。生徒会役員・PTA役員・教員代表による様々な議論が行われた結果、生徒による「自由と規律」は尊重され、マナーの良い立派な社会人に育つためにも、携帯電話の校内への持ち込みと利用が認められることになった。 生徒会では携帯電話利用マナーを徹底させるため、リーフレットを自主制作し、利用上のルールやマナーの順守を全校生徒に訴えかけている。
岐阜県	岐阜県立恵那農業高等学校	「和」の精神を尊ぶ～地域から愛され、信頼される学校を目指して～ 教育スローガン 「花とほほえみと真心のある学校」	①	・「花とほほえみと真心のある学校」づくりを教育スローガンに打ちだし、地域と共に成長する農業高校を目指して、様々な教育活動を実践している。	○花づくり日本一 ・世界らん展に17回出展。(日本大賞2009出展作品「やすらぎ」奨励賞受賞) ・「ラン」ではオリジナル品種の開発 ・恵那駅前「フラワーロード」の整備。(地域住民の方にオーナー制度を導入し、花の植え付け指導の後の手入れをお願いしている)  ○環境を守る学習日本一 ・「ゴミの山から宝の山へ」をスローガンに、地元の菓子製造店から処分される産業廃棄物「栗カラ」の堆肥化に成功、地域で堆肥として活用されている。 ・地域住民の方々と阿木川ダム湖の「空芯菜」による水質浄化を実施、併せて「空芯菜」の販売事業も実施している。(H19、20カンボジアで研修及び空芯菜の栽培指導の援助を実施)等々

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
静岡県	磐田市立磐田西小学校	校訓「・学ぶ子 ・強い子・働く子 ・あたたかい心の子」 学校教育目標「一心に学び 高め合う子」 →重点目標「みんなも自分も大切にします」「みんなと進んで学び合います」「みんなと力を合わせて運動します」	①③	学校教育目標実現のため、重点目標を知・徳・体の3観点で設定し、目指す子どもの姿を具体的に明示している。また、理科教育推進校としての伝統があり、域内の高等学校の教師や大学の講師を定期的に招き授業研究を推進している。このことを重点目標とつなげて「五感を働かせて学ぶ理科学習」を学校自慢の1つに位置づけ、子どもが一心に学ぶ授業づくりに尽力しているため。	重点目標である知・徳・体の観点から、「五感を働かせて学ぶ理科学習」「思いやりの心を育むひまわり活動」「一心に取り組む縄跳び」を学校自慢の活動として教育活動の中核に位置づけ取り組んでいる。校内研修では、子どもの興味・関心を高めるための教材づくり、科学的なものの見方・考え方を培うための授業構想、より自然を感じ、親しむための環境整備に日々励んでいる。また、委員会活動では、「おもいやり委員会」「ひまわり委員会」「スポーツ委員会」などを設け、子どもたちが主体となって縦割り活動に取り組み、互いにかかわりを深めるとともに、思いやりの心を育てている。
静岡県	藤枝市立青島中学校	校訓『自主・明朗・友情』 学校教育目標「自分で考え 正しく判断し 共に高め合う生徒の育成」 平成21年度重点目標「挑戦する意欲と思いやりの心」	①④	地域、学校、生徒の実態と学校の理念から本年度の重点目標が定められ、その思いが教育活動に反映されている。特に、歌声活動は伝統であり、学級合唱はもとより、選抜合唱にも力を入れて取り組み、各種コンクールでも優秀な成績を収めている。また、学校の求める学校像や生徒像等は、学校説明会や文書等で明確に周知されているため。	学校の重点目標を具現化するためにその理念が教育活動に反映されている。特に、伝統活動である「歌おう集会」を柱に、生徒会活動等で生徒の自主性や協調・共存の精神の育成に尽力している。また、生徒学校説明会及び保護者向け学校説明会(土曜日に実施)を開催し、学校の思いを伝えるとともに、生徒、保護者、地域、学校が連携して学校を創り上げるためにそれぞれの立場で取り組むべきことを明確に示している。学校説明会や各種行事には、多くの保護者や地域の方々が出席している。
静岡県	静岡県立袋井商業高等学校	校訓「責任」「秩序」「礼儀」	③④	「責任を明らかにする。秩序を正しくする。礼儀を重んずる。」という校訓を基本として、社会において商業分野での有為な人間形成を教育目標に定め、その実現のために「袋商ショップ」を全教育活動のハブに位置付けて実施している。	生徒を代表取締役社長として本部役員を組織し、各クラスが日常生活用品、農産物、食品等の販売を12月の2日間行う。生徒全員が社員として働き、企画、広報、仕入れ、会計処理等の一連の商店経営をほぼ1年を通じて行う。「おもてなしの心」を社訓に、礼儀を尽くして販売を行い、来客から高い評価を得ている。地元の52の協力業者から商品を仕入れるとともに、地元商工会議所をはじめとする諸団体、企業、地元住民、同窓会等の協力を得て、将来の地元産業を担う人材の育成に取り組んでいる。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
愛知県	愛知県刈谷市立刈谷東中学校	「プリキュー精神」 ※「プリキュー精神」とは、「プリーズ」(どうぞ)「サンキュー」(ありがとう)「イクスキューズミー」(すいません)の合成語であり、親切・感謝・思いやりなどを意味し、他人に迷惑をかけないように行動することを表したものである。	①②④	・昭和22年開校当初、校訓は「責任、勤労、健康、礼譲」であった。昭和39年、当時の校長が海外視察から帰国後、英国では「プリーズ、サンキュー、イクスキューズミー」の三語で世の中がうまくまわっているという話をした。その話を聞いた当時の生徒が「プリーズ、サンキュー、イクスキューズミー」の造語である「プリキュー」という言葉を作った。その後、昭和43年になり、「プリキュー精神」が正式に校訓に制定された。	①教育目標の三つの柱として、「自主学习」(知)「プリキュー精神」(徳)「体力づくり」(体)を掲げている。そして、各種学年、学校行事の目標として「プリキュー精神」を発揮することをうたっている。具体的な例として、2年生で実施している「富士山登山」がある。苦しくなった友達の荷物を持ってあげたり、励ましたり、それに対してお礼を言ったりするなどお互いを思いやりながら、9割以上の生徒が頂上までたどり着くことができている。まさに「プリキュー精神」発揮の場となっている。 ②「校訓制定記念集会」…毎年5月に生徒会が主催して、「プリキュー精神」のもつ意味を全校で確認している。講師として、当時の生徒会長の方や、校長先生に来ていただき、お話を伺ったりすることで、校訓「プリキュー精神」に対する誇りをもつことができている。 ④生徒会主催の「プリカン」…毎月1～2回(土日)、生徒会が主催して行う、地域の環境美化活動のことである。「プリキュー精神で環(カン)境美化」が短縮されて、「プリカン」という言葉が生まれた。毎回全校生徒の約半数が自主的に参加している。また、秋には地域と一緒に「合同プリカン」を行ったり、地区行事のボランティアに参加したりするなど、地域との連携も深めている。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
愛知県	愛知県稲沢市立国分小学校	<p>◎教育目標 心豊かな、ねばり強い 国分っ子を育成する。</p> <p>○校訓 つよくーたくましい子 やさしくー心豊かな子 ひとすじにー学習には げむ子</p>	④	<p>本校は、校区の大半を農地が占める田園地帯にありながら、新しい住宅団地の建設により、海外を含め他地区から転居された家庭が多くなり、在校生の半数以上が団地での生活者になっている。そのため、地域の文化や習慣に十分馴染めず、郷土愛や愛校心もやや希薄になりがちな児童や家庭が多いのが現状である。これらの児童や家庭に学校や地域に愛着をもたせ、古くからの住民との交流をすすめるために、学校が進んで地域に働きかけ、連携を図っている。「地域の子どもは、地域で育てる」を合い言葉に、地域参加型の教育活動に取り組み、教育目標(校訓)の具現化に取り組んでいる。</p>	<p>○全職員が一丸となって、学校経営に取り組むために 全職員が話し合い、1年間の重点的な取り組みをスローガンとして決定し、職員室廊下及び職員室前面に掲示している。また、そのスローガンに合わせて、各職員の写真も掲示し、全職員が一丸となって教育活動に取り組む意欲を高める手立てとしている。</p> <p>1「つよくーたくましい子を育成」するために</p> <p>① 特別クラブ活動 4年生以上の希望者に、5月からサッカー、バスケット、特別水泳(夏季のみ)合唱、バトンを行っている。クラブは授業終了後に、全職員がそれぞれ分担し、指導にあたっている。自分の得意なスポーツや特技を少しでものばし、体力づくりや、継続して活動に取り組むことにより身体と心を鍛えることを目的として実施している。また、夏季には、水泳の得意な児童のための特別水泳クラブと水泳の不得意な児童のために、初心者水泳教室も行っている。</p> <p>2「やさしくー心豊かな子」を育成するために</p> <p>① 農業体験学習【4年児童:田植え、稲刈りの体験活動】 4年生の全児童が通学路に面した田を借り、田植え、稲刈りの実習体験を行っている。学校の教育活動に理解が深い元PTA役員の方の田を借用し、地元在住のJC有志の方々からは企画・準備等の協力を、農作業の際には、地元の老人会の方々、お手伝いはPTAの有志と、多方面からの協力を得て実施した。また、品種の違う稲を植えることによって、収穫期には「稲沢市のキャラクター」が浮かび上がるようにした。更に、稲は有機農法で育て、収穫後に児童が家庭に持ち帰っている。児童は通学路に、キャラクターの絵が徐々に浮きかがるの見守りながら登下校し、通行する人々もキャラクターの絵に興味津々であった。</p> <p>② 児童会の取り組むボランティア活動 児童会役員が、様々な児童ボランティアを募集し、年間20回程度実践している。主なものは、資源回収ボランティア(年3回土曜日にPTAが中心になって行う資源回収のお手伝い)、読み聞かせ(低学年を中心とした他クラスで、紙芝居や絵本等を読み聞かせる)姿勢ペンダントづくり(良い姿勢を呼びかけるペンダントづくり)等多種にわたっている。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
					<p>③ 特別養護老人ホームとの交流 5年生の児童が、校区内にある特養老人ホームを訪問し、施設の老人たちと交流会を行っている。ミニゲームや会話等を通して老人たちとのふれ合いを図っている。また、小学校の運動会や公開日等には、特養ホームの老人を招待し、交流を深めている。</p> <p>3 「ひとすじにー学習にはげむ子」を育成するために</p> <p>① 朝読書の取り組み 朝の始業前(10分間)を児童の自由読書の時間とし、校長以下全教師が、それぞれクラスを順に回って、読み聞かせをする時間もある。また、月1回程度、外部のボランティアの読み聞かせや紙芝居なども行っている。この読み聞かせ用の本は、PTAや後援会からの寄贈で行っている。</p> <p>②読み書き教室 朝読の時間の内、週1回は読み書き教室(基本的な漢字の習熟練習)を行っている。</p>
愛知県	愛知県立足助高等学校	<p>校訓は「自主自律」「責任遂行」「明朗闊達」である。このことのため、生徒は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学 ぶ＝学ぶことの厳しさに耐え、学力の向上に努めている。</li> <li>・鍛えよ＝教科以外の教育活動・部活動に積極的に参加し、気力や体力の向上に努めている。</li> <li>・尽くせ＝礼節を重んじ、心を豊かにし、思いやりのある心を持ち、社会に貢献できる人間となるよう努めている。</li> </ul>	③	<p>山間地域の普通科高校として、地域の文化・レクリエーション施設や観光名所の美化・清掃活動を行うなど、継続的に地域と一体となった取組に努めている。昨年度から新たなプロジェクトを立ち上げ、歴史、伝統を継承し、観光客にアピールするために地元の観光協会、商工会、自治会等と協力して観光案内板の設置に取り組むことを通して、生徒たちに地域への誇りや自分たちの手で地域を活性化させようという気持ちが育っている。</p>	<p>豊田市足助町は、全国でも有名な紅葉の名所である香嵐渓を中心として、春のカタクリなど自然豊かであり、町全体に風情があり日本の美しさを醸し出している。県立足助高校は、以前から生徒が観光地香嵐渓の清掃活動や環境保全を行っており、さらに観光シーズンには、出店や観光案内の手伝いをするなど、地域の活性化に貢献してきた。また、地元の特別養護老人ホームでは、毎年ボランティア活動として施設の清掃、除草などを実施している。</p> <p>昨年度は、従来の活動に加え、1年生及び生徒会を中心に、「知ろまい足助『わが街、あすけを掘り起こそう』」というプロジェクトを立ち上げた。今年度は、足助交流館主催の「あすけウォーク」で本年度作成した「足助・綾渡ウォーキングマップ」を配付し、生徒が案内役をつとめ、地域のレクリエーション事業の振興に貢献する。また継続的に観光案内板の保守点検をするとともに、生徒の中から観光案内ボランティアを養成する取組を行う予定である。</p>



都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
三重県	津市立栗葉小学校	「じぶんで なかまと ふるさとから 夢豊かに学ぶ 栗葉っ子」	①④⑤	当該校は、学校教育目標と学校経営の柱を明確に関連づけ、「めざす学校像」を子どもたちはもちろん、保護者や地域住民への周知を図り、保護者や地域住民も共通理解のもと地域力を活用した学校づくりを推進している。また、学校評価と関連づけた取組を進めており、学校改善がさまざまな分野で推進されてきた。	・学校教育目標と学校経営方針との関連性を視覚的にわかりやすくイメージ化し、重点的に取り組んでいけるように、「学校経営グラウンドデザイン」とともに、学校教育目標にあるキーワードを盛り込んだ愛唱歌を作成し、周知を図っている。
滋賀県	高島市立青柳小学校	校訓「良知に生きる」 基本理念「地域に根ざした特色ある教育の展開」	①③④	郷土の先哲「中江藤樹先生」の学徳と求道の精神を根幹とし、自らを律しつつ、他人とともに協調し、思いやる心や感動する心などの豊かな人間性を培うため、地域ぐるみで子どもを育てる教育を推進している。	中江藤樹先生の教え「愛敬・知行合一・明德」を基調に、「仲よく・やりぬく・たくましく」という視点から6年間でめざす子ども像を明確にしている。「学校・地域・保護者の三位一体が協働する学校」をめざして特色ある学校教育の推進に努めている。具体的な取り組みの例は以下のとおりである。 ○藤樹先生の教えについて、各教科等や道徳の授業の中で、話し合い、学ぶ機会をもつ。 ○地域の「歴史文化ゾーン」への見学調査の実施。 ○地域、家庭との連携を深めるための学校だより等の広報活動。
滋賀県	高月町立富永小学校	学校教育目標「ともに学び合い・支え合い・高め合う富永っ子の育成」 (郷土の先覚者「雨森芳洲」の自主・創造・友好の精神を基調にして)	①③④⑥	本校は、江戸時代の儒学者で、朝鮮外交に尽くした雨森芳洲の生誕地にあり、芳洲の「自主・創造・友好」の精神を学校教育の基調として、読書活動や環境教育の推進、韓国姉妹校との交流・訪問活動など、特色ある学校教育の推進に努めている。	郷土の先覚者「雨森芳洲」の偉業に学ぶ活動を特色ある教育活動の重点として位置づけ、地域の方々と協力し、学校や郷土に誇りをもつことができる活動を推進している。具体的な取り組みの例は以下のとおりである。 ○心を耕す「芳洲読書タイム」の推進 ○総合的な学習の時間・郷土学「芳洲先生の生き方に学ぶ」 ○学校と地域が連携して創りあげる「芳洲子ども祭」、「芳洲先生ミュージカル」の上演 ○韓国姉妹校との交流・訪問活動

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
滋賀県	東近江市立五個荘中学校	「自彊不息-じきょうやまず-」 自ら努力し最善を尽くして、休まず物事を修めること	①②④	本校の地域は「てんびんの里」として有名な近江商人の町として栄えてきた。近江商人の理念「三方よし」の精神を基盤にしてめざす生徒像を設定し、地域・保護者とともに心豊かでたくましい生徒の育成に努めている。	めざす生徒像を「三方よしが実現できる生徒」とし、「意欲をもったたくましい生徒(自分よし)」、「心豊かな生徒(相手よし)」、「汗するを惜しまない生徒(社会よし)」の3つの側面から、教育活動の充実を図っている。具体的な取り組みの例は以下のとおりである。 ○主体的な学習態度をはぐくむための授業改善、体験活動の重視＝「自分よし」 ○「いのち」・「人権」を尊重する心を育てる福祉活動体験やボランティア活動の充実。＝「相手よし」 ○積極的な広報活動等によって地域に信頼される学校づくり＝「社会よし」
滋賀県	滋賀県立伊吹高等学校	校是「当たり前のことをあたりまえに」	①③	「当たり前のことをあたりまえに」という校是のもと、時間を守り、礼儀正しく、挨拶をし、健全な学校生活を送る生徒を育成している。 安全で規律ある学校生活を保障し、自己の進路への意識を高めるとともに、目標とする進路の実現に向けて粘り強い努力ができる生徒を育てている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・始業前後の校門指導において1日平均遅刻者1名以下、年間遅刻ゼロ100日以上。</li> <li>・全教員による交通・挨拶指導</li> <li>・学力伸張講座(伊吹塾プログラム)</li> <li>・SHR8分間の朝読書指導</li> <li>・原級留置者数および中退者数ゼロを目指す。</li> <li>・部活動と勉強をよりうまく両立させるための指導法と学校生活の工夫改善</li> <li>・体育コースの体験活動と小高連携事業</li> </ul>
京都府	舞鶴市立白糸中学校	教育目標 「常に新たに」(校歌の歌詞の一部を教育目標にしている)	③⑥	校歌は「その学校の教育方針や品格を示す大事なもの」として、多くの方の尽力により昭和31年に作成された。その校歌の歌詞にある「常に新たに」を教育目標に据え、全ての教育活動の礎としている。生徒一人一人に、母校に対する誇りと自らの学校生活を充実させようとする意欲に結び付き、スクールアイデンティティ醸成の要となっている。(校歌作詞は、詩人土岐善麿氏)	校歌が創られるに至った経過や当時の校長や先輩たちの学校に寄せる思いを題材にした道徳教材「常に新たに」を独自に作成し、毎年4月の授業参観日に1年生が学習している。生徒達も部活動のTシャツや手ぬぐい等にこの言葉をプリントするなど、身近なものとして定着している。生徒指導面も充実し、現在、「教育のユニバーサルデザイン～学校、生徒、家庭のとらいあぐる～」を研究テーマに、生徒を中心に据え、家庭、地域と一体となった実践を展開している。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
京都府	京都府立洛北高等学校附属中学校	校訓「礼節の実践、学業に邁進、山水の愛護」 目指す生徒像 ○世界に羽ばたく大きな志をもった生徒 ○知的バランスのとれた生徒 ○心豊かで礼節をわきまえた生徒	①	自由と責任を重んじる校風の下、2人のノーベル賞受賞者を輩出している歴史と伝統(平成22年には、創立140周年を迎える)を誇る学校である。平成16年からは中高一貫教育校として「融和と創造」の下に、新しい時代に対応した地域に信頼される学校であり続けるため、伝統を基盤にしながらも、常に創造的で組織的な教育活動を、生徒、保護者、教職員が一体となって展開している。	「笑顔、挨拶、思いやりのある学校」をキャッチフレーズに、笑顔一杯に挨拶できること、自分も他人も大切にすることを学校づくりに取り組んでいる。また、育てたい力を「深い洞察力」「論理的思考力」「豊かな創造力」の3つとし、生徒が自然科学に親しみ、自然科学の基本的な素養をしっかりと身に付けることが将来への大きな力になると考え、教育の基本コンセプトを「サイエンス」としている。学校独自教科「洛北サイエンス」の設定、「発見・思考・表現」とした総合的な学習の時間の取組、研修旅行における世界自然遺産の中での活動など創意工夫に溢れた、特色ある教育活動を展開することで、学習への動機付けを図りながら学習意欲を引き出すよう努めている。
京都府	京都府立北稜高等学校	「志、意志力そして情熱」を持った人間の育成 テーマ「自分で考え、自分で表現する」、「地球と人間」の2つのテーマの下での「存在感のある学校」の構築	③	『テーマ性のある普通科』を掲げ、2つのテーマが目的や課題となるよう組織的な教育活動を展開している。このテーマは、「学ぶ側の生徒」と「教える側の教職員」の共通の目標であり、共通の課題として定着しているものである。	テーマ「自分で考え、自分で表現する」では、変化に対して生きていく力を育てるために、論理的な思考力や判断力を育成している。もう一方のテーマ「地域と人間」の環境理解行動では、環境マネジメントシステム(EMS)の認証取得を含めた環境教育の取組を行っている。平成15年8月に全国で普通科高校初のKES環境マネジメントシステムスタンダードの認証を取得し、あらゆる教育活動を通して全校体制で環境問題に取り組んでいる。また、国際理解交流では、「他人を思いやる心や人権意識」を培う指導を行っている。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
大阪府	豊中市立桜井谷小学校	校訓:「正・強・明」 テーマ:「地域とともに育む 勤労生産奉仕的行事」 ー地域・学校・家庭で育つ子どもー	④⑤	「水田」での「米づくり」を通して、多様な地域の方との交流が可能になり、地域の方と共に汗を流し、学年での共同作業を通して、「自分のよさ」を実感し、集団の中で認められ、「自尊感情」を育むことができると考えられる。勤労生産、奉仕的行事の持つ特質は、「勤労」を通して「生産」の喜びや、他者を「思いやる心」・「感謝の心」を育み、また、「奉仕的活動」は、地域社会への関心や、人との交流の意欲を育て、社会参画への道筋をつけ、豊かな人間性や社会性の育成につながると思われる。	地域の方の協力を得、「米づくり」の体験学習を中心に据えた年間カリキュラムを実施。具体的には、①田んぼづくり、②田植え、③稲刈り、④脱穀、までを地域の方の協力を得ながら、子どもたちは実際に学んでゆく。どの作業の時にも地域の方の協力を得、地域の方が丁寧に指導していただけるので、子どもたちも楽しんで作業をする。稲刈りは子どもたちが実際に鎌を持ち、脱穀では昔ながらの作業の体験と言うことで、千歯こきや、足踏み脱穀機も地域の方の協力で用意された。収穫された米は、収穫を祝う調理実習に利用し、お世話になった方への手紙を書いた。地域のお年寄りの方にもリコーダーの発表と併せて届けた。また、滋賀県安土町での農業体験のプログラムにも参加し、安土町の農家の方に温かく迎えられた子どもたちは、多くの収穫にも大喜びで、米づくりや、食物に対する関心や知識が一層高められた。
大阪府	高槻市立第七中学校	「信頼関係の充実」(教育改革の柱) ー「JASMIN運動」ーと ー「いじめ撲滅運動」ー	①②③④	子供たちの生活に関わりの深い事柄が、親しみやすい「JASMIN運動」というネーミングで生徒の発案により出され、生徒会活動の活性化を果たし、またPTAと地域との協働もあり、それらのことにより子どもたちの達成感や誇りを持たせている。また、生徒会が中心となって取り組んでいる「いじめ撲滅運動」によりいじめの未然防止、早期発見につながっている。	積極的な生徒指導の展開と、自主性・主体性を育むために生徒会活動の推進を図ることを目的に「JASMIN運動」「いじめ撲滅運動」を展開。「JASMIN運動」…{J(授業時間を大切にしよう!)、A(あいさつをしよう!)、S(掃除をしよう!)、MI(身だしなみを整えよう!)、N(ノーチャームに取り組みしよう!)}との取り組みが生徒の発案によりはじまり、生徒による創造的活動の原動力となっている。「いじめ撲滅運動」…「いじめ撲滅宣言」、「JASMINボックス」(生徒会が設置している生徒の投書箱とメールボックス)、「いじめストップシール」(意思表明のシール)、「いじめ撲滅ポスター」などに生徒会を中心に取り組んでいる。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
大阪府	大阪府立大冠高等学校	<p>スクールモットー(校訓): Find a Way or Make One(見つけよう つくりだそう 明日への道) 2008年度版スクールモットー「ステップフォワード大冠」 2009年度版スクールモットー「ステップフォワード09(ゼロナイン)」</p>	④	<p>学校のさらなる発展のために、校訓をベースにしたスクールモットーを年度当初に定め、独自の取り組みを進めている。</p>	<p>部活動が盛んで地域に根ざした教育を進めてきた大冠の特性をさらに伸ばそうと、昨年度から「Sound Mind &amp; Body Project」(心身の健康プロジェクト)と称し、「健康づくり学習」に取り組んでいる。校訓であるところのいわゆる「自己実現」も、その基礎である「健康づくり」なしには考えられないからである。その概要は以下の①②である。 ①「健康たかつき21推進ネットワーク」(高槻市のNPO・企業・コミュニティなどが参加する協議会)への参加。 ②①の具体的活動として「大冠健康フェス」(学校説明会にあわせて生徒保健委員会が実施)の開催。 今年度はこの取り組みを継続し、さらに一歩進めるために、高槻市保健福祉部と連携し、食育に取り組み、立命館大学とも連携し、体力づくりにも取り組む計画を持っている。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
大阪府	大阪府立岬高等学校	あかるく たくましく ねばりづよく	①	府立岬高等学校は、「あかるく たくましく ねばりづよく」という校訓のもと、「夢をチカラに！」という教育目標を定め、その実現のため、キャリア教育を軸に「学ぶチカラ」「頑張るチカラ」「人間関係づくりのチカラ」の「3つのチカラ」の育成に努めている。	<p>◇「あかるく」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ あいさつ運動を展開し、あかるく、元気に学校生活をおくるとともに、コミュニケーション能力を向上させながら「人間関係づくりのチカラ」育成に努めている。</li> </ul> <p>◇「たくましく」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「情報専門コース」を設置し、プレゼンテーション能力を育むとともに、ワープロ検定や電卓検定などの各種資格取得を進めている。また、和歌山大学への体験入学により、たくましく「学ぶチカラ」の育成めざしている。</li> <li>・ 「海洋専門コース」を設置し、海洋生物の調査やヨット実習、マリンスポーツ、漁業体験を実施する中で、共同作業を通じたコミュニケーション能力の向上を図るとともに、海洋・環境への興味関心を深め、地域を担う人材を育成する。</li> <li>・ インターンシップや応募前職場見学などの職業教育をはじめ、大阪府職業アセスメントプログラムに参画しながら将来の夢を現実のものとするようキャリア教育を推進し、たくましく生きる「頑張るチカラ」を育成する。</li> </ul> <p>◇「ねばりづよく」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティアサークルを結成し、地域の諸機関・団体と連携しながら年間150名に及ぶ生徒のボランティア活動への参加をねばりづよく継続する中で、「人間関係づくりのチカラ」を育成している。</li> <li>・ 留学生を招いた「国際理解のためのワークショップ」を開催し、自尊感情、他尊感情をはじめとする人権意識の向上を図っている。</li> </ul>
兵庫県	たつの市立室津小学校	校訓 考える子 がんばる子 仲よくする子 学校教育目標 郷土室津に誇りを持ち、夢に向かって挑戦する児童の育成 一思いやりの心いっぱい い室津っ子ー	③④	校区は、多くの史跡を擁する歴史と伝統のある地域である。また、人情味溢れる地域の中で子どもたちはたくましく育っている。室津小学校では、探究心旺盛な子ども、実践力のある子ども、社会性豊かな子どもを目指すため、家庭・地域・学校が一体となって、「地域に学ぶ」視点を意識した数々のユニークな学校行事が行われている。また、学校教育目標を具体化する取組が継続的に実践されている。	<p>学校教育目標の具体化に向け、地域を巻き込んだ体験活動、交流活動が積極的に進められている。</p> <p>①室乃津太鼓(地域の祭りに使用する太鼓を利用し、高学年児童が太鼓演奏を行う。)</p> <p>②郷土料理給食会(郷土の食材を使い、漁協や生活研究グループの方々和交流し給食会を実施する。)</p> <p>③郷土に学ぶ(地域の方々から郷土の梅を使って梅ジュースをつくる。他校の児童と交流しながら漁船や郷土の民族館等を見学する。)</p> <p>④老人会との海岸清掃活動 等</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
兵庫県	赤穂市立有年中学校	<p>明朗～礼儀正しく、共に伸びる生徒 創造～考えて行動し、共に学ぶ意欲のある生徒 勤労～心身共にたくましく、共に奉仕の活動ができる生徒</p> <p>&lt;学校教育目標&gt; 「正々堂精神を身につけた、こころ豊かな生徒の育成」</p>	①③	<p>昭和45年設立の無人購買部“正々堂”に由来する「正々堂精神」の継承を学校経営方針の基盤としている。この精神を自負し、体現しながら自己実現を図る、こころ豊かな生徒の育成を目指した教育活動を展開している。</p>	<p>昭和45年、交通量が多く横断が危険な国道沿いにあった時代に、生徒会からの要望を受けて校内で文具を無人で販売する「正々堂」を設置した。『無人の場でも自己の良心に恥じない正々堂々とした行動を』大切にしている。その精神を学校生活の全ての場面で実践していく活動を継続してきた。さらに、平成4年には「ノーチャイム制」を導入し、自主・自律の精神をより具体的な行動で実践していく取組を始めた。</p>
兵庫県	兵庫県立有馬高等学校	<p>まこと(つよく きびしく たのしく)</p>	③④	<p>強い志を抱き、自らの豊かな未来を切り拓く子どもたちの「生きる力」を育むために、学校や地域社会での様々な活動を通して主体的に物事に取り組む意欲と態度を育てている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域貢献活動 演劇部・ボランティア部・家庭クラブによる特別支援学校・福祉施設・病院等訪問</li> <li>吹奏楽部による地域のイベントでの演奏ボランティア</li> <li>農業クラブによる地域公共施設内の花壇での花栽培ボランティア</li> <li>・ 地域オープン講座 地域住民が生徒とともに市民農園づくりやフラワーアレンジ技術を学んでいる。</li> <li>・ 小・高連携 地域の小学校へ行き、小学生に花栽培の指導を行っている。</li> </ul>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
兵庫県	兵庫県立芦屋国際中等教育学校	RESPECT「尊敬」: 家族や教師、仲間を敬い、自分自身を大切にしながら、お互いを一人の人間として尊重し合う。 INTEGRATION「融和」: お互いの違いを認め合い、相手を思いやり、お互いを仲間として受け入れ、共生の心をはぐくむ。 CONTRIBUTION「貢献」: 人の役に立つために自分ができることについて考え、地域社会や国際社会に貢献する力を養う。	①	平成20年度現在で、日本をはじめ、韓国、中国、アメリカなど、27カ国の国籍を持つ、いわば異なる言語環境や文化的背景のもとに育った生徒が、お互いの出身国、滞在国等の言語や文化について学ぶことによって、自尊感情や自己肯定感をはぐくみ、豊かな共生の心を培い、また一人一人の能力や適性に応じた学習を通じて自己実現を図る「中高一貫教育」を進めている。	1 教育目標 (1) 言語環境や文化的背景の異なる子どもたちの相互啓発により、共に生きる心をはぐくみ、多文化社会に生きる人間形成を図る。 (2) 個に応じた指導の充実により、基礎・基本を確実に身につけ、それを基に自ら学び、考え、判断し、行動する力を培う。 (3) コミュニケーション能力や異なる文化を理解・尊重する態度など豊かな国際感覚を備え、国際社会に貢献できる力を育てる。 2 具体的な取組 (1) 交流活動の推進 ベトナム、オーストラリア、コスタリカ等の中高生の受け入れによる交流や、国際交流協会、国際協力機構(JICA)などの関係機関等との連携を図り、多様な学習環境を創造する。 (2) 弾力的な学習支援 少人数指導や個別指導などにより、日本語や日本文化の理解の程度、及び海外での生活で身につけた語学力等に応じた学習支援を行っている。 (3) 教育課程 前期課程の「AIタイム」(総合的な学習の時間)では、生徒達がお互いの母語や文化等をともに学ぶなど、相互理解を図る活動を行っている。 また、後期課程では選択科目として「中国語」「韓国・朝鮮語」「スペイン語」「フランス語」を学習するなど、国際的な視野を広げる活動を行っている。
奈良県	奈良県立磯城野高等学校	和顔(わげん) 堅忍 創造	①	校訓を、目指す生徒像として明確に位置づけた学校経営を展開するとともに、県教育委員会のスローガンとも関連づけながら、専門高校の特性を活かした教育を推進している。	学校の現状を踏まえ、2～3年後の学校の姿を設定するとともに、将来の学校像を明確に定めている。また、県教育委員会のスローガンも踏まえながら、校訓が掲げる生徒を育成するためのビジョンを構築している。



都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
和歌山県	海南市立南野上小学校	みんな なかよし みなみの子 (各文節の頭文字に本校名の「みなみ」を組み込んだ折句として、子どもたちになじみやすいことばで本校の子どもがめざすべき姿を象徴的かつ総合的に表現したもの。)	①③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接する公民館や自治会といった組織を中心として、地域との連携を図っている。</li> <li>・学校生活のあらゆる学びの場を通して、異学年の仲間とともに、学力のみならず、規範意識や社会常識、情緒力を体得し、人格の形成を図っている。</li> <li>・校訓を活かした学校づくりに取り組んでいる。</li> </ul>	子どもたちになじみやすいことばで本校の子どもがめざすべき姿を象徴的かつ総合的に[みんな なかよし みなみの子]と表現したように、児童による地域クリーン作戦、運上場の芝生化による児童の元気な活動などがある。
和歌山県	和歌山県立桐蔭中学校	知性・感性・理性をみがく桐蔭中高一貫教育 —総合的な人間力を備えた人材の育成—	①⑤	<p>中1・中2:【基礎】 学び方や学ぶ姿勢を身に付けるとともに、知識や技能を確実に習得し深化させ、考える力の基礎を養う。</p> <p>中3:【充実】 追究する活動や学び合うことを通して、学習内容をさらに深化、発展させ、幅の広い確かな学力を育てる。</p> <p>高1・高2:【発展】 専門的な知識の獲得や深く思考する学習活動により、個々の能力を伸長させ、問題解決できる応用力を培う。</p> <p>高3:【飛躍】 自己の目標実現に向けて、希望する進路に応じた学習を充実させ、6年間の中高一貫教育の成果を結実させる。</p>	「文武両道」「改革と伝統」は長い桐蔭高等学校の歴史の中で、学校教育を支える理念として大切にされてきたものである。学業の成就と心の陶冶を旨とし、長い歴史の中で培われた伝統を受け継ぎながら、新たな視点をもとに改革する勇気や行動力をもった学校経営を進めている。 桐蔭高校に併設された中高一貫校として開校して3年目を迎えた本中学校においても、二つの校訓を学校経営、学校教育を支える柱として教職員と生徒一人ひとりが常に心に留め、教育課程や学校行事等を通して、これらの校訓を活かした学校づくりに取り組んでいる。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
和歌山県	和歌山県立桐蔭高等学校	文武両道、改革と伝統	①	今年、創立130年を迎える県内屈指の進学校であり、数々の有為な人材を社会に輩出している。文武両道の理念の基に、社会をよりよく改革していく気骨ある人材を育成している。また、中高一貫として高校に併設された中学校においても、二つの校訓を学校経営、学校教育を支える柱として教職員と生徒一人ひとりが常に心に留め、教育課程や学校行事等を通して、これらの校訓を活かした学校づくりに取り組んでいる。	「文武両道」「改革と伝統」は桐蔭高等学校の歴史の中で、学校教育を支える理念として大切にされてきたものである。学業の成就と心の陶冶を旨とし、長い歴史の中で培われた伝統を受け継ぎながら、新たな視点をもとに改革する勇気や行動力をもった学校経営を進めている。
和歌山県	紀伊コスモス支援学校園部分校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・命を大切にし、健康なからだをつくる。</li> <li>・自分の思いを表現し、お互いを認め合う。</li> <li>・生きる力としての学力をつける。</li> <li>・働くことの意味と大切さを知る。</li> </ul>	①	本校は知的障害の特別支援学校であり、障害児入所施設を併設した学校である。学校における教育活動に加えて、併設する施設との連携により、生活面並びに精神面の配慮が非常に重要である。児童生徒一人ひとりを大切に教育が程されている。	教育方針として、「命を大切に」「健康なからだ」「生きる力」を第1において、教育活動全般を通して、児童生徒が社会で自立できるような取組を展開している。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
鳥取県	三朝町立西小学校	<p>「豊かな心 丈夫な体 共に伸びゆく」 西小サンサンプラン 子どもにとって:【できる喜び、わかる喜び、伝える喜び】 そのために教師は:【そのとき、その力を、その子に】 ①学校楽楽プラン ②マナーアップ行動プラン ③バッチリズム推進プラン ④かじかプラン</p>	①④⑤	<p>開校百周年となった昭和48年に、地区住民・保護者の総意で制定された校訓「豊かな心 丈夫な体 共に伸びゆく」が常に意識されながら学校経営がなされている。 ステージ上に掲示されている校訓や前庭の石碑、地区住民・保護者が率先しての修繕に協力するなど、地域と学校が共に校訓を守ろうとする一体感があふれている。</p>	<p>校訓を活かした学校づくりを行うため、学校評価の評価項目に4つのプランを設定。豊かな心は、『マナーアップ行動プラン』に、丈夫な体は『バッチリズム推進プラン』に、共に伸びゆくは、『学校楽楽プラン』をはじめすべてのプランに共通するものとして設定されている。保護者アンケート、学校関係者評価(学校支援委員会)を活用し、PTA・地域の支援を受け、家庭・地域と一体となった取組もなされている。</p>
鳥取県	鳥取市立醇風小学校	<p>校訓 『至誠』 学校教育目標 豊かな心・確かな学力・たくましい体・開かれた学校</p>	①③⑥	<p>全教育活動を通じて道德教育を推進するにあたり、学校創立以来137年にわたり受け継がれてきた校訓「至誠」の再認識を図るとともに、「醇風五心」を心の教育の拠としてその実践化を図り、道德の学習時間の充実、豊かな体験活動の工夫や家庭・地域との連携等を積極的に進めている。</p>	<p>学校教育目標達成に向けて、「心と心をつなぐ」「やる気満々」「元気な体づくり」「We love醇風」の4プロジェクトを組織し、取り組んでいる。また、道德教育の推進にあたっては、道德の時間を要とし、心に響く道德の学習の充実を図るとともに、素直・反省・謙譲・感謝・奉仕の「醇風五心」を心の教育の拠に、全教育活動を通じてめざす子どもの姿を「醇風しぐさ」として示し、その実践・定着を図っている。さらに、「志を高く掲げる心」を育てることを重視し、地域の人材等を「心の先生」として、その生き方にふれる機会を多く設定している。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
鳥取県	鳥取県岩美郡岩美町立岩美中学校	みずから学び みずから鍛え みんなと生きる	①③⑤	<p>岩美中学校では、学校の教育目標と校訓とを明確に結びつけ、その達成状況についても学校評価の中に位置づけている。また、生徒の自主性を尊重しながら、校訓の理念を踏まえた学校行事や生徒会活動と連動した特色ある学校づくりを積極的に推進するなど、校訓を活かした学校づくりがなされている。</p>	<p>10年前、学校不適応生徒の急増や問題行動が頻発し、それらに伴って学力低下へとつながった。5年前より、校歌・校訓の精神を胸に刻み、ルール・マナー・モラルを大切にする生徒の育成を目指して取り組んだ。今では、「自立に学び 自立を知ろう」(修学旅行)や「358人による安心・安全な学校づくりそして感謝、貢献」(生徒会目標)など生徒自らの活動である学校行事や生徒会活動、部活動等でも校歌・校訓を自分たちの言葉で表現してスローガンとして取り組んでいる。先にあげた教育課題も解決へと向かい、これら生徒の活動は、地域や保護者、教育行政からも賞賛されている。また、学校組織マネジメントを基盤にした学校評価を実施し、学校評価委員からの評価・提言を含めて、これらの評価結果や学校のミッション、ビジョン、学校教育目標等をホームページに掲載し公開している。なお、これらの取り組みの一端を平成20年12月10日に文部科学省主催「学校評価の取り組み事例」として発表している。さらに、平成21年5月25日には研究発表会を開催し、組織マネジメントを活用した学校評価を実施しようとする町内外からの先生方が多数参加された。その後も、県内外から先生方が来校されている。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
鳥取県	鳥取県立倉吉西高等学校	<p>校訓 「立志」(生徒憲章 第一項を校訓としている)</p> <p>生徒憲章 一、私は志を立て、目標に向かって全力を尽くします 一、私は心身を鍛え、明るく健康な生活を送ります 一、私は自由を尊び、言動に責任を持ちます 一、私は友情を深め、ともに生きる心を大切にします 一、私はこの学園を誇りとし、地域社会の信頼に応えます 一、私は常に進取の精神を持ち、視野を世界に広がります</p>	①②	<p>24年前、生徒自らが校則のあり方を見直し「生徒憲章」が制定された。生徒憲章は、生徒個人の高校生活の目標であると同時に、学校全体の教育目標でもある。</p> <p>現在、学校現場の課題を踏まえた上で改革を進め、生徒憲章の目標を具現化するための学校経営がなされている。</p>	<p>新たな時代を見据え、生徒憲章の目標を達成するための質の高いさまざまな教育活動を実施。</p> <p>本年度は、3年前に策定された「倉西夢きりアクションプラン」事業の内容を再編し、①夢実現(異年齢グループ活動事業等による社会的読解力の育成)、②進路意識向上(鳥取大学教育力活用事業等による学びの集団づくり)、③集中力育成(メンタル強化事業等による心身の充実)、④知的基盤整備(図書館機能充実事業等を通じた学びの質の向上)の4つのプロジェクトを核とし、10年後の確かな人間力(知的能力、社会・対人関係力、自己制御力)育成を目指した取組を実施。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
島根県	島根県江津市立渡津小学校	中期学校教育目標 「学び合い、認め合い、高め合う、学校づくり」	⑤	校訓(長期学校教育目標)を中期学校教育目標にまで具現化し、その達成のために校長のリーダーシップのもと、学校評価を有用に展開し、教職員の経営参画意欲を醸成しながら、学校づくりを進めている。	中期学校教育目標及び中期重点目標に基づき、「学校組織マネジメント」の手法(SWOT分析、マトリクス思考法、KJ法)を利用し、短期重点目標、具体的方策を策定している。そして、それらと学校評価「自己評価書・学校関係者評価書」作成のための「自己評価シート」の個々の項目との位置づけを明確にしている。さらに、評価しやすいように、指標化した「評価観点」及び「スケジュール化」を明記して実践評価可能なものとし、「渡津小方式」として成果を上げている。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
島根県	奥出雲町立 横田中学校	○「我等横中生徒」(生徒合言葉一群読) 吾妻山は 質実剛健 の意気を見せ 我等横中生徒 三井野原に 自立と 忍耐の花開き 横田を学び 横田で学 び 横田盆地に 友愛と 協同の気ただよう たくまじからだと 船通山は 進取創造 の昔を語り 豊かな心持ち 斐伊川は 無心に流 れ奉仕してやめず きょうを励まん  あすを拓かん  ○「大樹のごとく 花の ごとく」	①③	昭和48年の実質統合以降、五つの 目指す生徒像、生徒会合言葉「我ら横 中生徒」、「大樹のごとく花のごとく」の 合い言葉をもとに、生徒会活動、部活 動を展開し、ホッケーの全国優勝、花 いっぱいコンクールでの表彰、地域貢 献などの実績を積み上げている。これ は、校訓(合い言葉)を生かした教育活 動が現在の生徒にはもちろん、世代を 超えて地域に根ざした成果であると考 え、紹介する。	昭和46年に鳥上・横田・八川・馬木の4中学校が名目統合し、2年後の昭和 48年に新校舎が完成、実質的に横田中学校が誕生した。誕生以来、学校教 育目標・目指す生徒像に次の5つが掲げられている。 ○ 質実剛健の気風に満ちた生徒 ○ 自立と忍耐の心に富んだ生徒 ○ 友愛と共同の精神にあふれる生徒 ○ 進取・創造と奉仕の精神をもつ生徒 ○ 健康なからだと豊かな心をもつ生徒 そして、昭和50年に、これらを詠った詩「我等横中生徒」が2代目校長によ って創られ、それ以来、この詩を生徒合言葉として、入学式・卒業式などの行事 の折りに群読を続けている。また、生徒会応援団を中心にこの群読を受け継 ぐべく、練習を続けている。生徒会活動を中心としながら、生徒指導におい ても「我等横中生徒」の精神を大切に指導を続け、生徒の学校(校風)に対する 自覚と誇りを大切にしている。部活動においても、この精神で男女ホッケー部 は全国大会でも輝かしい成績を刻み続けている。 この「我等横中生徒」と同様に本校が大切にしているのが、「大樹のごとく 花のごとく」という言葉である。この言葉は、昭和54年度に「全国花いっぱい コンクール」において、厚生大臣賞を受賞した記念として正門付近に設置された 石碑に刻まれた言葉である。この言葉には、長年の風雪や夏の日照りにも耐 え、強くたくましく生きている中庭の榎の大木や、全校生徒で栽培し、見る人 の心を和ませ、やさしい気持ちにしてくれる花壇の草花のように、心の中に、 辛いことに出会っても乗り越えられる強さとたくましさ、他の人に笑顔で接する やさしさと思いやりの気持ちを持つ人に育てて欲しいとの願いが込められてい る。 本校は、花壇面積516㎡を有し、約14000本の花を育てている。それだけに 留まらず、地域への苗の提供や公共花壇の整備・管理を生徒会や園芸部の 活動として行っており、育てる苗は3万本に上る。このため花壇作業を定期的 に行っており、この活動は、地域貢献の一つともなっている。これまで、「全国 花いっぱいコンクール」において、厚生大臣賞(S54)・農林大臣賞(H1)・運輸 大臣賞(H10)・毎日新聞社賞(H17)・日本花いっぱい協会賞(H18)の全校表 彰を受けている。県大会では、常連校として高い評価を得ている。近年では、 H16・17年度に文部科学省指定「児童生徒の心に響く道徳教育推進事業」を 受け、生徒の豊かな心の育成に努め、平成18・19年度には文部科学省指定

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
島根県	島根県立横田高等学校	校訓 『凛々しく、毅く、逞しく』 教育目標 『耕心培学』	③	校訓である『凛々しく、毅く、逞しく』生きる力を育むために、教育目標『耕心培学』（広義の意：心が立派に地ならしされていなければ、学徳は健全に育たない）を「総合的な学習の時間」の全年共通のテーマ・名称と位置付け、その理念を踏まえた教育活動を展開している。	教育目標『耕心培学』で言う心の地ならしを、幾つかの「心田」に分けて「総合的な学習の時間」に学年別、進路希望別に年間指導計画を策定し学習させている。 1年 ○「国際理解」、「世の中理解」の心田 ○「セルフ・コンシャス（自己認識）」の心田 ○「ライフ・プラン（人生設計）」の心田 2～3年 ○「ライフ・プラン」の心田 ○「ライフ・トレース（先達の生き方調べ）」の心田 ○「ローカル・リサーチ（地域研究）」の心田 ○「メジャー・リサーチ（専門分野探求）」の心田 ○「セルフ・コンシャス」の心田
岡山県	笠岡市立金浦小学校	学校教育目標「すこやかな体をもち、自らの可能性を拓いて 共に生きる子どもの育成」 テーマ「楽しい学校生活」を設定し、4つの柱（「心も体も健康」「がんばる勉強」「みんななかよし」「働く喜び」）を設けて取り組んだ。	①	学校教育目標を具体化し、4つの柱としてわかりやすく児童に示し、さらに具体的な手だてとして細分化させている。学校内外の環境分析ももとにしながら、学校のビジョンとして掲げており、保護者や地域からも信頼され、教職員にとってもやりがいのある学校を目指している。	(1)「心も体も元気」 早寝、早起き、あいさつ、朝ご飯運動の推進（睡眠時間の確保、学校・家庭・地域で、T・P・Oを踏まえたあいさつ、食育の重視） (2)「がんばる勉強」 集中して取り組む授業時間、家庭学習の推進、読書活動の推進 (3)「みんななかよし」 縦割り班・きょうだい学級活動の推進（「なかよし遊び」「子どもひったか」） 家庭との連携（「ここにこメッセージ」「生活スマイルカード」） (4)「働く喜び」……働く活動の重視（係活動・委員会活動等における意欲的な取り組み、清掃活動を通して働く喜びを体得）
岡山県	岡山県立備前緑陽高等学校	夢実現 ～心豊かに輝け個性～	③④	○平成15年度に再編整備（備前高校及び備前東高校）により総合学科として開校した。 ○キャリア教育、社会人としての規範意識を育てる生徒指導、ボランティア活動などを通して、校訓にある生徒一人一人の「夢実現」に向けた着実な取組を進めている。 ○取組は、組織的かつ連携がとれたものであり、また地域に根ざした工夫されたものとなっている。	○校訓に示された理念、総合学科の趣旨に基づき、生徒一人一人の自己実現・進路実現に向けて、キャリア教育を柱とした取組を進めている。教科「産業社会と人間」を軸に、文科省の「キャリア教育推進地域指定事業」（平成16～18年度、備前市）の指定による研究開発を通して、キャリア教育のプログラムの開発・実践、インターンシップ、小中高間の連携、NIEの取組などに積極的に取り組んできている。 ○また、地域でのボランティア活動（賢治になり隊、FMラジオ放送局、空き店舗利用の理科実験教室など）にも積極的に取り組んでおり、地域への貢献、取組の発信を通じて、地域と共にある信頼される学校作りや生徒の帰属意識・自尊感情の醸成に取り組んでいる。



都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
広島県	東広島市立三ツ城小学校	和（なごみ） 「和」には、人とのつながり、人の和、和やかに生活できるようにといった願いがこめられている。	①④	本校は、東広島市西条地区の人口増加に伴い、東広島市立西条小学校の分離校として、平成13年4月に開校した。 平成21年度から、文部科学省の「道徳教育実践研究事業」の推進校として「知育」「徳育」「体育」の調和の取れた発達を図る教育活動を推進している。	相手を思いやる温かい心、どんなことにもくじけずがんばりたい心を大切にしながら、5つの合う（助け合う・鍛え合う・深め合う・育ち合う・響き合う）を柱に知・徳・体のバランスの取れた児童の育成に努めている。 地域との連携を図るために、校務分掌に『共育部』を設置し、学校と地域が一体となって教育活動ができるよう計画的、組織的、意図的に進めている。 たとえば、地域行事を知らせる学ちゃんコーナーを設置したり、地域コーナーを掲示するとともに、1月にふれあい参観日を開催している。 また、各学年が生活科及び総合的な学習の時間に、コミュニティハウスと連携して地域のゲストティーチャーを活用するとともに、地域の各種団体の協力を得て、もちつきも実施している。
広島県	呉市立白岳中学校	礼儀正しくしよう 時間を大切にしよう 人権を尊重しよう	②⑤	昭和59年市立広中央中学校より分離し開校した。本校は、自校の校訓やその理念を、学校経営目標や学校評価の指標等に生かすとともに、校訓を生かした生徒会活動を展開させる中で、生徒とともによりよい学校づくりに取り組んでいる。	心豊かで主体的に行動できる生徒を育てることを目指して、日々の教育活動を通して、生活及び学力の基礎・基本を定着させるとともに、自己指導能力を高める取組みを推進している。 生徒会活動においては、規律委員会が中心となった自治的な活動（挨拶運動、遅刻0、ベル着運動、服装点検等）に取り組んでいる。1学期は、校門及び登校路（白岳挨拶通り）において、生徒会と保護者及び教職員による挨拶運動を展開し、遅刻や服装に関する声掛けを重点的に行った。
広島県	広島県立安芸高等学校	校訓 「生命敬愛」「自立創造」「持続実践」	③	昭和49年普通科高校として設立され、平成10年総合学科として新たなスタートを切った。校訓である「生命敬愛」「自立創造」「持続実践」のもと、地域に愛され、信頼される学校づくりに取り組んでいる。 さらに、勉学、部活動、学校行事に打ち込んだという達成感を体験させることや、挨拶をする、時間を守るなど社会性を身につけさせることに積極的に取り組んでいる。	○毎朝の校門指導を通して、服装・頭髪指導、遅刻指導の徹底や挨拶運動を行い、基本的な生活習慣の確立を図っている。 ○生徒指導だよりを毎月発行し、学校への帰属意識を高めるとともに、校則の徹底を図っている。 ○校歌を毎朝流したり、集会等で歌うなど、母校愛を育成する取組みを実践している。 ○キャリア教育を積極的に展開することで、生徒一人一人が自己存在感を体験しながら自立を図っている。 ○年間6回の構成的グループエンカウンターを実施し、生徒の「心」に迫る指導を行っている。 ○北海道研修旅行（修学旅行）を実施し、ファームステイにより農業を体験することで豊かな感性や思いやりの心の育成を図っている。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
山口県	岩国市立米川小学校	強い米川小学校の児童の育成 ～ 強い心・強い(賢い)頭・強い体～	⑤⑥	校訓というほどではないが、「強い」という言葉を合い言葉に学校生活のあらゆる場面で活用し、教職員、児童、保護者だれもが覚え、目標とできるようにした。また、評価においても「強い心、強い頭、強い体」についてそれぞれ重点目標を決め、それを学校関係者評価委員会で評価したり、アンケートによる調査をしたりするようにしている。	<p>本校では、教職員の内部アンケートや児童アンケート、保護者アンケート、学校関係者評価委員会の評価をもとに、学校課題を検討した結果、児童の「がまん強さ」や「最後まであきらめずにがんばる心」「学習に積極的に取組む姿」などに課題があることが分かった。また、従来の学校教育目標は長く難しかったため、教職員、児童、保護者にもわかりにくく、覚えにくいと考えた。そこで、学校課題から、教職員、児童、保護者が覚えやすく、インパクトのあるものにしたいと考え、「強い」という言葉を合い言葉として使うこととした。</p> <p>「強い」とは、まず心が強いということであり、苦しさに負けない強い心、わがままを言わず友達にやさしくできる強い心のことである。次に、自分で課題を解決し、自分の言葉で自分の考えを表現できる賢い頭のことである。それから、早寝、早起きをして朝ご飯をしっかり食べて、休み時間には外でしっかり走り回る強い体のことである。</p> <p>本年度の具体的な取組みとしては、「強い心」では「元気なあいさつ」「そうじ『だいすき』作戦」「道徳的判断力・実践力の定着」を重点目標と定めた。本校は文部科学省の道徳教育実践研究事業の指定校となっているため、特にこの「強い心」の育成については重点を置いている。「強い頭」では、「学力の向上」「年間読書量の目標設定」「学力向上タイム」「わかる、楽しい授業づくりのための授業研究」を重点目標と定めた。本校は平成18年度以来、教職員の授業力の向上を目的として、自主研究発表会で授業公開を続けており、岩国市内外から多くの参加者を得て研修を深めている。また、気軽に授業を見せ合う校内ミニ授業公開も行っている。「強い体」では、「早寝・早起き・朝ご飯」「外遊び」「多様な運動」を重点目標と定めた。</p> <p>その他、「強い」を児童、保護者、地域へ周知するために、PTA総会で説明をしたり、全教室の学級目標に「強い」という言葉を入れたり、廊下や職員室に「これが強い米川小の児童です」という児童の活動場면을掲示したコーナーを設置したりしている。学校だよりも「強い米川小の児童」という記事や活動場面の写真を載せて紹介をし、理解と協力を求めるようにしている。これらを実践していくためには、評価もぜひ必要と考えたため、「強い」を具体化した重点目標と評価項目を一致させ、学校関係者評価委員会へ提示した。教職員、児童、保護者からもアンケートを実施する予定である。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
山口県	下関市立山の田小学校	夢と希望・あなたには素晴らしい未来がある ・あなたは今何をすべき考えよう ・あなたは体力気力学力を身につけよう	①④	学校経営の中核に校訓を位置付け、教職員の共通理解のもと教育実践に取り組んでいる。また、地域、保護者等に校訓を周知し、地域をあげて子どもたちの健全育成等に取り組んでいるため。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・S61 校訓を掲げる記念碑建立(地域の齊志)</li> <li>・H18～校訓についての共通理解(教職員・保護者)</li> <li>・H19 体育館内に額を設置 学級経営案の評価項目に追加</li> <li>・H20 全教室に額を設置 ※ 毎年度、学校だよりにて校訓を紹介</li> </ul>
山口県	岩国市立麻里布中学校	○ 学園信条 「私達は仲間である」 「私達のいる世界は自由でありたい」「私達は自分をみつめる」	①	○ 学校独自の学園信条(昭和34年制定)があり、学園信条の精神を生かした学校経営を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校教育目標に学園信条の精神を取り入れている。</li> <li>○ 入学式には生徒会が中心になって、新入生を含む全校生徒で学園信条の朗読を行い、意識付けを行っている。</li> <li>○ 「心に響く道徳教育事業」(H18～19年度文科省指定)を受け継ぎ、学園信条の精神を生かした生徒指導キーワードをもとに、総合単元的な道徳学習を推進している。</li> </ul>
山口県	下松市立久保中学校	平成20年度生徒会スローガン 輝～未来を照らせ～ 努力目標 1 信頼でつながる久保中生徒 2 互いに意見を出し合う生徒会 3 周囲を気遣う優しさ 4 活発な委員会活動 5 輝く あいさつ・歌声・笑顔	②	生徒会活動の活性化を図るためにこの取組を推進している当該中学校では、個々の生徒が爽やかな挨拶をしたり、学校行事に積極的に取り組んだりするなど、生き生きとした学校生活を送っており、成果を上げているため。	<p>生徒会役員が生徒アンケートを基に、毎年生徒会スローガンを決定し、その年の努力目標を定めている。また、努力目標の実現に向けて、各専門委員会の活動や学校行事などの機会を捉え、生徒の実践意欲を高めるとともに、校訓、目指す学校像及び学校のチャレンジ目標等ともリンクさせ、全校で組織的に取り組んでいる。さらに、このスローガンと努力目標を看板にして廊下に大きく掲示し、視覚に訴えることで、生徒への意識付けや、保護者への啓発に役立っている。</p> <p>平成20年度は特に、努力目標の5「輝く あいさつ・歌声・笑顔」の実現に重点的に取り組んだ。その取組の一つとして、全校集会や学校行事の度に校歌を歌う機会を設け、校歌に誇りをもつ子どもの育成を図った。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
山口県	山口県立宇部商業高等学校	一心 「一心とはまごころをもって、全力を尽くし真理を追求してやまない」という永遠に変わらない人間としての生き方の根源的な姿を示すものである。	①③	当該校は校訓の精神をふまえ、期待される宇部商生として、さらに21世紀を切り開いていくたくましい人間を育成するため、(誠・創・実)の3つの指針を掲げ様々な教育活動が行われている。	当該校では昭和59年に校訓を制定して以来、生徒に対し常にこの精神をもって行動し、よき伝統を受け継ぎ発展させるよう指導がなされている。生徒指導においてはきめ細やかな取組がなされ、在校生は基本的な生活習慣がきちんとしており礼儀正しく明朗で素直である。学習面では、チャレンジ目標として卒業時全国商業高等学校協会主催検定1級取得70%以上を掲げている。部活動は「日本一」を目指して励んでおり、硬式野球部やバレーボール部など全国大会で活躍している。また、宇部商デパートを実施するなど学校行事にも校訓を意識した取組が見られる。
徳島県	美馬市立江原東小学校	○健康で 明るくたくましい子 ○自ら考え 進んで実践できる子 ○助け合い 励まし合える子 ○郷土を愛し 郷土を大切にする子	①	○教育目標・めざす児童像等を常に校内(職員室・廊下等)に掲示し、職員・児童の意識を高めている。 ○教育目標等に関連した特色ある教育活動(炭焼き体験活動等)を展開している。	○4月の始業式において、「めざす児童像」を具体的に説明し、子どもたちに意識づけをしている。それを受けて、担任と子どもたちが、学級や個人のめあてを決めている。 ○PTA総会や学校だより等で、教育目標等を保護者に説明している。また、教育活動を見直すための保護者アンケートを実施するとともに、教育目標の達成状況も評価している。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
徳島県	吉野川市立川島中学校	<p>校訓 「至誠」</p> <p>教育目標 「誠実で創造的に実践できる生徒」の育成</p> <p>教育重点目標</p> <p>①三気五校の定着 三気:やる気, 負けん気, 根気 五校:○元気で体を鍛える学校、○進んで勉強する学校、○礼儀正しくチリの落ちていない学校、○楽しく差別のない学校、○交通規則を守る学校</p> <p>②「いのち・こころ・なかま」を大切にする生徒の育成</p> <p>③「確かな学力」の育成</p>	①③⑥	<p>本校のある吉野川市川島町のすべての学校(川島小学校, 学島小学校, 市立川島中学校, 県立川島中学校・高等学校)の校訓は、「至誠」である。昭和の初期ころに制定されたものと思われる。本校は、この校訓のもとに、人として誠実で誤りのない生き方をめざす人間づくりをめざしている。</p>	<p>校長室だより「川中メール」を通して、校訓「至誠」につながるような生き方を生徒の心に伝えている。生徒集会での話、PTA新聞、学校新聞、卒業式の式辞等で校訓「至誠」のめざす生き方にふれている。校歌の1番でも歌われるなど「至誠」の言葉は、少しずつ生徒の心に浸透していると思われる。また、交通ルールを守り、安全に注意した自転車の乗り方ができるよう指導を徹底するなど、生徒の規範意識を高める指導に努めている。全国学力・学習状況調査の結果では、他の項目に比較して規範意識が高い結果が出ている。生徒の日常生活を見ると、あいさつができ、問題行動も少なく、全体に落ち着いた学校生活を送れている。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
徳島県	徳島県立三好高等学校	実習訓「大地と共に心を耕す」「愛と誠で家畜と生きる」「自然の謎を科学で解く」	①③④	<p>県西部の中山間部に位置する三好高校は、地域産業（農林業）を支える学校として創立した。変遷を繰り返しながら、伝統を受け継ぎ今年で63年を迎える。現在、商業科（ビジネス類）と農業科（生物資源類）が設置されているが、本校の設立理念に繋がる実習訓は、農業科だけにとどまらず、学校全体の教育理念、教育方針として位置づけ、各種教育活動の中で実践し、地域の産業を支える「人づくり」に貢献している。また、特色ある取組は、本県の教育目標である～地域の「個性」と「自立」に根ざした『オンリーワン教育』の推進～（平成20年度）に沿ったものでもある。</p>	<p>1 全校での取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○茶摘み（全校生徒＋地域の特別支援学校の生徒）</li> <li>○創立記念日、楓祭（文化祭）、同窓会入会行事での会食（職員や専攻生による手作りカレーライス・赤飯）</li> <li>○生徒「暖和」室設置及び薪ストーブの導入（帰宅時間までの暖をとる場の設定、体育後援会による薪ストーブの設置）</li> <li>○実習訓等を記した看板の設置（同窓会の寄付による大形看板）</li> <li>○地域環境美化活動（全校生徒による学校周辺の清掃）</li> </ul> <p>2 生物資源類での取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域ブランドの確立を目指した新家畜の導入（ダチョウの肥育、繁殖）</li> <li>○地域農業の研究機関としての役割（ホンシメジの研究開発、ミツマタ栽培の確立）</li> <li>○三好高校の酒「大地の夢」完成（酒米づくりから清酒完成までの一貫した教育）</li> <li>○地域の思いを形にする取組（ブルーベリー栽培への取組）</li> <li>○農場開放及び開放講座の開催（農場見学や地域の人々との交流学习の場とする）</li> </ul> <p>3 ビジネス類での取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○出張販売実習（生物資源類の生徒が育てたものや加工品をビジネスの生徒が販売）</li> </ul> <p>こうした取組は、自分たちが生活し学校生活を過ごす中で関わるすべてのもの（人、自然、動植物）に「感謝」することを学び、将来、地域の産業を支える人づくりを目指して平成20年度に取り組んできた内容である。取組内容を見れば明らかのように、本校に思いを寄せる地域の人々や学校関係者の協力あってこそ成り立っている。年代は違うが三好高校に思いを寄せる人と人との繋がりがあがる。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
香川県	小豆島町立池田小学校	めざす子ども像 ○ いつも進んで学び合う池田っ子 ○ 健康でたくましい池田っ子 ○ 誰とでも仲良くする池田っ子	③	いじめのない明るく楽しい学校づくりをめざし、教職員一丸となって心の居場所のある温かい人間関係づくりの推進に努めるとともに、児童会活動の活性化を図り、児童自ら主体的に考え、意識を高めていける環境づくりに努めている。	①池小なかよし宣言式：各学級ごとに、いじめ撲滅に向けて決意を発表したり、児童玄関に宣言プレートを設置し、いじめのない学校づくりをめざす意欲を高めた。 ②望ましい池田っ子の様子15項目：具体的到達目標を設定し、毎月5段階評価を行い児童の変容をとらえている。
香川県	高松市立桜町中学校	校訓「向学・自主」 生徒会テーマ：ACT ～今、行動すべき時～	②	生徒会が全校生徒を対象に「生徒会テーマ」を募集し、全校生の総意のもと、テーマを決定した。その生徒会テーマは、学校行事、生徒会活動等の場面で常に前面に掲げられ、生徒たちは自分たちのあるべき姿としてとらえている。	1. 美術部員による大がかりな「生徒会テーマ」看板作り 平成20年度は、金箔地に風神、雷神をあしらった黄金の看板を製作した。 2. 運動会テーマ、文化祭テーマとして活用 運動会では、女子生徒が生徒会テーマTシャツを全員で制作し、それらを着用し、テーマに即したダンスを披露した。その他、文化祭での生徒会劇などで活用した。
香川県	香川県立坂出商業高等学校	校訓…誠実・勤勉・礼節	③	坂出商業高校の校訓（誠実・勤勉・礼節）の頭文字をとり、坂商フェア「セキレ」という仕入から経理、販売までを生徒自身の手で行うデパート方式の販売実習型文化祭を実施している。この取組は本格的な商業教育の実践・発表の場として、地域社会にも受け入れられている。	①商業教育の実践的、体験的学習（デパート方式を導入している。） ②生徒の自主性を尊重した学習（生徒自身が創意工夫した店舗づくりを通して問題意識を高め、改善方法を模索する学習を取り入れている。） ③人間性の育成（仕入から経理、販売まで実際の商業活動をすべて生徒たちに行わせ、責任感や連帯感、協調性、礼儀等を身に付けさせている。） ④地域社会に対する開かれた学校（商業教育の実態を広く地域の人々に認識してもらい、商業高校についての正しい理解を得ることができている。）

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
愛媛県	大洲市立大洲小学校	校訓 「良知に生きる」 教育目標 「『良知に生きる子』を育てる」	①③④	学校教育目標に校訓を取り入れ、中江藤樹の教えである「良知に生きる」(「致良知」)教育を学校経営に活かしている。	毎年4月21日、藤樹先生生誕記念式典を全校児童参加で行っている。午後は全員で奉仕活動を実施している。校長訓話でも、「致良知」に関する話を行っている。昭和26年から中江藤樹ゆかりの地である青柳小学校との間で、姉妹交歓会を実施している。中江藤樹の逸話を資料化し、各学年で道徳教育を実施している。PTA教養委員会主催で、「藤樹先生の教えを学ぶ会」、「大洲の歴史文化史跡巡り」を実施し、保護者も子どもも、中江藤樹の教えや史跡を知り、共有している。
愛媛県	松山市立南第二中学校	「創る」・考える・求める・鍛える	①	わかりやすい言葉で示された校訓を受けて、本校では総合的な学習の時間を「創る」と命名し、教師と生徒がともに学習を作り上げようとしている。また、生徒自らも校訓を生かした生徒会憲章を制定し、自治活動に取り組んでいる。全校朝読書で始まる静かな朝の営み、縦割りブロック活動による所属意識の高揚とリーダーの育成、部活動における質の高い朝練習の実施や3種目に及ぶ国体に向けての強化指定などは本校の特色である。また、地域も本校教育振興会への協力など応援しており、部活動外部指導者も比較的多い。	校訓「創る」の3つの柱である「考える」「求める」「鍛える」を、それぞれ「学びづくり」:言語による表現力と活用する力を育む授業改善と全校朝読書、「集団づくり」:縦割りブロック活動と全学年参加の合唱コンクール、「心と体づくり」:生徒会憲章の具体的実践による自治活動の推進と部活動の充実ととらえ、家庭や地域から信頼される学校づくりを目指して継続的に実践している。



都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
愛媛県	愛媛県立今治西高等学校	螢雪精神	⑥	本校では、伝統として受け継がれてきた「螢雪精神」を、教育目標やマニフェスト、進路指導における重点指導目標等に取り入れ、その理念を踏まえた学校づくりが行われている。	平成19・20年度愛媛県立高等学校研究(進路指導)の指定を受けた本校では、研究主題を「目指せ、自己実現100%『螢雪精神』をもって切磋琢磨する諸活動を通じて-」として、「総合的な学習の時間を利用した進路指導」「高校生のための金曜特別講座」「螢雪セミナー」など、学ぶ意欲を向上させる取組を行い、自ら課題を定め、努力を重ねてやり遂げることのできる生徒の育成を図った。
愛媛県	愛媛県立みなら特別支援学校	元気なたくましい子 明るくなかのよい子 進んではたらく子	①③	具体的で分かりやすい校訓を掲げ、教育目標には自立した社会生活を営むことのできる生きる力を長期的視野に立って育成しようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日全校の児童生徒が20分程度ランニング中心の体力づくりを行っている。</li> <li>・小中学部において「ふるさと友だちづくり交流活動」で居住地の学校と交流及び共同学習をしたり、全ての部において「ふるさと体験学習」で学校間交流や地域交流を行ったりしている。</li> <li>・高等部の部活動に熱心に取り組み、水泳や器楽管弦楽において全国大会に出場した(平成20年度)。</li> <li>・中学部・高等部において作業学習に熱心に取り組み、校内実習や現場実習を計画的に実施している。</li> </ul>
高知県	高知県立高知小津高等学校	自立 協同 誠実	①	高知小津高等学校は、文武両道の質の高い教育の実現を目指し、伝統ある学校として生徒の可能性を伸ばす取組を進めている。	<p>高等学校教育の目的を実現するために、高い知性と円満な人格と強健な身体の育成を目指し、特に次の3点の達成に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律 自分でよく考え、正しく行動する</li> <li>・協同 互いに心をあわせ、協力する</li> <li>・誠実 己にうちかち、誠でつらぬく</li> </ul>
福岡県	行橋市立稗田小学校	直く、正しく、逞しく	①⑥	○学校教育目標は「心身ともに健全で豊かな心を持ち直く、正しく、逞しく生きる子ども」であり、校訓を学校教育目標に位置づけている。	<p>○研究主題を「豊かな心を持ち、進んで実践する稗田っ子の育成～規範的な行動を促すための道徳の総合単元的な道徳学習の在り方～」とし、校内研究を推進している。</p> <p>○「ろうかはずかに歩こう、学習の準備をしチャイム席をまもろう」など「稗田っ子5つのやくそく」を子どもたちとともに決め、規範意識向上の一環として取り組んでいる。</p> <p>○校区老人クラブとの交流など心に響く体験的な活動を仕組んでいる。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
福岡県	久留米市立 篠山小学校	篠山の子ども四誓願 「清い心・強い体・考える 頭・みんなのために」の 実現をめざす教育を行 う。	①③⑥	<p>今年度、篠山小学校は創立127年目を迎える学校である。校区内には篠山城址があり、旧久留米藩時代、城下町として栄え、現在も城下町としての歴史と伝統を受け継いでいる。卒業生には画家の坂本繁二郎を始め、内外にも名前が知られている音楽家や医師、政治家等多彩な人材を輩出している。篠山小学校には校訓として篠山の子ども四誓願「清い心・強い体・考える頭・みんなのために」があり、それを学校の教育目標として日々の教育活動に真摯に取り組むとともに、四誓願は校歌の歌詞にも唱われ児童に親しまれている。長年の歴史と伝統を重んじ、子ども達の健やかな成長のために校訓を生かした教育活動が受け継がれてきていることを紹介したい。</p>	<p>篠山小学校は篠山子ども四誓願「清い心・強い体・考える頭・みんなのために」の実現を目指した教育活動に真摯に取り組んできている。具体的には、久留米市の教育改革プランに基づき、篠山小の校訓を生かした篠山小学校教育改革プランを作成、実践し、知・徳・体のバランスのとれた子どもの育成に取り組んでいる。特に、全職員による3プランプロジェクトチームを組織し、教師の実践的指導力を高めるための研究等や教育活動の充実に積極的に取り組んでいる。</p> <p>○「確かな学力の定着」・・・校訓「考える頭」の育成 ・長年久留米市の理科センター設置校として久留米市の理科教育の振興に努め、本校の児童は理科好きな子どもが多い。 (毎年、保護者や地域の方を招いての科学の日や秋の野外活動を実施) ・学力向上プランの確実な実施 ・音読集会や歌声集会、学習発表会を実施し、表現力の育成 ・自学学習のマイノートづくり ・チャレンジタイムの実施 ・実践的指導力の育成・・・校内研修の充実(バランスの取れた主題研修と一般研修の推進)</p> <p>○「豊かな心の育成」・・・校訓「清い心・みんなのために」の育成 ・豊かな心育成プランの確実な実施。道徳教育、特別活動の充実 ・マイ・ボランティア活動の実施 ・小さな親切運動(あいさつ、クリーンアップ活動) ・人権尊重の心・規範意識の育成 ・自分の生活を振り返る「ふりかえりタイム」の実施 ・篠山のきまり7カ条の実践 ・縦割り活動の推進</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区合同文化祭の実施</li> <li>・有馬押し太鼓      ・マーチングバンド(久留米水の祭典出場)</li> </ul> <p>○「健やかな体の育成」……校訓「強い体」の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健やかな体育成プランの確実な実施</li> <li>・体力・運動能力結果を昨年度よりポイントをあげる</li> <li>・業間遊び(元気っ子タイム)の実施</li> <li>・食育の推進</li> <li>・校区合同大運動会の実施</li> </ul>
福岡県	岡垣町立岡垣東中学校	探究 剛健 誠実	③	<p>本校は、校訓を生徒自身にしっかりと自覚させるために、「入学式での新入生への呼びかけ」を行っている。また校内掲示を活用して校訓の意味を生徒自身に考えさせるように工夫している。さらに、学校行事と校訓との関わりを意識させる取組を行っていく予定である。</p>	<p>入学式での校長式辞から校訓の説明をはずし、在校生による新入生への「校歌紹介」の前の群読(呼びかけ)において校訓の紹介をさせることとした。このことにより、在校生に対し、より積極的に校訓の意義を考えさせる機会とするとともに新入生に校訓を明確に伝えることができるように工夫した。また、「探究とは何か」「剛健とは何か」「誠実とは何か」という掲示物を正面玄関にかかげ、生徒の自覚を日常的に促している。さらに、今後行われる学校行事においては、たとえば「体育会における探究、剛健、誠実とは何か」という問いかけを行い、校訓の意義を考えさせ、校訓の指し示す具体的なイメージ作りを行っていく予定である。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
福岡県	福岡県立鞍手高等学校	<p>&lt;校訓&gt; 質実剛健・自学自習</p> <p>&lt;校是&gt; たくましく前進者たれ</p>	①③	<p>○校訓・校是を教育目標に位置づけ、学年の段階に応じて具体化している。</p> <p>○年間の学校行事と校訓を関連付け、具体化した校訓を意識させる場を明確にしている。</p>	<p>校訓「質実剛健」校是「たくましく前進者たれ」の実現に向け、以下の取組を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全校生徒を3つに分け、学校行事を分団対抗とする分団制を通して上級生のリーダーシップを生かした生徒会活動や学校行事の運営を行っている。</li> <li>・マラソン大会・寒稽古・耐暑行進・鞍高祭・大運動会等の行事を通して、身体を鍛え、心身ともに強い実践力を育てている。</li> </ul> <p>校訓「自学自習」の実現のため、1年生3時間、2年生4時間、3年生5時間の自主学習を推進している。</p>
佐賀県	上峰町立上峰小学校	<p>校訓 「強く」「正しく」「美しく」</p> <p>学校教育目標 「強く」「正しく」「美しく」の言葉のもと、心身ともにたくましい児童を育てる。(強く…元気に生活できる子、正しく…よく考え学習できる子、美しく…人と共生できる子)</p>	①⑥	<p>平成19、20年度に道徳教育実践研究事業に取り組み、校訓を学校教育目標にも位置付け、実践を行ってきた。学校内の生活だけでなく、異学年との交流や、保育園児、お年寄り、特別支援学校の児童との交流も行うことで、校訓の理念に結び付く児童の変容が確認できたから。また、アンケート等からも児童の道徳性の高まりが確認できたから。</p>	<p>上峰小学校には、学校の校訓に「強く」「正しく」「美しく」という言葉があり、「上峰小学校百周年誌」の題字にもなっている。大半の卒業生がこの言葉を知っているが、その言葉の意味や成り立ちについてはほとんどの卒業生が知らない。</p> <p>そこで、この言葉を学校教育目標に入れることに決め、学校教育目標を保護者や地域へ知らせることにした。その後、「強く」「正しく」「美しく」の言葉の具体的な意味や成り立ちについて調べ、学校だよりで保護者や地域に知らせ、校門(石の門)にこの言葉を掲示した。</p> <p>それにより、保護者や地域の人に、学校にはこれまで受け継がれた素晴らしい教育理念があることを知ってもらうことと、学校をもっと身近なものに感じてもらうようにした。</p> <p>その他、学校の玄関や校長室にも掲示している。また、学校要覧の表紙や学校だよりの題字の上に掲載している。それに、卒業式の式辞の中にこの言葉を引用して、子どもたちにはこの言葉を思い出深いものにしていく。地域への配布用プリントにもできるだけこの言葉を入れるようにしている。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
佐賀県	太良町立大浦中学校	母校に誇りを持ち、郷土を愛し、自他を愛する生徒の育成	③	<p>本校は、多良岳から有明海へ連なる自然豊かな地域である。最近では、竹崎かに、かき焼などで観光客も増え、外部のお客様に接する機会も増えてきた。昨年度、「命の体験学習」に取り組み、地元の多良岳や有明海の生き物をベースに学び合い活動や福祉学習、平和学習などを通して、自分と周りの人々、さらに社会との関わり方について学習してきた。成果として、友達や地域の方々との関わり方など思いやりやコミュニケーション能力などが身につき、来校者などから立ち止まった元気なあいさつや熱心な掃除などへの取り組み等をほめられることも多くなってきた。また、保護者の教育への関心も少しずつ高まり、「ひっきゃで子育て語ろう会」を立ち上げるなど地域の学校として大浦中を育てようという気運が感じられるようになってきている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話を聞く態度及び話し方の指導</li> <li>・生活習慣の基礎となる立ち止まったあいさつや「心の掃除」への学校をあげた取組</li> <li>・生活の基盤をつくる部活動指導の徹底</li> <li>・PTAと連携した「ひっきゃで子育て語ろう会」の取組</li> <li>・ICTを活用した学習意欲の向上のための取組</li> <li>・生徒会を中心とした自主的な活動</li> </ul>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
佐賀県	佐賀県立致遠館中学校・高等学校	<p>cultivate(自己啓発)真理は深く ころ磨かむ</p> <p>create(創造)光豊けくちから鍛えむ</p> <p>challenge(チャレンジ)理想は高く いのち燃やさむ</p>	③④	<p>県立の中高一貫校であり、6年間を通じ校訓を意識した教育活動を実践し、スクールアイデンティティの確立に努めているから。</p>	<p>(1)10月下旬に、中高合同で遠行を実施している。校訓であるchallengeという目標を掲げ、中1・高1は往復18km、中2・高2は往復25kmを歩く中で、心身の鍛錬とともに友人間の親睦を図っている。なお、保護者には道中の安全確認のための立番や冷えたスポーツドリンクの差し入れ等の協力をお願いしている。</p> <p>(2)11月中旬には、SSH(スーパー・サイエンス・ハイスクール)成果発表会を実施している。校訓であるcreateを目標とし、大学教授を招いた科学技術講演会や課題研究ポスター発表会などを実施している。また、普通科人文コースには夏休みに福岡高等裁判所・日本銀行福岡支店・NHK福岡放送局・九州国立博物館を見学する校外研修、理数科には夏休みに崇城大学での一日研修や筑波研究学園都市での2泊3日の研修を実施している。</p> <p>(3)自由と規律のある学校を保つべく、生徒間の協定とも言うべき自主規制を定め本校生徒のクライテリア(CRITERIA)に近づくことを目標にしている。そのため、服装検査などは行わず、生徒達には清潔・端正で本校生としての品位を保つように自覚を求め、校訓であるcultivateを啓発している。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
長崎県	長崎県立佐世保北高等学校・長崎県立佐世保北中学校	自律 積極 友愛	①	<p>本校は、併設型の中高一貫教育校として、平成16年度に新たなスタートを切り、昨年度は前身校からの歴史を加えると100周年を迎えた伝統校である。中学校から入学した6カ年と高校から入学した3カ年の生徒の資質・能力を伸ばさせる教育活動に努めるとともに、互いに融和し相乗効果を高める教育活動を実践し、学校教育目標の中心に校訓を位置づけている。なお、校訓をより身近に感じさせるものが「自己統制力」という言葉である。(1)豊かな心の育成(2)自学力の育成(3)タフな心身の育成の3本柱からなる「自己統制力」という言葉は、校訓の「自律」「積極」「友愛」を集約化したものである。すべての分掌、学年や主な学校行事の目標として位置づけ、より具体的かつ実践的な言葉として、生徒に定着させ、その実現に向けた教育活動に取り組んでいる。日本一の中高一貫教育校となるべく日々生徒、教職員ともに邁進している。</p>	<p>①豊かな心の育成 「総合的な学習の時間」や種々の学校行事・体験活動を通じて徳育の充実を図るとともに「朝の読書」の実施により、自ら考え、主体的に判断・行動できる生徒の育成を目指している。また「見える」自己統制力の数値化を図るべく、各学期ごとに自己評価を実施。生徒自身及び教員の自己目標・指導目標としてより具体的な数値目標の設定を図っている。さらに、生徒指導部により佐北マナーアップに取り組み、規範意識・マナーの向上に努めている。地区PTAの拡大、出前学校説明会(中学校・塾・中学保護者)の実施等を通して家庭や地域との一体化と周知広報を図り、三位一体の生徒育成に努めている。</p> <p>②自学力の育成 教職員全員提案授業の実施や他校、中学校に向けての授業公開を積極的に実施。地域の学力向上のキーステーションとなるべく努め、教師の指導力向上・授業改善の刺激策を図るとともに、生徒自身の学力向上に向けての意欲喚起として「学習と生活の記録」や「ポートフォリオ」を記入させることにより学習規律の確立に努めている。さらに今年度は、「佐北検定」を導入し、生徒の自律的な学習を支援する計画である。</p> <p>③タフな心身の育成 早朝からの生徒によるボランティア校内清掃、体育の授業や部活動における持久走、走り込みによる持久力の強化に努め、タフな心身育成プログラム〈自己統制力プログラム〉を実施。さらに部活動と学習の両立を図るべく考査前のフォローアップ講座・早朝自学の実施。学年ごとの目標設定として標語作成等を通じて「見える」指導体制の確立に努めている。また、心のケアとして教育カウンセラーを配置し教育相談活動や研修を充実させている。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
熊本県	荒尾市立荒尾第一小学校	豊かな心を持ち、学力を備え、体力に富む子どもの育成	①②④⑤	荒尾第一小学校は平成19年度から、児童、保護者、教職員が一体となってプロジェクトチームを作り、学校教育目標の具現化のために、児童会が代表委員会(現在の児童会プロジェクト会議)で策定した「目指す一小像」に迫る取組を継続的に行っている。この取組は、本事例に十分適合するものである。	児童会の「目指す一小像・・・(知育)勉強上手な一小、(徳育)気持ちのよい一小、(体育)元気な一小」に迫るために、児童会、PTA、教職員が(知育)ひらめきプロジェクト、(徳育)ハートきらりプロジェクト、(体育)すくすくプロジェクトに分かれて、一体となって、目標に向かって取り組んでいる。児童会は、各プロジェクトに所属する委員会(各3委員会)が、各プロジェクトの目指す姿に迫る取組をしており、プロジェクト委員会が統括する。PTAのプロジェクトは年間4回実施し、家庭で「目指す一小像」に迫るために、家族で実践項目を選択し、できたかどうかを4段階評価する。アンケート回収率は90%を超えている。教職員のプロジェクトは、各プロジェクト会議が、それぞれの「目指す一小像」に向けた取組をしている。今年度から、学校評価(自己評価)と、プロジェクトの評価、人事評価制度を関連付け、職務行動をPDCAのサイクルで高めるようにした。
熊本県	八代市立第一中学校	一中校訓 一中生徒としての最善最高の自覚と実践 一中教育スローガン「夢実現 学び 高め やり抜く チャレンジー中」 一中生徒会スローガン「Change our school～夢をカタチに～」	①②⑥	長く大切にされてきている校訓を、覚え、なじみやすいスローガンにつくり、一中教育に携わる皆が同じ目標を共有しながら、日々の教育実践が相乗的に行われることをねらっている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年経営案・学級経営案作成の基本目標としての位置付け</li> <li>・学校からの便りに必ず学校目標(スローガン)を盛り込む</li> <li>・全校集会、学年集会での講話に学校目標(スローガン)を盛り込む</li> <li>・校内数カ所に大きな掲示物を設置</li> <li>・職員の週案、生徒の生活ノートに学校目標(スローガン)をシールにして添付</li> <li>・生徒会スローガンを学校目標(スローガン)への具体策として生徒たち自身で設定</li> <li>・PTAや地域の会合時に必ず話題にし、一中教育への協同連携を依頼</li> </ul>



都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
大分県	大分県日田市立咸宜小学校	<p>広瀬淡窓の「咸宜(みなよろし)」「敬天」の教えを基底に            学校教育目標「たくましく ゆたかに 立つ」            実践目標:まわりをきれいに(場を清める)            明るいあいさつ(礼を正す)            静かにきびきび(目的を持つ) きまりある学習姿勢(謙虚に学ぶ)</p>	①③	先人の教え等を校訓として受け継いでいる。それを実践目標として具現化している。	<p>1. 広瀬淡窓の「休道の詩」を全校児童・教職員が、儀式の時に朗唱する。            2. 広瀬淡窓に関する学習を生活科や総合的な学習の時間に取り組み、淡窓の教え(咸宜・敬天・休道の詩・淡窓伊呂波歌など)を学ぶ。6年生は、休道の詩の吟詠(詩吟)を行う。            3. 淡窓伊呂波歌の中から子どもの生活、学習の指針となるものを「淡窓先生ことば」として校内掲示し、紹介する。            4. 教育目標を具現化するため、4つの実践目標を定め、それと連動した「咸宜っ子のちかい」(4項目)を守り、生活・学習することを「自立の心を培う」心の修行ととらえ取り組んでいる。集会・清掃時の無言移動・無言清掃・正座・あいさつ励行・はき物そろえなど。</p>
大分県	大分市立上野ヶ丘中学校	<p>凜として            ・独立自尊 ・協力一            致 ・たゆまずうまず</p>	①③	校訓と先人の生き方をコンセプトにした心の教育の充実に取り組んでいる。	<p>1. 校訓をコンセプトにした学力向上策:プロジェクトRIN(凜)            Raise( overall results )←Improve( teaching standards )←Nurture( students' abilities )            「より高いレベルを」 ←「指導の工夫・改善」 ←「子どもの健全育成」            本校生徒の実態を細かく分析した各教科等における学力向上推進策</p> <p>2. 校訓と先人の生き方をコンセプトにした心の教育の充実:プロジェクトSORIN(宗麟)            See Our RIN(宗麟の探求)            地域の先人である戦国大名「大友宗麟」の生き方から学ぶ地域の文化・伝統学習(道徳、総合学習)</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
大分県	大分県立大分舞鶴高等学校	舞鶴魂「生まれ、がんばれ、ねばれ、おしきれ」生活四原則「飾らない、遅れない、汚さない、負けない」	①	無限精進を教えている舞鶴魂「生まれ、がんばれ、ねばれ、おしきれ」の体得・育成に努めるとともに、家庭・地域社会との連携を図りながら「知性と感性を育て、感動と共感を育む教育」を実践し、進学実績はもとよりスポーツ・文化活動においても顕著な実績を納めていることから。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自主的・積極的な学習態度の育成と学力の充実・向上を図る。</li> <li>2. 自己点検・相互評価と研修を進め、教師の実践的な指導力と学校としての組織的な教育力の向上を図る。</li> <li>3. 規律正しい生活態度の確立と豊かな人間性の育成を図る。</li> <li>4. 健やかで活力を高める自主的・実践的な活動の推進を図る。</li> <li>5. 自己実現を図る進路目標の設定とそれを達成させる進学力をつける指導を充実させる。</li> <li>6. スーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)事業を効率的に推進する。</li> </ol>
宮崎県	日南市立飫肥小学校	共学 実行 礼儀 根性	③④	歴史的文化遺産である飫肥城跡の中の敷地内に立地し、藩校「振徳堂」より創立207年の歴史と伝統をもつ。振徳堂の校風「人の人たる道を修業すること」を受け継ぎ、校訓を「共学 実行 礼儀 根性」として、これまで、郷土の歴史と伝統を継承し、郷土を愛する子どもを育成しているため。	<p>地域の人的・物的・歴史等の特性を生かし、次のような特色ある学校づくりに努めている。</p> <p>○飫肥地区に江戸時代から伝わる盆踊りで県無形文化財に指定されている「泰平踊」の伝承活動を、地域の保存会の方の指導を受けながら43年間行っている。飫肥城下祭りや運動会で披露することにより、児童に地域への愛着や伝統文化への誇りをもたせるのに役立っている。</p> <p>○小村寿太郎侯らを輩出した振徳堂での読書活動を行い、児童の読書への意欲を高めるとともに郷土の偉人や歴史への関心を深めている。</p> <p>○日常の教育においても、あいさつ運動の実施や校門坂での清掃活動といった礼節を重んじる取組を行っている。</p> <p>○校歌の中に「郷土の偉人」という詩が盛り込まれ、体育館にも小村寿太郎侯の肖像画が掲示されており、児童に郷土の偉人や歴史への関心を高めるようにしている。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
宮崎県	小林市立小林小学校	小林の人、自然、ふるさと「ともに生きる教育」	①	各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間を有機的に関連させ、小林のよさ(人、自然、ふるさと)に目を向けさせる教育活動を意識的、計画的に実施している。	本校の児童にとって、郷土小林はかけがえのない「望ましい育ちの場」である。 しかし、児童はこの身近な「人、自然、ふるさと」のよさを意識的に感じながら生活しているとは言えない。そこで、学校教育の中で、小林市の「人、自然、ふるさと」のすばらしさを実感し学べる学習環境作りが必要となる。このようなことから、本校においては、三領域等の時間を有機的に関連させ、それぞれの目標や内容習得達成の過程において、小林のよさに目を向けさせ体感させる教育活動を意図的・計画的に実施しているところである。
宮崎県	都城市立志和池小学校	学校教育目標 「心身ともに健康で、よく学び、正しく判断できる児童の育成」	①④	学校教育目標「心身ともに健康で、よく学び、正しく判断できる児童の育成」の具現化に向けて、地域人材を活用した授業づくり(道徳の時間や体験活動等)や地域との連携を活かした知・徳・体の調和のとれた教育活動の実践(「地域教育システム実践モデル事業」)に取り組んでいる。	○ 「学校教育目標」、「めざす児童像」、「学校の教育的課題と解決の方策」を関連付けた全体構想図の作成及び校長の学校経営ビジョンの明確化 ○ 家庭や地域との連携を活かした教育活動の推進(ノーテレビタイム、あいさつ運動、親子読書運動、早寝・早起き・朝ご飯運動、読み聞かせボランティア、見守り隊、地域教育システム創造実践モデル事業、学校支援地域本部事業、志和池小提撕の会等)

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
宮崎県	高鍋町立高鍋東中学校	自立 敬愛 創造	①②	<p>・本校教育の基調は、「気品と風格のある学校」である。これは江戸時代の藩校「明倫堂」の教えを受け継いできたものである。本校を紹介する理由は、本校は校訓である「自立」、「敬愛」、「創造」を学校経営計画の中心に位置付け、特に、生徒会活動において、自発的・自立的な生徒会活動を実践しているためである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 校訓の精神を目指す生徒会活動</li> <li>・全校専門委員会及び中央委員会、生徒集会などの会の企画、運営</li> <li>・様々な活動週間の企画、準備、運営、評価</li> <li>・学校行事の企画、準備、運営、評価</li> <li>・ボランティア運動の支援(募金運動、奉仕作業)</li> </ul>
宮崎県	日南市立榎原中学校	自然をみつめ 自然と対話し 自然に学ぶ	③	<p>校訓を活かし、自然と一体化し、杜の学校をめざした総合的な学習の時間、道徳の時間、諸行事の取組が計画的に行われているため。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 総合的な学習の時間においては、学校園でさつまいもの栽培と収穫、収穫祭を行い、自然の恵みを体験する学習に取り組んでいる。道徳の時間とも関連させて自然愛を育て、校訓を活かした取組を行っている。</li> <li>○ 学校の敷地内の植物の栽培や教室等での植物の葉などの掲示を通して、生徒が落ち着いて学習できるような学習環境の整備を行っている。</li> <li>○ 校訓を諸行事の計画案の中に位置付け、学校生活全般において校訓を常に意識した取組が行われている。</li> </ul>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
宮崎県	都城市立祝吉中学校	校訓 「気づく・考える・実践する」  学校教育目標 「豊かな心をもち、確かな学力と体力を身に付け、社会の変化に主体的に対応し、自立できる生徒の育成」	①②④	校訓「気づく・考える・実践する」を学校経営ビジョンに位置付け、道徳教育、人権教育、清掃活動、地域連携（地域支援本部、人材バンク等）の充実に努めている。本校は県内で2番目にJRCに加盟し、生徒会活動を中心にボランティア活動に尽力している。（昨年度環境美化教育最優秀校<リサイクル活動部門>に選ばれた。）	○ 「校訓」、「学校教育目標」、「めざす生徒像」、「本年度の重点目標」等を関連付けた全体構想図の作成及び校長の学校経営ビジョンの明確化 ○ 道徳教育の主題研修の実施（全職員による研究授業の実施、他の教育活動との関連を活かした指導の充実） ○ 生徒活動の充実（生徒会を中心としたあいさつ運動、三心清掃、人権の花等の取組、各種ボランティア活動への参加） ○ 地域と連携を図った教育活動の推進（学習支援地域本部や人材バンクの設置・活用、学校運営協議会を中心とした開かれた学校づくり等）
宮崎県	日向市立富島中学校	学校目標 「夢のある 力のある 心のある 富島中学校」  生徒会年間スローガン 「真の日本一」	①②③④	日向市立富島中学校は、以前、生徒指導上数々の困難を抱える学校であった。4年前から、学校目標を全職員と全生徒が共有化し、その実現に向けてチームをつくり、組織的に学校活動に取り組んできた。その結果、生徒指導上の問題が減少し、学校が活性化されてきている。 ○富島中学校は、全職員と全生徒が、学校目標と生徒会年間スローガンを誇りをもって口ずさむことができる学校である。	○あらゆる教育活動を学校目標の「夢」「力」「心」の視点に沿って整理し、校務・学年・教科 ごとに必要なチームを設置して、チームで目標の実現や課題解決にあたっている。 ○生徒会の年間スローガンも学校目標と関連しており、生徒会に係る活動についても「夢」「力」「心」の視点に沿って整理し、チーム(委員会)で目標の実現や課題解決にあたっている。 ※「何のために」という目指すべきビジョンが共有化されているため、すべての教育活動が意味をもってつながっている。また、取組の過程で、新しい試みが生まれるという効果もあがっている。具体的には、2年間の話し合いを経て生まれた生徒会企画によるペットボトルのキャップ回収活動や地域の方を巻き込んで行う清掃活動等がある。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
鹿児島県	鹿児島市立山下小学校	負けるな うそを言うな 弱い者をいじめるな	①③④	かつて鹿児島には「郷中教育」という独特の教育システムがあったが、その郷中教育の伝統を学校経営に生かそうと、「負けるな、うそを言うな、弱い者をいじめるな」の郷中教育の三訓を校訓に掲げ、教育活動に取り組んでいる。	1 学校教育目標との関連 「心豊かで、たくましく、生きる力を備えた山下の子」を学校教育目標に掲げ校訓の具現化に努めている。 2 特色ある教育活動の推進 本校は日常的な活動の中で、朝のボランティア活動である自主清掃で奉仕の精神を涵養し、うずまき運動では、自らめあてを決め進んで取り組む中で、体力・気力の向上を図っている。また、学校行事の中では、日曜城山登山競走や妙円寺遠行など、学校が地域や保護者と一体となった行事の推進に取り組んでいる。さらに、平田鞆負の功績を偲んで行われる、薩摩義士記念相撲・綱引き大会など、地域の特色や偉人の功績を生かした伝統行事の継承にも取り組んでいる。また、本校では、様々な活動に郷中教育の理念の一つである、異年齢集団による活動を取り入れており、清掃活動や地域あいご会活動でも縦割り集団(異年齢集団)で取り組んでいる。
鹿児島県	南九州市立九玉小学校	「九玉魂」 強く…最後までよく考え、ねばり強く行動できる子ども 明るく…礼儀正しく親切で、思いやりのある子ども たくましく…心身共に健康で、たくましい元気な子ども	①③④	地域に受け継がれている「九玉魂」を学校教育目標に明確に位置付け、具体的に「九玉の十訓」を設定し、「確かな学力」・「豊かな心」・「たくましい体」の調和の取れた人間性豊かな児童の育成に努めている。	(1)「九玉の十訓」の中から4つを選び、ひまわり運動(ひまわり運動にやさしく、ま・まいにちあいさつがんばるひまわりっこ、わ・わくわくするよ勉強大好きひまわりっこ、り・りっぱにさいごまでやりぬくひまわりっこ)として、人権教育の礎としている。 (2)「九玉の十訓」を卒業式等の学校行事において、子どもに自信を身に付けさせるための「励ましの言葉」として活用している。 (3)「九玉の十訓」を基に、「あい」(伝え合い、認め合い、響き合い…)を大切に学習過程を充実させるなど、一人一人のよさを認め生かす学習指導法を研究実践している。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
鹿児島県	南さつま市立長屋小学校	なかよく かしこく ねばりづよく	④	長屋まっくろ塾(地域塾)と連携した自然体験活動を通して、校訓にある徳・知・体の調和のとれた児童の育成に努めている。 学校と地域が教育目標を共通理解し、学校・家庭・地域が一体となって健全な児童生徒の育成に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「長屋まっくろ塾」の組織(平成10年に児童、教職員、保護者、地域の有志での組織結成)</li> <li>○ 地域の有志を指導者とした様々な自然体験活動等の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ブルーベリーの栽培</li> <li>・長屋山登山</li> <li>・炭焼き体験</li> <li>・もち米の栽培・収穫、餅つき体験</li> <li>・いろはカルタ大会(日新公いろはうた)</li> </ul> </li> </ul>
鹿児島県	長島町立平尾中学校	「前進」:自ら学ぶ心豊かな生徒「ジャガイモ精神」	③	郷土特産のジャガイモを校訓の「前進」と関連させ、それを合い言葉に様々な活動に取り組んでいる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「ジャガイモ」という言葉のそれぞれを頭文字にした「目指す生徒像」を設定している。 「ジャ」ジャンボな心。広い心、豊かな心をもつ生徒。「ガ」頑丈な身体。強くたくましい身体をもつ生徒。「イ」生き生きと学習。自ら進んで学ぶ生徒。「モ」目標ある生活。目標に向けて粘り強く頑張る生徒。</li> <li>2 ジャガイモの栽培を通して土に親しみ、労働の厳しさと喜びを体験している。</li> <li>3 ジャガイモの栽培を通して、手伝うことの大切さや郷土を大切にする心が培われている。</li> <li>4 平成16・17年に文部科学省「食育推進」委託事業の指定地域を受け、作ることと食べることに関連から食育の大切さを学習している。</li> </ol>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
鹿児島県	錦江町立田代中学校	「自主」「向学」「協調」「錬磨」	①⑤	校訓の4項目の向上を図るために、それを意識した特色ある教育活動を行っている。また、このことが学校評価の項目策定にも生かされ、PDCAサイクルによる教育活動改善につながるよう工夫されている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 ノーチャイムの学校(自主)…時計を見ながら、時間を意識して行動</li> <li>2 早朝ランニングによる体力・気力づくりの学校(錬磨)…生徒会保体部を中心に7:35～7:55に実施</li> <li>3 授業開始2分前の黙想(自主・向学)…生徒会学芸部を中心に実施</li> <li>4 校訓を細かく分析した「目指す生徒像」の作成と評価(自主・向学・協調・錬磨)…学校評価と同じ時期に、生徒の自己評価、保護者の評価、教師の評価も実施</li> </ul>
鹿児島県	知名町立田皆中学校	<p>「拓魂」つなごう拓魂・知恵の輝き・心の輝き・汗の輝き</p> <p>(1)自分の能力を自ら開拓し、強く、正しく、生き抜く魂を培う。</p> <p>(2)教師と生徒が信愛し、心と心が響き合う豊かな魂の教育を行う。</p>	⑥	田皆中学校は、溜池を埋め立てた跡地に創立された学校である。生徒たちに先人の活動の知恵や先人が荒地を切り開いてきたたくましさを伝えたり、島唄・島口や三味線・ヤッコ踊りなどの伝統文化を諸教育活動に取り入れたりして人間力を培う教育を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「知恵の輝き」</li> <li>①基礎・基本の定着を図る家庭学習(教師全員による家庭学習の見届け)</li> <li>②少人数指導による細やかな見届け</li> <li>○「心の輝き」</li> <li>①清掃活動などの校内ボランティア活動の充実</li> <li>②青少年赤十字への加盟</li> <li>③地域の美化活動(空き缶拾い、カーブミラーの清掃、通学路の清掃)</li> <li>④独居老人とのふれあい活動</li> <li>○「汗の輝き」</li> <li>①食農教育の充実(種まきから収穫までのジャガイモや夏野菜の栽培活動、一日遠足の生徒手作り弁当、親子調理教室)</li> <li>②生徒自身が校内の草花の世話をする学校緑化活動</li> </ul>



都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
鹿児島県	鹿児島郡三島村立大里小・中学校	あしたは青空 元気大里 - みんなでひらく夢の里 -	①③④⑤	<p>特5級の離島・へき地にある極小規模の小・中併設校ながら、これまでの学校教育目標等を見直し、平成19年度に設定した校訓を、児童生徒も教職員のみならず、保護者や地域住民が自分のこととしてとらえている。特に、「15歳で島を巣立つ子どもたちに自信を持たせる元気大里の創造」をめざして、全校俳句「大里俳句の旅」を中心にした学力向上策や児童生徒の主体性を育む様々な実践を展開している。教育環境及び諸条件が過酷な離島にあっても、「負けてたまるか。絶対にあきらめない。」という気力や粘りのある実践を積み上げており、地域住民の支援や見守りも年々高揚してきている。島の子どもとともに、しおかぜ留学生として全国各地から転入生4名も切磋琢磨しながら自己実現に向けた自分育てに精を出している。</p>	<p>極小規模の離島・へき地における夢の里づくりへのアプローチ            - 学校と地域が一体となった俳句・花いっぱい・ふるさと学習等の推進 -            薩摩半島から南西約50kmの黒島にある小・中併設校である大里小・中学校では、地域と一体となって「あしたは青空 元気大里 - みんなでひらく夢の里 -」を合言葉に、俳句を中心にした表現活動や花いっぱい運動・無形文化財である郷土形能の保存伝承活動等のふるさと学習・元特攻兵との平和交流活動等を展開している。また、これらの活動は高齢者率の高い地区にあって、高齢者の生きがいや活力ある村づくり・世代間交流の促進にもつながっている。</p>
鹿児島県	鹿児島県立川辺高等学校	校訓「自律 端正 積極 公德」	①④⑥	<p>1 「学校要覧」の教育目標に、知・徳・体の調和のとれた…社会に有為な人材を育成 することを掲げ、校訓を教育目標が達成された川辺高校生の姿と位置づけている。            2 「学校要覧」の校章の由来に、知・徳・体の偏りのない感性を目指すとする。            3 生徒に配布する「高校生活ハンドブック」の冒頭に「教育目標」「校訓」について記載してある。</p>	<p>1 年度当初「高校生活ハンドブック」を配布し、校訓の周知を図っている。            2 多くの生徒がボランティア活動に参加していて、地域住民の期待は大きく、また高い評価を得ている。            ①2月 川辺二日市            ②5月 南薩養護学校運動会の手伝い            ③7月 川辺祇園祭            ④11月 川辺磨崖仏マラソン            ⑤家庭クラブ 年数回老人ホームを慰問            ⑥音楽部(吹奏楽部)が病院、老人ホーム、地域の運動会等でコンサートを開く            ⑦川辺図書館主催の「親子読書会」での読み聞かせ活動 生徒有志が年数回参加            3 校内外でのあいさつが清々しい。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
沖縄県	浦添市立仲西小学校	学校指標 「伝統と創造」 学校教育目標 「豊かな心と確かな学力で、たくましく生きる子どもの育成」	①⑤	◎ 学校指標をもとに学校教育目標が具現化され、教育計画・学校HP等でも、学校評価の数値を公開し、常にその達成状況を意識する取組がなされている。	①生きる力をはぐくむため、「仲西っ子輝きプラン」(学力向上対策推進計画)に基づき、確かな学力などを身につけさせる取組の推進 ②保護者・地域に信頼される学校づくりのために、学校の「公約・公開」と保護者等による学校評価、学校関係者評価の取組の推進 ③「わかる授業」づくりや国語の基礎的な力を育むために、校内研修等の取組の推進 ④保護者や地域、関係機関や団体と連携して、不登校の課題を改善する取組の推進
沖縄県	与那原町立与那原中学校	「勤勉・立志・自主」そのめざすものは、志を高く掲げ夢と希望を持ち、目標達成に向かって自らを高め鍛える生徒 ①明るく礼儀正しくあいさつを交わし、積極的に自分を高める生徒 ②お互いに信頼し助け合い、やさしく他を思いやる生徒 ③学習に真剣に取り組み、自分のよさを発揮し学び続ける生徒 ④心身ともに逞しく、澁刺と行動する生徒	①	与那原中学校は長年「立志の教育」を校訓として学校経営に取り組んでいる。伝統は、生徒、教師、保護者、地域の方々に理解されており、教育活動の指針となっている。取組の成果として前年度は、毎朝の清掃活動による退職校長会主催の善行賞を野球部が受賞したり、全国学力学習状況調査の好成績等の結果に表れた。校訓を学校教育目標に関連づけ、学校経営に活かした素晴らしい取組として紹介したい。	校訓を具現化するために6つの挑戦を掲げている。 1 基礎学力の向上：公開授業の実施、英数でのTT、家庭学習ノートの作成等 2 基本的な生活習慣の確立：生活実態調査の実施、あいさつ運動、教育相談の実施等 3 進路指導の充実・キャリア教育の推進：職場体験学習や講演会の実施等 4 生徒会・部活動等の自主活動の充実：全職員に在る部活動支援、各学級が「挑戦」を掲げ団結して取り組む等 5 特熱支援教育の取組を推進：個に応じた指導、コーディネーターを中心とした校内委員会の充実等 6 学校・家庭・地域社会との連携強化：1人1協力運動、学校メーリングサービス等

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
札幌市	札幌市立有明小学校	<p>「いい顔いっぱい 有明小学校」          ～地域を活かし、確かな力と豊かな心をもつ子どもの育成～          学校教育目標          [教師のためて]          ・心身共に健康でたくましい子供          ・自然を愛し、情操豊かな明るい子供          ・創造性に富み、進んで学ぶ子供          ・お互いを認め合い、仲良く協力しあえる子供</p> <p>[子どものためて]          ・ねばり強く たくましい子(体)          ・明るく すなおな子(徳)          ・よく考え 進んで学ぶ子(知)          ・仲よく 助け合う子(情)</p>	①③④	<p>本校は、保護者や地域の人々に支えられ開校99年目を迎えるが、昭和52年に札幌市の特認入学指定校となり、特色ある教育活動の推進や創意ある教育活動を実践しており、多くの学校視察や学校見学を受け入れ、市内各区より児童が登校しており、注目される学校となっている。入学希望者は定員を上回り、ここ数年間は抽選によって入学者を決定している。これは「特色ある教育活動の推進」と「全職員で子どもを育てようとする強い意志の持続と実践」が高く評価されている結果と考えられる。</p>	<p>・「毎日、いい顔で登校し、いい顔で下校する子どもたちは自立と共生ができる子たちである」という理念のもとで「地域を活かし、確かな力と豊かな心をもつ子どもの育成」との重点目標を設定している。</p> <p>・ほかの学校にはない学校行事や特色のある教育活動が展開される本校では、活動の量と質のバランスを検討してきた結果、2期4節の教育課程を編成し、体育、徳育、知育の調和を保つため以下の6項目の具体化を図っている。</p> <p>①地域の自然を活かした体力づくりや体育活動に工夫を加えた実践をする。(体)          ②栽培活動(アカゲラタイム)を工夫し、食育の重要性を学ぶ。(体)          ③全校器楽の充実を図り、情操豊かな心をはぐくむ。(徳)          ④全校活動によるふれあいを通して、思いやりのある心をはぐくむ。(徳)          ⑤道徳の時間を充実させ道徳的意識を高め、道徳的実践力を身に付ける。(徳)          ⑥学び合いが生まれる学習集団を育成し、自力解決力や人間力をはぐくむ。(知)</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
札幌市	札幌市立向陵中学校	<p>自主独立 明朗潤達</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら知識を磨き、すすんで創造する力を養う（高い知性）</li> <li>・自然や人間の美しさを愛し、情操を豊かにする（豊かな感性）</li> <li>・強い意志を持ち、節度ある行動をする（強い意志）</li> <li>・体を鍛え、明朗で健康な心身を養う（逞しい心身）</li> <li>・自主独立の気風を養い、社会連帯の精神を身につける（健全な社会性）</li> </ul>	①②③④	<p>・本校は昭和23年に設置され、校名「向陵」は、学校が手稲連峰から藻岩山の陵に向っていることから、生徒がその陵を上がり続け夢や希望を実現すべく努力することを願って定められたものであり、本校は、開校以来、校訓をよりどころとして、生徒が自分の力と自分の意志で、自分の責任において物事を成していくこと、また、明るく朗らかで広い心を育てることができるよう長年にわたって教育活動の充実に努めてきた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校研究について、昭和47年から「学ぶ側に立つ教育の実践」を主題とし、生徒一人一人の個性を生かし、高め合いながら自己実現できる力の育成を目指した取組を進めている。</li> <li>・校区内の小学生と保護者を対象とした中学校体験会を実施するなどして、生徒が生活環境の変化や学習環境の変化に適応できるような取組の工夫を行っている。</li> <li>・総合的な学習の時間において、人とのかかわりを全校におけるテーマとし、1学年で「外国人とのかかわり」、2学年「職業人とのかかわり」、3学年「子どもとのかかわり」に取り組み、併せて系統的な進路学習を進めることにより、生徒が将来の生き方を考え、自らの進路を主体的に選択していく力の育成を図っている。</li> <li>・数学能力検定や文章能力検定、英語検定等の各種資格検定、各コンクールへの参加を積極的に奨励し、学ぶ力や学ぼうとする意欲・態度の育成を図っている。</li> <li>・生徒会活動においては、生徒の自治意識の高揚を図る指導の工夫をするとともに、ボランティア活動を重視した取組を推進している。中央区が主催する子育てボランティア事業「スノーフェスティバル」に100名程度の生徒が参加し、就学前の地域の子どもたちとの雪遊びを通じた交流を行ったり、いじめ防止活動、特別支援交流活動などに取り組んだりしている。</li> <li>・平成21年度の入学式において、学校長と生徒会長の挨拶では校訓が触れられており、校訓を大切にしてきた伝統ある校風が感じられ、大変印象的であった。</li> </ul>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
札幌市	北海道札幌旭丘高等学校	道しるべ「この坂 越えん」 学校教育目標 1 高い志をもち、自ら真理を探究する人間の育成 2 進取積極的に自ら社会に貢献する人間の育成 3 文化の創造と発展に寄与する人間の育成 4 逞しく生きるための体力と豊かな人格の育成	①③⑥	本校は、平成10年、開校40周年を機に、生徒と教職員に共通な「日常生活の指針」、「人生の精神的な支柱」となるようにという想いを込めて、学校教育目標の理念を象徴的に表したものである「道しるべ」を制定した。校訓にある「この坂 越えん」というフレーズは、本校の象徴である「坂」をキーワードとし、目の前の、そして大きな人生の目標に向かって、聡明な工夫を凝らし、懸命な努力によって、一步一步堅実に実践を重ねていくという、本校が目指す高校生活を象徴する言葉であり、卒業後も永く心に生き続けるものとなっている。	・本校は単位制をとっており、その利点を活かし、自ら真理を探究する人間となるため、シラバスを基に、自らの興味・関心や進路希望に応じて多様な選択科目の中から最もふさわしい科目を選択させ、各自の時間割を編成している。 ・自ら文化を創造したり、自ら社会に貢献する人間となるため、総合的な学習の時間(サンライズタイム)を中心に、自分自身を発見し、将来の生き方や進路について考える学習である、進路探究学習プログラムを実施している。その中心が、ゼミナール「LIFE」の取組であり、グループによるゼミ活動を経て、生徒全員が、自らの研究テーマに基づく課題研究をまとめあげている。
さいたま市	さいたま市立岸中学校	気品の岸 美の学園	③④	校訓を前面に押し出し、本校独自の特色ある教育活動を展開している。	校訓に「気品の岸 美の学園」を掲げ、様々な教育活動に取り組んでいる。例えば、 ・入学式では「ハレルヤ」の合唱で、新入生を迎え入れ、卒業式では「ハレルヤ」の合唱で卒業生を送り出す。 ・カナダ・リッチモンド市との国際交流事業を実施している。(隔年で、訪問、受け入れ) ・「岸中フェア」と称した学校公開を積極的に実施している。 ・二十歳になった卒業生が母校に集う「立志の塔開扉の集い」を毎年、成人の日実施している。
千葉市	千葉市立緑町小学校	夢とこころざしをもち、社会に役立つ人になろう ー 自立と社会貢献できる子どもの育成 ー	③④	学校教育目標の中に、「自立」と「社会貢献」が入り、主体的に社会の形成に参画する態度の育成が盛り込まれている。	社会に貢献する子どもを育成するために、地域のゴミ拾いの活動を計画的に行ったり、地域の歴史を学習したりし、地域社会の一員として何ができるか絶えず学習している。 主な教育活動を、表現力・感性を豊かにする活動、自主的・主体的学習を促す活動、人間的ふれ合い・思いやりの心を育む活動、能力を伸ばし夢を育む活動、保護者・地域との連携による活動、健康安全・体力づくりの充実の6項目に区分し、具体的に教育活動に取り組んでいる。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
千葉県	千葉市立葛城中学校	「和敬協力」「日日新」	①	開校以来変わらぬ校訓を掲げ、全教職員が一致協力して学校づくりに取り組んでいる。	<p>今日的な教育課題と将来への展望をもち、「和敬協力」「日日新」を教育信条として、全教職員が一致協力して、教育活動の実践に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人を尊重した教育実践</li> <li>・「つかむ」「やる」「できる」「わかる」の実践・評価</li> <li>・生涯学習の基礎づくり、キャリア教育の推進</li> <li>・国際理解教育・人権尊重教育・特別支援教育を加味した教育実践</li> <li>・学校・家庭・地域社会との連携・協力</li> </ul>
千葉県	千葉市立打瀬中学校	めざす生徒像「信頼・敬愛」「自主・創造」「鍛錬・陶冶」 校歌に「信頼・敬愛」「自主・創造」「鍛錬・陶冶」がある。 校章に三つのラインは「信頼・敬愛」「自主・創造」「鍛錬・陶冶」を表す。	①②	学校は、幕張メッセの中の住宅地にあり、校舎は三角やドーム型の屋根をもち、壁はガラスが多く使われているなど、新時代にふさわしい都市型の学校である。めざす生徒像を「信頼・敬愛」「自主・創造」「鍛錬・陶冶」とし、学校での教科学習をホームルーム中心から大学のように教科教室型(教科センター方式)とし、生徒の自主性を重視した教育活動に取り組んでいる。	<p>「信頼・敬愛」「自主・創造」「鍛錬・陶冶」をめざす生徒像に掲げ、授業は、大学のように教科ごとに専門の教室で授業を行う「教科センター方式」が取り入れられ、各ブロックにはオープンスペース、教科教室、研究室が設けられている。教員は、生徒や保護者・地域の期待に応えるために、常に生徒の学習状況をとらえ、授業改善に努めている。</p> <p>生徒はロッカーのあるホームベースを基本に、毎時間、教室を移動している。そして、学校生活では、生徒のマナーや自主性を大切にし、校則がなく制服を制定していないなど、生徒自身がよく考え判断できるような環境を整え、めざす生徒像の実現にむけ取り組んでいる。</p>
横浜市	横浜市浅間台小学校	「大地からたくましく育つ浅間台の子」  学校教育目標 ○自らの判断で行動できる力「自立」 ○互いの個性を認め合い、よりよい活動を構成しようとする力「学び合い」 ○共に学び合うことを通して自己を見つめ、自己実現を図っていこうとする力「共生」	⑤	浅間台小学校は、学校版マニフェスト(中期学校運営計画)に、「三耕教育」実現のための取組を明記し、学校の自己成長する機能として、学校評価を学校づくりのツールとして活用し、様々な角度からPDCAサイクルを構築しているため。	学校教育目標と学校独自の栽培活動とを関連させた「新三耕教育(地耕、知耕、路耕)」は、児童、保護者、地域、教職員にわかりやすい形で示されている。地耕(①土を耕し、土から学ぶ。②体をきたえ心をたがやす)知耕(①学びの習慣を身に付け、進んで学ぶ。②コミュニケーションを深め、学ぶ喜びを分かち合う。)路耕(①生き方の基本を身に付ける。②生き方に学び、生き方を学ぶ。)という6つの指導の重点を表し、全ての教育活動を関連付け、児童の資質・能力の育成を目指している。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
横浜市	横浜市 西柴中学校	学校教育目標 (1)自らのよさや可能性をひろげ、広い視野をもち、学び続けようとする人を育てます。(知・開) (2)互いを認め合い、高め合いながら、よりよい社会をつくろうとする人を育てます。(徳・公) (3)自ら健やかな心と体をはぐくみ、生命を尊重する人を育てます。(体)	⑤	西柴中学校は、これまでの学校の思い(地域に開かれた学校、自由服の学校、人権・福祉の学校)を継承・発展するために、学校版マニフェスト(中期学校運営計画)に、学校としての熱き思い「あいさつ・けじめ・チームワーク」を大切にしたい夢のある学校づくりへの内容を盛り込み、学校経営と学校評価を連動させているため。	元気な挨拶のある学校、けじめのある学校、連携・協働、生き抜く力の育成を一層充実させる西柴中学校の教育活動は、学校評価と連動している。20年度の改善への取組内容としては、次の4点から具体的に改善を図った。 ○学校の活動や授業を、地域、保護者の多くの方に参観いただけるように工夫する ○授業研究を進め、わかる魅力ある授業を展開する ○総合的な学習の時間の内容について3年間を見通した計画を立て、キャリア教育の充実を図る ○年間学校行事予定表を定期的に配付する
川崎市	川崎市立東橋中学校	「日本一の学校を目指して」 (1)自主的に学び、真理の追究をめざす人間の育成(知) (2)自他を共に尊重し、自立の精神に基づく責任ある行動のできる生徒の育成(徳) (3)明朗で健康な生活を営むことのできる人間の育成(体)	①②③④	創立41年目の東橋中学校は、「日本一の学校を目指して」を合い言葉に、生徒・保護者・地域が一丸となって学校を創ってきています。東関東大会金賞受賞の吹奏楽部や川崎市男女総合優勝の陸上部、広島訪問を中心にした平和学習の発表、コミュニティ・スクールの取組など、「地域で学ぶ」「地域に学ぶ」「地域に愛される」学校を目指しています。	*「平和教育」「キャリア教育」の充実 *生徒活動(学級活動・生徒会・委員会)の活性化 *部活動の振興 *教育相談・学習相談の充実 *小中連携学校運営の充実 *コミュニティ・スクールの取組

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
新潟市	新潟市立豊照小学校	豊かな心で未来を照らす(校名の2文字が刻まれた校訓であり、多くの同窓生が誇りと感じている)	①	136年という新潟市でもっとも歴史ある学校であり、県下初の民間人校長が赴任した「伝統ある新しい学校」である。 学校教育目標を具現化するため、校訓「豊かな心で未来を照らす」の理念を目標系列に関連付け、継続的に実践している。	1 校訓の理念と学校教育目標とを明確に関連付け、学校経営に活かしている点 (1)豊かな心を育成するため、学校教育目標に「明るく思いやりのある子ども」を掲げ、相手の気持ちを思いやって行動しようとする子どもの育成を目指し、年間を通して教育活動全般で実践している。 (2)自分の将来について明確な目標が持てるよう、学校教育目標に「よく考え進んで取り組む子ども」を掲げ、よく考え自分の言葉や態度で表現できる子どもの育成を目指し、年間を通して教育活動全般で実践している。
静岡市	静岡市立清水小学校	<学校教育目標> 「よい日本人となるために みんなで学びきたえよう」 ～授業で子どもと保護者に信頼される学校～	①③④⑤	清水区の中心的な小学校で、学校は大変落ち着いており、子どもたちの授業や行事に対する取組もすばらしい。また、保護者も学校に対し大変協力的である。	<信頼される学校・職員> ・子どもの安全を最優先する。 ・個人情報管理の徹底を図る。 ・子ども、保護者、地域に伝わったかという視点をもって行動する。 <組織的・機動的な学校運営> ・「学校評価システム」による教育計画の見届けと改善を通して学校力、教師力を高める。 ・「学校経営構想シート」「自己目標シート」を活用し、学校経営方針と職員個々の課題を結ぶ。
静岡市	静岡市立蒲原中学校	自発・・・正しい判断と強い意志を持って自己実現に向かって積極的に活動する生徒 責任・・・自己の役割を自覚し、自分の行動に責任を持つ生徒 友愛・・・相手の人格を尊重し、相手の立場になって考える思いやりのある生徒	①②③	校訓を受け、重点目標を「鍛えよう、認め合おう、ともに高まろう」とし、重点目標実現のための具体的な実践目標を教員と生徒会がともに「蒲原中2009プラン」として設定しているため。	<蒲原中2009プランの内容> ①目標に挑戦 ②きちんとした身なり ③時間を守る ④美しくさわやかなあいさつ ⑤校内に響き渡る歌声 ⑥学習3つの観点 ⑦思いやりのある言動 ⑧広がるボランティア ⑨進んで役割を果たす ⑩少ない遅刻者 ⑪給食を残さず食べる ⑫きれいな環境 ⑬魅力ある授業 ⑭学社融合の積極的推進 <5+1の本気>・・・平成20年度は、生徒が上記①④⑤⑧⑫の5つを重点として設定し、それらを本気100%で取り組むという意味で5+1(本気)という合い言葉として活動した。



都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
浜松市	浜松市立光明小学校	『試す人になろう』	①④⑤	<p>「試す人になれ」は、開校百周年を記念して、本校先輩本田宗一郎氏から送られた言葉である。「試す人」とは自ら課題をもち、進んで調べ解決する人であり、失敗を恐れず、夢に向かって挑戦する人である。世の中に必要のない人間はいない。何事も一人では成し遂げられない。だから、他の人を大切にし、自分をあきらめられない人に成長してほしいと願うのである。この理念を学校教育の中心に据え学校教育を行っている。</p>	<p>校訓「試す人になろう」は平成12年度から学校教育目標としていたものを、光明小学校にとって今後とも永遠に残す言葉と考え平成20年度2学期から校訓とした。</p> <p>①校訓碑の設置 PTAや地域住人の理解を得て資源回収やバザーの収益金を活用しPTA役員の了承を得て設置した。「試す人になろう」の文字は5・6年生から募集し6年生の石井真由さんの文字を採用した。この校訓碑は、子どもたちが登校して来るさざんか通りの横にあり子どもたちは常にこの言葉を意識して登校している。また、この校訓碑の内部には、卒業生が自分の夢や希望を記した作文や絵画などを保存し二十歳の成人式に解錠するタイムカプセルにもなっている。</p> <p>②本田宗一郎資料室 本校校舎内に本田宗一郎資料室が設置されている。「世界のホンダ」への挑戦の足跡が見て取れる。地域住民はもとより、地元中学生や関東方面や関西方面からの参観者が多い。子どもたちもこの資料室を時々訪れては自分の夢に向かって挑戦する気持ちを新たにしている。</p> <p>③校長講話 入学式・卒業式・朝会などで「試す人になろう」の校訓について紹介する機会を多くした。『必要のない人はいない、何事も一人では成し遂げられない。だから、他の人を大切にし、仲間を信じ、自分を大切にする人になろう。そして失敗を恐れず夢に向かって挑戦する人になろう。』と訴えた。子どもたちは、この校訓が分かりやすくそして覚えやすいため大好きで、運動や勉強などの自分の夢に向かって挑戦する子どもが増えている。</p> <p>④二分の一成人式 十歳になった4年生は、子どもから少年・青年へと成長するころとなる。この時期に自分を振り返り自分の可能性を信じ、夢や目標に向かって挑戦する「試す人になろう」の思いを新たにしている。</p> <p>⑤学校評価に生かす 『学校は、試す人になろうを目標とした教育を進めているか』の問いに多数の保護者が理解を示している。</p> <p>⑥総合的な学習の時間で本田宗一郎さんの業績について調べる 本校の先輩である本田宗一郎さんについて総合の時間に小学校時代のエピソードや物作りにかかる情熱について学んだ。</p> <p>⑦本田宗一郎集会(ドリームフェスタ) 本田宗一郎さんが小学生時代に興味を持った飛行機を自転車に乗って旧浜松まで見に出かけたエピソードを見童会役員が劇にして発表したため全校児童が本田さんの生い立ちや情熱について理解が深まった。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
浜松市	浜松市立江西中学校	「礼儀」「責任」「努力」	④	校訓「礼儀」「責任」「努力」のもとに、「地域が中学生を育てる」というねらいから、中学生(全校生徒)が訓練の主役となって地域住民の一員としての自覚と責任を持ち、積極的に地域連携総合防災訓練に参加している。	平成20年12月7日に江西地区自治会連合会主催で、江西中学校を会場にして地域連携総合防災訓練が行われた。参加者数は江西中生徒、高校生、校区10自治会員、江西婦人防災クラブ、江西中PTA、浜松南消防署、消防12分団、浜松市防災対策課他 約750名が11の訓練内容(①炊き出し②仮設トイレ設置③テント設営・避難所受付④普通救命講習⑤応急処置講習⑥可搬ポンプ⑦バケツリレー⑧消火器消火⑨スモークハウス⑩救助袋訓練⑪情報伝達訓練)を実施した。
名古屋市	名古屋市立那古野小学校	学校教育目標…自他の生命を大切に、豊かな心と真理を求めて、自己実現の喜びを味わおうと努力する子 学校努力点…自分の思いを表現できるなごのっ子 ~あいさつに思いや気持ちをこめて~	①③④⑤	学校教育目標や学校努力点を核に那古野教育プランを策定し、学校評価と関連付けながら、地域とも連携し、特色ある学校経営に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校の願い、子どもの願い、保護者の願い、地域の願いを基に那古野教育プランを策定し、学校評価を実施</li> <li>・ 学校努力点では、「あいさつに結び付く心の育成」「かかわり方のトレーニング」「児童の実態把握」を重点指導</li> <li>・ 「なごのっ子を守る会」などの活動を通した、地域を愛する子どもの育成</li> </ul>
名古屋市	名古屋市立昭和橋中学校	教育目標ー時代の流れや社会の変化に対応できる、心身ともに健全な知・徳・体の調和の取れた人間性豊かな生徒を育成する。 ○ 進んで学ぶ態度と創造力を育成する。(自主創造) ○ 望ましい人間関係の育成を図る。(和と協力) ○ たくましい心と体を育成する。(心と体)	③⑤	学校教育目標を踏まえた目指す生徒像を教職員が共通理解し、その生徒像にせまるために学校評価を活かしながら、「特別活動」「各教科」「生徒指導」「総合的な学習の時間」「道徳」で重点的に取り組まれている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目指す生徒像…「確かな学力」を身に付け、他者と協力してよりよく生きる生徒の育成</li> <li>ー「ともに高め合う」活動を通してー</li> <li>・ 学びタイムを全学年で実施し、学力の補充</li> <li>・ 学校オープンデーの実施</li> <li>・ 健康・保健集会の実施</li> <li>・ 昭和橋中ブロックの地域フォーラム(家庭・地域・学校による子ども健全育成フォーラム)の開催</li> </ul>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
名古屋市	名古屋市立名東高等学校	教育目標 (1)平和を愛し、広い国際的視野に立つ人間の育成 (2)心身共に健全で、自主自立の精神を持つ人間の育成	③④⑤	昭和59年に国際理解教育の推進を掲げ開校した当該校は、開校以来、ロサンゼルスからの専任アメリカ人英語教師を複数配置し、平成15年にはスーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクールの指定を受け、コミュニケーション能力を伸ばす英語教育の充実に取り組んできた。歴史のあるPTA国際交流委員会の活動に加え、近年では地域を巻き込んだ活動も実施するなど、開校の理念の具現化をより一層図っていることにより紹介する。	①語学合宿…英語科1年生を対象に、野外教育施設にて、入学早々2泊3日で実施 ②スピーチコンテスト…H20年度までは校内で在校生対象に実施していたが、H21年度は校外で公開することを検討中 ③地域とのふれあい講演会…H20は国際交流の試み(「アメリカ人教師の講演」と「アメリカのホームパーティを楽しもう」の2部構成) ④学校評価…自己評価のためのアンケートの項目に「教育目標『平和を愛し、広い国際的視野に立つ人間の育成』をベースにした教育活動が行われているか」を設定
京都市	京都市立洛央小学校	学校教育目標を「夢を抱き生き生きと目を輝かせて学び合う洛央の子」と設定。 子どもが自分の将来のあるべき姿を職業観も含めた“夢”として定め、自分の“夢”実現を目指す内発的な学習エネルギー、すなわち学習意欲を持って「学ぶ楽しさ」と「生き方」を学び合う子を目指す。	①④	洛央小学校は、市内中心部に位置する5つの小学校(いずれも明治2年開校)が統合して平成4年4月に新たに開校した学校である。校区には古くからの伝統産業の店も多く、祇園祭の山鉦32基の内16基を有するなど、京都の伝統文化の中心に位置している。校訓の実践に向けては、「洛央いきいきコミュニティ」はじめ多くの学校支援ボランティアの参画の中で、推進を図っている。	「『ら』→楽楽と学び表現する子。『く』→くじけずやりぬく子。『お』→思いやりのあるやさしい子。『う』→運動し心と体をきたえる子。」をめざす子ども像として設定し、「学ぶ楽しさ」と「生き方」を学びあう洛央の子の育成を目指している。「学ぶ楽しさ」ではキャリア教育を中心に教育活動を進め、「生き方」では心をたがやす教育を通して豊かな感性を育てている。また、洛央コミュニティスクール(学校運営協議会)を立ち上げ、洛央小学校の教育活動の一翼を担ってきた教育支援ボランティアの方々もその中に位置づけている。校訓の中には、地域ぐるみの学校づくりに向けての地域の方々の熱い思いが込められている。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
京都市	京都市立修学院中学校	学校教育最高目標を「みんなの力で、世界でいちばん通いたい学校に」と設定。 学校教育目標「たくましく生きる力の育成」と「人権を大切に作る心の育成」の二本柱の具現化によって、全校生徒ひとりひとりにとって、「世界でいちばん通いたい学校」の実現を目指す。	①②③④⑥	平成10年に起きた、在校生が、卒業生と在校生から集団暴行を受け、死亡するという痛ましい事件を風化させないために、平成14年度より学校教育最高目標に「みんなの力で、世界でいちばん通いたい学校に」を設定し、目標達成に多岐にわたる取組を進めている。地域からも「地域に修学院中学校が存在することを誇りに思う」と言われるまで評価されている。	○「たくましく生きる力の育成」→キャリア教育(アントレプレナーシップ教育<起業家精神涵養教育>)…平成19年度文部科学大臣表彰。 ○「人権を大切に作る心の育成」→生徒会活動の推進…フィリピン国際支援活動(アルミ缶回収の収益金で支援、文房具の回収と送付)・子ども見守り活動(文部科学省ホームページに事例として掲載)・認知症サポーター(全校生徒認知症サポーター認定)・クリーン活動(地域住民と生徒が協力し、地域清掃)の実施。 ○道徳教育の推進→平成10年の事件を教材に、「命を大切に作る『心の授業』」を生徒、保護者、地域に対し、継続して取り組む。 ○開かれた学校作り→コミュニティ・スクール(学校運営協議会)により地域ぐるみの「世界でいちばん通いたい学校」づくりを推進している。
京都市	京都市立塔南高等学校	千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を錬とす(宮本武蔵)	③	塔南高校では、「4ターム制」・「8・9限授業」の実施及び全国初となる教員養成の専門学科「教育みらい科」の創設(平成19年4月)など、特色ある取組を展開しており、学力向上、生徒指導、部活指導などの学校教育活動の実践においては、2に挙げた校訓の理念を意識し、取組が進められている。	本校訓は、日々のすべての活動を通じて、生徒が自らを鍛え高めることにより、ついには人格の完成をめざすという教育の営みを、宮本武蔵の言葉を用いて表現したものである。礼節を重んじ、敗者をいたわり、奢ることなく自らの信じる道を進むという理想は、生徒指導、進路指導や人権教育など、あらゆる教育活動の根幹に位置づけられている。具体的には、授業規律の順守、部活動における規律遵守などに顕され、文武一道の精神で教育活動を展開している。
堺市	堺市立美原西中学校	教育目標「人権尊重の精神を基盤とし、心身ともに調和のとれた人間の育成を図る」 ～思いやりのある 温かい生徒の育成を多くの人と 触れ合う活動の中で～	③④	和太鼓クラブ「太鼓ファミリー」は、支援学級の生徒と通常の学級の生徒との相互理解を目的に結成され、今年で結成11年目を迎える。その間、地域行事などへの参加を通して、生徒間の心のバリアフリーを実践している。 2007年には、大阪児童福祉協会より、「子どもさわやか賞」を受賞している。	学校の正式なクラブ活動ではなく、有志による同好会の形式で行われており、他のクラブに入っている生徒が参加できるように、主に昼休みに練習を行っている。また、地域行事には地域の一員として、卒業生と中学生がともに参加している。 年間、10数回前後の地域行事、招待演奏、介護施設での慰問演奏など、子どもたちの真剣な演奏ぶりを期待され、毎年依頼が増えている。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
神戸市	神戸市立榎野台小学校	学校目標 心豊かでたくましく自ら学ぶ子	③	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニュータウンの学校ということで、学校目標に基づき子どもたちが学年を越え広く交流できる機会を設けようと異学年交流グループどんぐりメイツを組織し、さまざまな活動を行っている。</li> <li>・児童による代表委員会で毎年親しみやすいスローガンを創り、活動につなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○どんぐりメイツで行われていること</li> <li>・学年を越えて一緒に給食を食べる。(仲良し給食)</li> <li>・児童集会をどんぐりメイツ単位で行う。</li> <li>・校内フェスティバルの出店を計画段階からどんぐりグループで行う。</li> <li>・運動会でもどんぐりグループに分かれてダンスを行う。</li> <li>○スローガンについて</li> <li>・平成21年度は「ひろげよう！つなげよう！あいさつの輪！榎小20th」と定め、校門のあいさつ運動を展開している。</li> </ul>
神戸市	神戸市立渚中学校	創造 共生 自律	②③⑥	<ul style="list-style-type: none"> <li>・震災後、被災した方々のために建てられた住宅が校区に多数ある小規模校である利点を生かし、全教員が一人一人の生徒をよく知り、よい関係を作っていくという気運がある。</li> <li>・学校スローガンを週一回発行の学校通信名に採用するなど、生徒たちはこれを合言葉に日々生活を送っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校訓を意識した職員の活動</li> <li>・4月の家庭訪問終了後から全職員が生徒についての情報が共有できるよう、情報交換とその内容に関係する研修を行い、年間を通じて個々の生徒理解に努めている。</li> <li>○生徒会スローガン</li> <li>・震災後10年は「一人ひとりが輝く渚」であったが、10周年を機に新たな旅立ちを意識し、「羽ばたく渚 輝きと友愛」と変更。生徒会では「絆で結ぶ渚の輪」をスローガンに決めた。</li> </ul>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
神戸市	神戸市立葺合高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主の人たれ</li> <li>・創造の人たれ</li> <li>・世界の人たれ</li> </ul>	①⑥	<p>教育方針に則り、英語教育、国際理解教育に力を入れている。平成20年度実用英語検定団体の部で文部科学大臣奨励賞を受賞。19年度まで3年間は文科省「英語が使える日本人の育成」のセルハイの指定も受けている。また、今年度より文科省の「英語教育改善のための調査研究事業」の指定を受けている。そのほかに、留学生や海外の学校との交流も多く、教育方針が日々の教育活動につながっている学校である。</p>	<p>教育方針に「世界の人たれ」と言うのがあり、国際的な高校を学校経営目標の一つとしている。また、スウェーデン・英国・オーストラリア・台湾などの姉妹校との交流や世界最大規模の学生研究発表コンテスト「モンディアロゴ・スクール・コンテスト」世界大会(北京)出場。さらに、ユネスコスクールへ参加して、インド、トルコ、バングラデシュ、スウェーデンなどの国々とのインターネットやテレビ電話を通じての情報交換などを行っている。そのため、世界の共通語である英語教育に力を入れて、英語で世界を知る取り組みを行っている。平成20年度は、21世紀東アジア青少年大交流計画中国訪問団、国際気候チャンピオン、台中一中訪問団、JICA海外技術研修員、フィラデルフィア訪問団、ベルヴェー市訪問団、スロベニア大使、シアトル高校生が来校した。また、気候チャンピオン2009の日本代表に2年生2名が選ばれ、英国スコットランドの国際気候チャンピオン会議に出席してCO2削減についての活動報告を行うなど、教育方針通りの国際的な活動を展開している。</p>
岡山市	岡山市立三勲小学校	<p>校 訓：つよく やさしく 心をこめて  教育目標：光る子の育成を図る(つよく やさしく 心をこめて)  子ども像：光る子 (1) つよくたくましい子 (2) やさしく思いやりのある子 (3)心をこめて取り組む子</p>	①③	<p>本校は、明治22年に村立小学校として開校した三權(みさお)小学校に始まり、明治32年の岡山市への編入に伴い三勲尋常小学校と改名し、岡山市で6番目の小学校となった。大正12年、高等科を設置し、岡山市三勲尋常高等小学校となった。「つよく やさしく 心をこめて」の校訓に基づき、多くの人材を輩出してきた岡山市内屈指の伝統校である。現在もこの校訓を学校教育目標やめざす子ども像に明確に位置づけ、学校経営はもとより、学年経営や学級経営に生かしている。</p>	<p>校訓は各学年努力目標として学年ごとの発達段階に合った子どもの姿として具現化され、各教科・領域の指導を通じてその育成が図られている。特に、6年生は、6年間の学習の集大成として総合的な学習の時間に「能」の学習に取り組んでいる。「能」についての調べ学習や専門家からの能の実技指導を通して、伝統文化のすばらしさと最後までやり遂げることの大切さを学んでいる。その成果は、日本三大名園の一つである後樂園の能舞台上で披露している。</p> <p>また、「光る子賞」を設け、継続して校内で良いことをした児童を賞揚することで、強くやさしく心をこめて行動することの大切さを知らせるとともに、子どもたちの教育環境を充実させる取組として、四季の変化を感じることができる「三勲の森」をもとにした緑化(一人一鉢)が進められている。</p>

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
岡山市	岡山市立福田中学校	校訓：誠実・協力・責任 教育目標：豊かな人間性を養い、明るく健康で何事にも主体的に取り組む生徒を育てる。 目指す学区の子ども像：心豊かにたくましくきりり輝く福田っ子	③④	本校は、岡山市地域協働学校として、岡山っ子育成条例、校訓、学区の子ども像等に基づいて、保護者及び地域住民の学校運営への参画を進めることにより、教職員・保護者・地域住民の信頼関係を深めるとともに、学校・家庭・地域社会の役割と責任を明確にしながら教育力を相互に高め、子どもたちの豊かな学びと育ちの実現を図っている。	中学校区の18町内会が主催する「夏祭りふくだ」や事業所主催の「商工まつり」、幼小中PTA主催の「福田っ子ふれあい祭り」に、地域の方々との連携により多くの中学生が参加できる場を設け、自分の責任を果たすことの大切さを学ばせるとともに、人から認められることにより自己肯定感の育成につなげている。 また、部活動の生徒と顧問教員が月1回、小学生を対象とした「子どもスポーツ教室」を開催している。これは、中学生が地域の一員であることの自覚につながるとともに、小学生の中学校理解につながり中1プロブレムの解消に役立っている。
広島市	広島市立安北小学校	やさしい子 すなおな子 きまり正しい子 たくましい子	①	校訓の理念を踏まえた学校教育目標を設定し、その実現に向け「確かな学力の定着」「規範意識の育成」「心身の健康の保持増進」を学校経営方針の中に位置付け、教職員における協働・共感・共育を大切にした「知育」「德育」「体育」のバランスを図った教育活動を展開した結果、地域の信頼を得、平成20年度全国学力状況調査では、国・県・市の平均を上回る他、新体力テストにおいても多くの項目で全国平均を上回るなどの成果を上げている。	平成15・16年度、冬季に多くの欠席者を出し、学習指導もままならない状況が続いていたことをきっかけに、平成16年度から「元気な体をつくろう」を重点項目に掲げ、毎月生活点検を行い防衛能力の向上を図ってきた。また、平成17年度からは、始業前運動と体育科の授業改善に取り組み、平成19年度から「体力づくり推進モデル校」の指定を受け、授業づくり、環境づくり、生活づくりについて実践研究を行っている。これらの取組を通して、校訓の実現を図るものである。
広島市	広島市立国泰寺中学校	実行の人	②	校訓「実行の人」のもとに、何事にも果敢にチャレンジしていく、行動的で、実践的な生徒の育成に励んでいる。特に生徒会活動においては、1952年（昭和27年）に青少年赤十字（JRC）に加盟して以来、青少年赤十字の活動を学校教育に取り入れ、平成19、20年度青少年赤十字全国モデル校として指定されるなど、具体的、実践的活動に取り組んでいる。	青少年赤十字の3つの実践目標「生命と健康を大切にする。（健康・安全）」、「人間として社会のため、人のためにつくす責任を自覚し、実行する。（奉仕）」、「広く世界の青少年を知り、なかよく助け合う精神を養う。（国際理解・親善）」を実現するため、これらの目標を具体的な行事（体育大会・生徒総会・合唱祭など）に取り入れて取り組むとともに、ボランティアサービス活動や募金活動、国際交流など多岐にわたる生徒会活動を行っている。

都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
広島市	広島市立基町高等学校	自主自律	①	<p>校訓「自主自律」の実践に必要な力を「自ら学ぶ態度」と「有為な社会人として貢献する基礎」とし、2つの力の育成を学校経営計画に位置づけ、具体的方策を教員が共有し、日々の教育活動を展開した結果、生徒・保護者、地域の信頼をえ、平成20年度大学入試においては公立高校では全国1位の国公立大学合格者数となるなどの成果を上げている。</p>	<p>生徒に高い目標を持たせ、それを維持させる取組として、進路に係る3年間のスケジュールを事前に生徒に示し、自主的な進路研究、学習計画の作成を促すとともに、進路検討会議を開催し、学年、教科の連携を図るなど、組織的な進路指導により、生徒を支援している。また、体育祭や文化祭などの学校行事はもとより、中学生を対象とした学校説明会なども、生徒が主体となって取組を進められるようきめ細かい指導をしている。修学旅行では、キャリア教育に係る旅行後の2年生のプレゼンテーションを1年生に聞かせることにより、1年生の自主的な進路選択のモチベーションを高める等の工夫をしている。</p>
北九州市	北九州市立修多羅小学校	<p>「ささやかだけど だれかの役に立つことをする学校」  「もくもくとしっかりはたらく学校」  「みんながニコニコ仲よく元気な学校」 *  児童会が掲げる3つのテーマ</p>	②	<p>校長の講話(各行事)や日常の児童との会話が児童に届き、児童会が自ら「学校自まんをつくろう」と3つのテーマを掲げ、児童主体の活動が活発になったため。</p>	<p>◎ 「学校が好き、学校が楽しい」と子どもの声が響く、「学校自まん」づくりの取組  ○ 市教委が配布した音読暗唱ブック「ひまわり」を活用した本校独自の「音読暗唱自まん大会」が児童の企画運営で年間4回実施でき、また、保護者の参加や観覧にも結びついた。  ○ 児童会が企画運営した「ふれあいハッピー運動(あいさつ運動)」の実施  ○ 児童会が企画運営した「ウォークラリー集会(縦割り集会)」の実施</p>



都道府県	学校名	校訓等	分類	紹介する理由	取組の概要
北九州市	北九州市立 向洋中学校	誠実・協和・努力	①⑥	<p>本年度、向洋中学校では、校訓である「誠実・協和・努力」を具現化するための教育目標を「豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成」と定めている。この学校教育目標の達成のための基盤となるものが、生徒相互の人間関係づくりが重要であると考え、向洋中学校では、道徳教育の充実。生徒会活動による人間関係づくりを推進している。</p>	<p>○ 生徒会活動による人間関係づくりのための活動として、平成19年度より、いじめ撲滅をめざした「アクアリボン運動」を生徒会の発案により実施している。具体的には、「いじめをしない・させない・許さない」をモットーに、これに賛同した生徒は、生徒会が作成した「アクアリボン」(水色のリボン)を胸につけ、いじめ撲滅に取り組むという内容である。平成19年の秋には、北九州市制作のテレビ番組に、「いじめ撲滅に取り組んでいる学校」として、紹介された。また、平成20年度には、北九州市教育委員会主催の「いじめ防止サミット」で、この取組について、生徒会の代表が発表をした。さらに、北九州市小さな親切運動本部よりこの取組に対して、「実行樟」を受賞した。</p> <p>○ 道徳教育の充実の取組としては、重点項目として、「思いやりの心の育成」を掲げ、「あいさつ運動」と道徳の時間の指導の工夫改善に取り組んでいる。具体的には、「あいさつ運動」に関しては、表玄関の上部一杯に、生徒会が作成した「だれもができます 笑顔であいさつ 向洋中」のキャッチフレーズを掲げ、ことある毎に挨拶の大切さを話したり、生徒会の生活委員会や校長はじめ職員が一丸となって「朝の挨拶運度」を毎日行ったり、まず、職員が率先してあいさつをすることを実践したりしながら、「笑顔とあいさつ」のあふれる学校づくりをめざしている。</p> <p>また、道徳の時間の指導の工夫に関しては、道徳主任を中心に、各学年の道徳担当が、毎時間の道徳の時間の資料と指導案、学習プリントを準備し、指導の工夫改善に努めている。また、毎年12月には、全職員が、道徳の指導案を作成し、全学級で、道徳の公開授業を実施している。指導主事要請訪問や指導主事要請による校内研修等も実施している。平成21年度「福岡県道徳教育研究大会」を本校で開催し、これまでの取組の成果を発表する予定である。</p> <p>○ 人間関係づくりの取組としては、平成21年度より、全学級で、QUテストを実施し、その結果を分析し、学校全体として、学年毎・学級毎に、毎月1回ずつ、意図的・計画的に、構成的グループエンカウンターやアサーショントレーニング、ソーシャルスキル訓練等の育てるカウンセリングを実施する。</p>



## 校訓等を活かした学校づくり推進会議の設置について

平成21年6月17日  
初等中等教育局長決定

### 1. 目的

校訓は学校の教育理念を示す象徴的なものとして、学校創設時に定められていることが多い。この校訓の下で、学校において、毎年、学校教育目標等として具体的な目標を定め、学校経営の方針を決定している。「心を育む」ことを目的として、学校として体系立った教育目標を掲げ、具体的に実践していくことは、重要なことである。

また、生徒会や地域などにおいても、独自の目標を掲げて「心を育む」ための実践を行っている。

本推進会議では、「心を育む」ために校訓等を活かした学校づくりの事例を調査するとともに、その具体的な取組の在り方について検討を行う。

### 2. 検討事項

- (1) 校訓等を活かした学校づくりについて
- (2) その他

### 3. 実施方法

- (1) 検討会の実施に当たっては、別紙の学識経験者等の協力を得るものとする。
- (2) 必要に応じ、別紙以外の者にも協力を求めるほか、関係者の意見等を聞くことができるものとする。

### 4. 実施期間

平成21年6月17日から平成22年3月31日までとする。

### 5. その他

この検討会に関する庶務は、初等中等教育局児童生徒課において処理する。

(別紙)

校訓等を活かした学校づくり推進会議協力者

(50音順)

天 笠 茂 千葉大学教育学部教授

大 島 徹 埼玉県教育委員会生徒指導課生徒指導主事

西 野 真由美 国立教育政策研究所教育課程研究センター  
基礎研究部総括研究官

富士原 紀絵 お茶の水女子大学  
人間文化創成科学研究科准教授

